

その他の装置、設備を起因物（小）とする死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	業種（小）	事故の型	労働者規程
2017	1	16～17	施設内の介護室にて、介護用ベッド（縦2m、横1m、総重量70kg）を他スタッフ1名と私、計2名で移動作業中に、バランスを崩して介護用ベッドが倒れそうになったため、若干無理な姿勢で倒れる形となった時、腰部へ過度な負担がかかり、激痛と共に動けなくなる。	39	130201	19	—
2017	1	1～2	病棟夜勤業務の際、病室を巡回していたところ、病室入口付近にある室温調整器のカバーに右肩を強打し負傷した。当時屋内には電気がついていなかったため暗く、室温調整器のカバーが見えにくかった。（以前にも同じ所で右肩を強打している。）	53	130101	3	50～99
2017	1	3～4	剥離作業で床の汚れを削っていた際、横に倒して端に寄せていた机が倒れてきて頭にぶつかり負傷した。	29	150101	5	10～29
2017	1	14～15	祭り会場設営時、テントを組み立てる際に、パイプテント足脚を立ち上げる際、足脚パイプの折り畳み部分に右手薬指先を挿んでしまった。	42	170209	7	—
2017	1	17～18	作業終了前、片付け始めたとき、工場荷受け所に置いてあるゴミ箱がまだゴミが少なかったためまだ入ると思い、足で踏み潰したが、足にゴミ箱の中にあつたテープが引っかかり、取ろうとしたが取れず、その時バランスを崩し、ゴミ箱ごと倒れて壁の鉄筋部分に腰を強打した。	54	11409	2	30～49
			高さ20cm程の台の上に乗って千切り作業中、次の千切り用タンク				

2017	1	10～ 11	(重さ約350kg) が運ばれて来たため千切機のスイッチを切り、台に乗ったままタンクを手前に寄せる動作の時、思いのほかタンクが動いたため、乗っていた台にタンクが当たりバランスを崩して、タンクのフレームに左足の脛をぶつけて負傷した。	26	10103	3	10～ 29
2017	1	8～9	構内において、被災者は、プレス機オイルタンク(0.6m×0.6m×1.0m、重量50kg)の移送作業を行っていた。同僚1名がハンドフォークを引き、被災者がオイルタンクを支えていたところ、傾斜に差し掛かりオイルタンクがバランスを崩して転倒し、右足にオイルタンクが落ちてしまい負傷した。	65	50101	5	—
2017	1	10～ 11	事業所内で前日の宴会で移動してあった屏風を元の場所へ移動する際、足のついた屏風の為、まず屏風を持って行き柱に立て掛けておき、次に足を取りに行き戻った所、立掛けの角度が不完全であったために滑って足に当たり負傷した。	65	80209	6	1～9
2017	1	11～ 12	厨房にて下処理作業中、まな板を洗浄し、シンクに立て水気を取って次の作業に取りかかる際、立てたまな板が倒れ落ち、右足の小指付近に当たってしまった。	57	80209	4	50～ 99
2017	1	18～ 19	プラント更新工事中に、作業終了後に1階フロアに下りようと昇降梯子まで行ったが、下りずに破砕機点検口前から横の架台に飛び移って下りようとしたが、架台(約2.7m)から落下した。	45	150102	1	10～ 29
2017	1	12～ 13	シーツを投入中に投入したシーツに汚れを発見したため、取り除こうと手を伸ばした際に、機械に指をぶつけてしまった。	44	11703	3	300 ～ 499
2017	1	12～ 13	従業員用トイレで、少し混んでいて待ったのち、急いでドアを閉めたところ、急いだ反動か、ドアの金属の部分に左手甲を強くぶつけてしまった。痛みがあり湿布をして様子を見ていたが、徐々に腫れが増してきた。	58	80209	6	100 ～ 299
2017	1	13～	印刷工場内の紙積み作業台において紙積み作業終了後、積み終えた紙を運搬のため、作業台を持ち上げたところ左側腰部に激痛がは	38	10701	19	10～

		14	した。					29
2017	1	14～ 15	ポンプの部品、カップリング（外径280mm、重量7kg位）を棚から下ろそうとした際に滑り、左足に落ちた。その際に内出血を起こし、張れて痛みがあり、段々と痛みが増してきた。	73	11701	4	1～9	
2017	1	13～ 14	洗い場にて洗浄作業中、水道より出ている熱湯にふれてしまい、左手人差し指・中指・薬指の第二関節から手の甲の中ほどまで熱傷を負った。	51	80209	11	—	
2017	1	11～ 12	患者の入院受け入れ準備に従事中、同僚と共に2人で片付けられていたベッド（スチール製、幅110cm×長さ195cm）を倉庫から選び出そうとしていた際、倉庫出入り口の間口の幅が90cmしかなかった為、当該ベッドを斜めにして運び出そうとしたところ、腰部に急激に負荷がかかり負傷した。	43	130101	19	～ 499	300
2017	1	11～ 12	被災者は製品切替のため、前の製品の包材を包装機から取ろうとしていた。その際、使い終わった光陽デポを台車に乗せた状態で運搬していた別の作業者が、被災者の後方を運搬したときに、ホッパーがデポ本体から外れて落下し、ノズル部分が被災者の足に当たり被災した。	50	10104	4	～ 9999	1000
2017	1	15～ 16	文化教室での机の片づけ作業中に、同じ作業をしていた者が、机の天板を広げようとしたところ、広げきれずに机が倒れてしまいその際に本人の左足に当たり、裂傷と解放骨折を負った。同時に机をよける際に右腕をひねったものである。	63	150101	5	—	
2017	1	19～ 20	バキューム清掃作業中に、バキュームに意識を集中させていたところ、バランスを崩し、足を捻ってしまった。	56	150101	2	～ 499	300
2017	1	16～ 17	棚卸し作業中、在庫数の確認のため、高所にある在庫数の確認作業をしていた際、高さ45cmのイスにのって作業をしていた時、バランスを崩して転倒し、その際に左足側面を強打し骨折した。	33	80209	1	10～ 29	

2017	1	10～ 11	施設内の脱衣場で、ご入居者に対してドライヤー使用後動こうとした時、ドライヤーのコードに足が引っ掛かり、右を下側にして転倒し、右膝を受傷した。	72	130201	2	10～ 29
2017	1	1～2	介護施設にて業務中、深夜に、事務所で事務処理していたところ、緊急コールが鳴ったため、座席の後ろに置いてあったPHSを急いで取ろうと勢いよく振り向いた際、椅子の肘掛けに肋骨を強打した。業務終了後も痛みが引かず、肋骨にヒビが入っていると判明した。	44	130201	3	—
2017	1	19～ 20	店頭フリースペースで強風対策で折り畳んだテントの4本の脚を男性4名で持って立ち上げる作業中、脚を真っ直ぐに伸ばそうとした際に、テントの枠組み（金属製パイプ）とそれを覆うカバー状になったテントの脚の先（最上部）との間に左手の人差し指を挟んでしまった。	24	80209	7	50～ 99
2017	1	15～ 16	1号ドック、左舷ドックサイドにて、被災者は1人で、冷却水ホースを外す為、弁を閉めホースを取り外した。被災者は固定ラインに圧力が掛かっている事を失念し、加圧状態の固定ライン（65A）から弁を取り外した時、噴出した水を身体に受け転倒し、右足と右手を骨折した。	31	11501	6	1～9
2017	1	16～ 17	脚立に乗って高い場所にある延長ケーブルを外そうとした時、近くにあった換気扇の動いているプロペラに不注意で左手をぶつけてしまい指を怪我してしまった。	20	10104	3	50～ 99
2017	1	9～ 10	井戸清掃作業中にコンプレッサーを始動しようとして、始動ロープを引っばる際に空回りの余裕を作ることを忘れ、ロープで右手人指しゆびが切れた。	54	80209	8	1～9
2017	1	10～ 11	西工場印刷・パッケージ課で断裁作業中、パレット交換の為に機長が昇降機を下げようとした時に、機長はパレット交換と告げたが、昇降台を下降するとは告げず、また目視確認を怠ったが為に、昇降台の下に補佐役の足があることに気付かず、左足を昇降	45	10709	7	100 ～ 299

			台と床に挟み込んだ。				
2017	1	21～ 22	当院施設内居室において、ベッドで横になっていた利用者をベッド上で水平移動しようとした際に、認知症による介護抵抗のある当該利用者に抵抗されたため、利用者を支えていた右手が移動させようとした方向に抜けて、木製のヘッドボードに強打し、右手薬指を骨折した。	35	130201	3	50～ 99
2017	1	9～ 10	スーパーマーケットの敷地内におけるグリストラップの清掃において、地面にはまっている蓋（60×60cm程度、四角形）にフックを掛けて外す間、そばで待機するように言われていたが、フックが滑って外れ蓋が落下したため、咄嗟に手が出てしまい、支えきれずに開口部と蓋の間に指を挟まれてしまった。	20	150109	7	—
2017	1	12～ 13	デリカバックルーム（揚げ物側）で、炊飯ジャーの下の台を拭き掃除しようとして、フタが開いたままの炊飯ジャーを左手に持った際、フタが閉まり指が挟まり、くすり指を打撲した。	62	80209	7	—
2017	1	13～ 14	会社内倉庫にて、パッカー車にゴミの積み込み作業をしていた際に、ゴミが入っていた鉄の入れ物（網目状になった鉄の入れ物）にバランスを崩し、左の脇をぶつけてしまった。	58	150102	3	10～ 29
2017	1	11～ 12	場内で作業を行おうと歩いていた時、移動式天井クレーンが動いている事に気をとられ上を見上げていた。真横に置いていたタンク下部排出口の出ている所に気付かないままつまずいて転び、転んだ勢いで左手を床につき、左中指を骨折した。	58	10104	2	30～ 49
2017	1	11～ 12	被災従業員が廊下を歩行中、作業室から別の従業員が台車を押しながら廊下へ出てきた為、被災従業員の背中が扉に当たって転倒し、左膝を強打して左膝蓋骨を骨折した。	61	10109	6	30～ 49
2017	1	21～ 22	ヘルプに入り、店内ホールの木製のお客様用テーブルを拭いている時に、テーブルにささくれが出来ており、そのささくれが右手薬指に刺さり入り込んでしまい腫れた。	31	140201	8	—

2017	1	15～ 16	外構工事現場にて、作業完了後に片付けを行っていた時、型枠用のパイプサポートが伸びたままの状態車両に積み込もうとした所、サポートが勢いよく縮み親指と人指し指の間を挟み裂傷した。	21	30199	7	—
2017	1	19～ 20	調理場内を移動中、転びそうになりバランスを崩してとっさに調理台の足元を掴んだ。掴んだ場所に突起があり、指を負傷した。	63	140201	8	1～9
2017	1	15～ 16	駐車場出入口の鉄の門扉を押して閉めようとした際、予想以上に門扉の動くスピードが速く、門扉下部のフレームに右足首をぶつけた。前日は雪が積もっており、強く押さないと中々動かなかったが、当日は雪も少なく、押して少し手を離し前進したが、予想以上に動きが速く、フレームが右足に当たり負傷する。	47	10109	6	1～9
2017	1	10～ 11	通常の勤務場所ではないマンションの清掃に応援で入ったところ、マンション住民よりトイレトイレットペーパーがないので取ってほしいと頼まれ、靴を脱いで休憩室の押し入れから取り出し渡す際に、慌てて座敷機の脚に左足をぶつけ、足指が腫れあがった。その後も勤務を続けたが、あまりの痛さと腫れがあり、後日に左足指指先を骨折していることが分かった。	57	150101	3	—
2017	1	11～ 12	FRP（ガラス繊維強化プラスチック）製造ライン内に設置のステンレス槽の汚泥除去の為、槽本体を外して移動させる際、バランスを崩して槽が転倒し、倒れた槽と架台に右腕を挟まれて、前腕尺骨を骨折した。	35	10805	6	50～ 99
2017	1	13～ 14	ボウリングの機械のメンテナンスをしていて、高い所から落下して腕をゲカした。	58	140309	1	10～ 29
2017	1	16～ 17	自家用給油所で給油中に給油口が地面から2cm出ており、そこにつまずいて足をくじき、転びそうになったので手をついた。	34	40301	2	1～9
2017	1	10～ 11	特殊浴室にて、利用者の特殊入浴介助中、利用者をストレッチャーで特殊浴槽へ移動させた際に、左手を浴槽内に入れたまま昇降スイッチを押してしまい、左手が挟まれた様になって打撲し	47	130201	7	100 ～

			てしまった。					299
2017	1	16～ 17	店舗駐車場内に設置してあるゴミステーションにおいて、店内のゴミ出し作業中に上げていたゴミ箱の蓋が急に閉まり蓋が顔面を強打し、顔面及び眼鼻を負傷した。	26	140309	6		10～ 29
2017	1	8～9	派遣労働者である被災者が、調味液入りポリタンク保管庫にて、コ口付の調味液入りポリタンクを引っ張って出す作業中に、被災者が運び出そうとしていた調味液入りポリタンクと隣のポリタンクとの間に右手親指を挟み受傷した。	28	10103	7		100 ～ 299
2017	1	17～ 18	被災労働者は、当保育園内の便所で用を足してドアをあけて出るとき、柱（木の柱）の角に左足があたり、小指を負傷した。そのとき靴下は履いていたが、スリッパを履いていなかった。	27	130201	3		30～ 49
2017	1	8～9	1F冷凍茹で槽前にて、超鮮度うどんの製造中に、ザル状のカゴが槽に引っかかったので1人で引き抜こうとしたところ、うどんが入ったザルを傾けてしまった為に、熱湯が右足にかかり火傷を負った。	16	10109	11		100 ～ 299
2017	1	8～9	駐車場で、上から吊り下っている直径約30センチの時計型計量器の下までフォークリフトを移動させて、飼料を計量していたところ、計量器が鉄枠から外れて左足の上に落下し、第3指を負傷した。	53	80101	4		1～9
2017	1	16～ 17	作業場で、ウェットティッシュを巻いているローラーの機械の細かい部分に出てきた所に溜まったほこりを、しゃがんで掃除機で取り除く作業中、立ち上がった時にかぶっている帽子で見えず、機械（スイッチ箱）の角に額をぶつけた。	52	170101	3		100 ～ 299
2017	1	10～ 11	病理検査室内で、机で記録をしたあと立ち上がって移動しようとした時、机の隣の棚につまずいて、左足を捻り転倒した。	43	130101	2		100 ～ 299
			調理場でフライヤーの掃除をしていた時、ゴミを流す為お湯を入					

2017	1	16～ 17	れた鍋（片手持ち20cm）を手にしたまま下にあるゴミのザルを直す為、かがみこんだ時にお湯をかぶってしまい、右の頬から首と左腕を火傷した。	65	80209	11	—
2017	1	9～ 10	被災者は、事務室コールセンターエリア内で電話受付業務に従事中、椅子から立ち上がり左側社員Aの後方を移動していたところ、Aが座っている椅子の脚に右足をひっかけ左肩から転倒し、左肩及び頸椎を負傷した。	61	110101	2	500 ～ 999
2017	1	19～ 20	塗装ブース清掃を行い、排気洗浄室エリミネーターの取り外し清掃完了後、復帰作業を行う時、物（エリミネーター）を持ったまま体勢を入れ替え様とした時に足が滑り、骨組みのアングル部で胸部を打った。	61	150109	3	30～ 49
2017	1	9～ 10	自身の机からプリンターへ行く際にイスから立ち上がって振り向いた時に、背後の作業台に足を引っ掛け、身体ごと転倒し右手を床についた際に右手首を骨折した。	56	170209	2	100 ～ 299
2017	1	3～4	塗型作業場でアルコール塗型作業中に、アルコール着火者が製品台車を移動中だった為、本来行わない着火作業を行い、背面に火が付いた事に気付かず、塗型作業に戻った。背面に異常を感じた時にはすでに衣服が燃えていて、火傷を負った。	25	10909	11	1～9
2017	1	12～ 13	仕上げ場で、ストーブをつけて仕上げ作業をしていた。ストーブは自身の右後ろ側においていたが、昼ごろ右ふくらはぎ部分に違和感を感じたが、特に確認はしなかった。帰宅して確認したところ、腫れて水膨れがひどい状態だった。	33	10903	11	50～ 99
2017	1	14～ 15	本社整備工場検査ラインにて、工場内の電話が鳴った為、電話機に向かおうとした際、足元の車体検査機に躓き転倒し、左膝蓋骨を骨折した。	47	11701	2	10～ 29
2017	1	8～9	センター内下処理室にて、計量機を移動しようとした際に、ロックが掛かった状態に気付かず、勢いよく無理に移動しようとした為、右手親指を脱臼してしまった。	48	10109	19	30～ 49

2017	1	13~14	<p>自社作業場で、白砂の石を除去する作業の準備をしていた。作業場の雨よけのスレートを除けようとした際、足を踏み外して、そのまま1.5m下へ落下した。普段は1人でする作業のため、カバーとしているスレートを引っ張るだけなので、すき間を意識することはない。今回はたまたま2人で作業したため、すき間の存在を忘れて移動してしまい、足を滑らせた。</p>	64	70101	1	1~9
2017	1	11~12	<p>会社の工場で、ろ過後の温泉水を熱殺菌処理を行うため機械配管内を薬液洗浄した後（2週間に1回定期的な作業）、機械を作動させ配管内を確認したところ、浮遊物があったため洗浄をやり直そうとした際、配管内の製品水が高温（85℃程度）だったにもかかわらず、配管継手を取り外してしまったため、配管内の製品水が漏れて両腕にかかり火傷した。</p>	27	10106	11	10~29
2017	2	16~17	<p>高圧水で受入槽内の防食剥離作業中、向きを変える際、ホースが障害となり体勢を崩してしまい、ガンの先が右腕に向き裂傷を負った。</p>	28	30110	8	—
2017	2	15~16	<p>本人が、商品交換の為冷凍庫内の電動移動ラックレーンに入り商品を出庫しているところ、棚の中に入って商品を確認していた為、他の作業員が存在に気付かず移動ラックを動かしてしまう。本人は、移動の警報が鳴ってはいるが、自分のレーンが狭くなるとは思わなかった為、回避が遅れ棚の間に顎周りを挟んでしまう。</p>	43	170101	7	100~299
2017	2	15~16	<p>前年より作業員として勤務している派遣従業員が、商品交換の為冷凍庫内の電動移動ラックのレーンに入り商品を出庫しているところ、棚の中に入って商品を確認していた為、他の作業員が存在に気付かず移動ラックを動かしてしまう。作業員は移動の警報が鳴ってはいるが、自分のレーンが狭くなるとは思わなかった為、回避が遅れ棚の間に顎周りを挟んでしまう。</p>	43	40301	7	100~299
			<p>入荷したカセットボンベケース（1ケース約12kg）をバックヤード</p>				

2017	2	14~15	の棚に納める為、棚の上に上り、他の従業員が下から商品の入った箱を手渡しし受け取った時にバランスを崩して商品をかばいながら地面に落下し、左足の踵を強打した。	55	80209	1	100 ~ 299
2017	2	9~10	入口自動ドアを清掃中に電源の入っていないドアを閉めようとして自身の左手をドアに挟み負傷した。	65	170209	7	—
2017	2	18~19	ケアハウス厨房内で、ガス台に上がりダクトのフィルターを取り付けていたところ、床に転落し、被害者左側前頭部を打ちつけた。無意識のうちに両手で頭部をカバーしたため、診断名は左右両手首の骨折である。	57	130201	1	50~ 99
2017	2	6~7	調理場で煮物の下準備中、大鍋を移動させようと持ち上げて歩いたところ、つまずき、熱湯をかぶってしまった。	41	140201	11	10~ 29
2017	2	10~11	事業所内階段において清掃作業中、4階から3階へ掃除機を持ち移動していた際、掃除機のホースが足に絡まり転倒し、胸骨を打撲したものである。	60	140101	2	50~ 99
2017	2	10~11	クリーニング工場でズボンのプレス作業をしている時に、右手が挟まれ上記プレスされ火傷を負った。プレス作業は安全のためプレス機のボタンを両手で押した後、ズボンのずれに気づき、慌てて手を入れてしまった。	38	11703	11	30~ 49
2017	2	16~17	組配工場内シリンダーの動機調整を行う作業中、右手でエア注入のレバー操作・左手で製品を押さえていた際、本来縦向きに製品をセットするところを横向きに置き作業を行ってしまい、左手が製品のくぼみに掛かりシリンダーに挟まれ、負傷した。	49	11402	7	100 ~ 299
2017	2	22~23	店舗厨房内の店作業時に、フライヤー用油の一斗缶の切り口が上に開いていたので閉じようと下へ押したところ油で滑り右手中指が管の中に入って切ってしまった。慌てて指を引き抜こうとした際に切り口に爪が引っ掛かり爪全体の1/3程はがれてしまい負傷した。	21	140201	8	—

2017	2	10~11	事業所の倉庫内において、作業員2名で道具の整理及び修理を行っていた。倉庫内の床よりレールジャッキ（16kg）を棚に移動する際、片手で作業していたので、持ち上げらず、勢いをつけて振り上げた時、棚の角とレールジャッキの間に指を挟み負傷した。	24	30201	3	10~ 29
2017	2	16~17	原料処理肉処理室の作業台に取り付けてある脚が一カ所折れており、作業中に折れている脚と床の間に右足が挟まり転倒した。その際手に計量器を持っており、即座に身体を支えることが出来ずに左足の膝を床に強打して骨折した。	67	10109	2	500 ~ 999
2017	2	16~17	日配バックヤードで、スチール製デスクの脇にあったゴミ箱にゴミを捨て、頭を上げた時にデスクの角に額を打ち、切れてしまった。	55	80209	3	100 ~ 299
2017	2	11~12	物流センター仕分け場において、店舗出荷用のクレートを仕分けエリアに補充するため運搬していたところ、コンベアライン際のガイドの支えの出っ張りを目視確認しなかったことで左手の甲をぶつけてしまった。湿布をし、作業を再開したが、痛みが再発したため病院でレントゲンを撮り、亀裂骨折と診断された。	45	40301	3	50~ 99
2017	2	16~17	被災者（以下、甲という）が、派遣先であるレストランホールにて、レジ機器の操作をしていたところ、レジ機器を載せた棚板が不安定だったため外れ、落下したレジ機器が甲の右膝に当たり負傷した。	24	170101	4	10~ 29
2017	2	8~9	弊社工場内の充填室内で、しゃがんで床上の配線類を整理・接続していた。その背後で同様の作業をしていた別の従業員が配線類をくぐらすために作業台の脚の一本を持ち上げた。そのはずみで作業台が傾き、作業台に載せていた圧着機が落下し、当該社員の左肩にぶつかった。	27	10899	4	50~ 99
2017	2	11~12	食品作業場にて棚の上の物を取ろうとイスを台にして乗った時に椅子の脚が折れ床に転倒してしまった。左足のかかとを骨折した。	60	80201	1	100 ~ 299

2017	2	2~3	店の厨房にて、閉店の閉めの作業中高所の棚に置いてある調味料を取ろうとした時に、清掃の為に通路の床に取り出して置いてあったフライヤーの熱い油が入った油受けに誤って左足が引っ掛かり転倒し、ひっくり返った油請の油がかかってしまい、広範囲に火傷を負ってしまった。	24	140201	11	—
2017	2	16~17	書類を両手で持ち席を立てて振り返ったところ、後方にあった椅子のキャスターに足が引っ掛かりバランスを崩し腰を捻った。激しい痛みはあったもののそのまま帰宅し、翌日、痛みはより激しくなり右足に激痛がはしり歩行困難となった。	52	90103	19	—
2017	2	9~10	書類格納のため、事務室内を歩いていたところ、後退してきた椅子の脚に躓き転倒した。左臀部を床で打撲したものである。同人は両足に人工股関節を装着している。	58	90101	2	—
2017	2	7~8	出張先でホテル（カプセルホテルの2段目のベッド=床から1.5m程）に宿泊し、翌朝起床した際にベッドが1段目にあると勘違いし、手すり等につかまらずに頭と足の両方を出す形で入口から出たところ、そのまま1.5m下の床に頭の方から落下した。診断の結果、頭部打撲、右鎖骨骨折、肋骨（6本）骨折であった。	54	170202	1	1000 ~ 9999
2017	2	9~10	売場から鮮魚作業場に戻る途中、プラトレイを左手に抱え、右手でスライドドアを開け手鮮魚作業場に入った際、不完全に閉じられていた排水溝の蓋に躓き転倒した。うつ伏せの状態でも両膝と両手のひらを床に強打し、右よりに重心がかかったため、右手首にひびが入ってしまった。	62	80201	2	100 ~ 299
2017	2	2~3	店舗用エレベーター内で、インカムのコードに触れた際、右手から左手にかけて電気が走ったような強い痛みがあった。	47	80201	13	50~ 99
2017	2	19~20	1F催事場にて、家電催事の陳列作業中ギフトテーブルを広げていたところ作業の仕方が悪く、テーブルが倒れ自分の左足の指に落ちた。ギフトテーブルは折りたたみ式の為テーブルにしようとしていたところで事故が発生した。	61	80201	4	300 ~ 499

2017	2	12~13	工場内2階の食堂の流し場にて、昼休み中、食後の片付当番だったため、ポットのお湯を流しに流そうとしたところ、流しの隣なりに設置してあるガスコンロに右手首をぶつけてしまい、負傷したものである。	48	11703	3	50~ 99
2017	2	17~18	1tトラックの荷台の高圧洗浄機の水を抜くため、傾けた際、荷台から落ちそうになって体を支えようと足を踏ん張った結果左足膝裏を負傷した。	59	30209	19	—
2017	2	14~15	10t車のコンテナの上に乗って、シートを掛ける作業をしていた時に誤って転落し、左手の手首のところを骨折した。	57	150102	1	1~9
2017	2	13~14	被災者は型保全工場内の設備移設に伴うエア配管の一部を移設する作業を1人で実施していた。高さ3mのエア3次配管（L型）を取り外す為に1.5mの作業用踏台上で作業を実施し、配管が外れた際に、2次配管内に残ったエア残圧が突然顔に吹きかかり、驚いて身体を左側に捻った状態で落下し左足踵から床に転落した。その際に左手に持っていた3次配管のエルボ部分が顔にぶつかり前歯が欠損した。	64	11502	1	1000 ~ 9999
2017	2	10~11	製鋼工場にて鑄込みケース段取り中に、天井クレーンで押油耐火物用のウェイトをセットしようとしていた。ウェイトを回転させ吊り手位置を調整するために通常では手を添えない位置に手を添えたまま当人がクレーンに下げの合図をした為、押油耐火物とウェイトの間に右手指先が挟まれ受傷した。	53	11001	7	100 ~ 299
2017	2	21~22	本店厨房内にて、閉店時の掃除作業中にまな板（幅89cm、長さ22cm、厚み3cm）を洗って調理台の上に置いていたところ、調理台が濡れていたため、まな板が滑り落ちて左足親指に直撃し骨折した。	34	140201	4	50~ 99
2017	2	16~17	被災者（以下、甲という）が、レストランホールにて、レジ機器の操作をしていたところ、レジ機器を載せた棚板が不安定だった	24	140201	4	1~9

			ため外れ、落下したレジ機器が甲の右膝に当たり負傷した。				
2017	2	13~14	ドローンを利用したサル追払支援ロボットの開発プロジェクトで使用するドローンが、プロポを操作しても動かないと言われ、症状を確認する為電源を入れて操作したところドローンが動き出しそれを手で押さえて止めようとしてドローンのプロペラで両手の甲や指に傷を負った。	21	11402	7	50~ 99
2017	2	10~11	客室のベッドメイキングで、スプリングマット下のベッドの台に足をかけた際に踏み外し、横に置いてあったテーブルに左脇を打ちつけて受傷した。当初は、痛みを我慢して労働していたが、その後、あまりの痛みにより受診した。	69	150101	3	30~ 49
2017	2	19~20	派遣先にて、味噌汁をお客様に提供する際に、IHヒーターで温めてた寸胴のラップを剥がした時に、噴き出して来た上記が手にかかり火傷をしてしまった。	24	140101	11	100 ~ 299
2017	2	8~9	ホーム集配側に2t車を接岸し、荷物を積み込むため鉄板（重さ約60kg）をホームから荷台へ掛けようと両手で引いて移動中、左手が滑って鉄板から外れ、反動で右手が鉄板と荷台の間に挟まり負傷した。	44	40301	7	30~ 49
2017	2	20~21	キッチンで、フライヤーを、清掃しようと、近くにあったステンレスのカゴを、片付けた際、手が滑り熱い油の中に落としてしまった。はねた油が、右手肘から、手のひらにかけてかかり、火傷を負った。	20	140201	11	10~ 29
2017	2	15~16	床から50cm位の高さの作業台の上に立ってプラスチック容器の選別作業をしていた時、台の上に散らばった物を拾う為に屈んだ際、バランスをくずし台から落下した。その際、顔面と右腕を強打し、顔面裂傷と右腕骨折となった。	73	150103	1	10~ 29
2017	2	19~20	派遣先にて、味噌汁をお客様に提供する際に、IHヒーターで温めていた寸胴のラップを剥がした時に、噴き出してきた蒸気が手にかかり火傷をしてしまった。	24	170101	11	100 ~ 299

2017	2	14~15	金属探知機と前の台とを接続するものが外れていたため、はめようと、重い金属探知機の脚を腰を屈めて持ち上げた時、負傷した。	58	10102	19	50~ 99
2017	2	14~15	会社事務所内で椅子から立ち上がった時に後の机の脚に躓いて転倒したものである。	62	80109	2	10~ 29
2017	2	15~16	20kgの洗剤を保管庫上段より持ち出そうとしたところ、重さに耐え切れず、落としかけ、棚と洗剤の間に人差し指を挟み、末節骨不全骨折を起こした。	51	10104	7	50~ 99
2017	2	14~15	本人は、会場から陸揚げされた観測ブイの点検調査を行うため、同僚と共にブイ上部の踊り場に上がり、踊り場床面のマンホールを開けた。同僚はマンホールからブイ内に入り、本人は踊り場で同僚の作業を監視していた。同僚がバッテリー格納室のマンホールを開けるため、固定ボルトを外し、バールを使用してマンホールを開けようとした時、バッテリー格納室内に充満していたと思われる可燃性ガスにより、爆発が発生し、本人は爆風により踊り場から転落し安全帯でぶら下がった状態となり受傷した。	28	11501	11	1000 ~ 9999
2017	2	14~15	本人は、会場から陸揚げされた観測ブイの点検調査を行うため、同僚と共にブイ上部の踊り場に上がり、踊り場床面のマンホールを開けて、本人がブイ内に入り、同僚は踊り場で作業を監視していた。本人はブイ内部にあるバッテリー格納室のマンホールを開けるため、固定ボルトを外し、バールを使用してマンホールを開けようとした時、バッテリー格納室内に充満していたと思われる可燃性ガスによる爆発が発生し、爆風により、被災した。	31	170209	11	1000 ~ 9999
2017	2	16~17	タワーダクト内で耐火物の解体作業終了後、足場上から解体工具のブレーカーを片付けている時、1段上の足場上から10Kブレーカー（約10kg）が落下して右肩に当たり被災した。	51	30309	4	1~9
			容器にお湯を入れようとホースを引っ張った際、ホースが足に絡				10~

2017	2	9~10	まり転倒しそうになったため踏ん張って右足を床に着いたところ、足指を受傷した。	48	170101	19	29
2017	2	13~14	9階にて客室清掃中、置き型テーブルの脚に左足薬指を引っ掛けた。一週間経過しても痛みが引かない為、病院でレントゲンを撮った結果、骨にひびが入っていた。	65	150101	3	100 ~ 299
2017	2	11~12	交通誘導をしている時、立哨している付近のグレーチングがホースと結束していることから持ち上がった状態となったため、その状況が危険と感じ結束していた紐をほどいたところグレーチングが落下し、左足甲を負傷した。	67	170201	7	100 ~ 299
2017	2	11~12	倉庫でタンスの修理の為、タンスの角度を変更した際に手を滑らせてしまい、左中指の第一関節の上に落下し、指を打撲した。さらに落下時に咄嗟に手を引いた為、指の皮が捲れて出血した。	67	170101	4	30~ 49
2017	2	11~12	倉庫でタンスの修理の為、タンスの角度を変更した際に手を滑らせてしまい、左中指の第一関節の上に落下し、指を打撲した。さらに落下時に咄嗟に手を引いた為、指の皮が捲れて出血した。	67	80109	4	1~9
2017	2	8~9	中央棟の手術室で、掃除機を使用し清掃していたところ、掃除機のコードが足にからまり転倒した。	70	150101	2	30~ 49
2017	2	19~20	商品の搬入口で、パレットに商品を積み付けしている最中に、別の現場作業員が搬入口で作業している事に気付かず、シートシャッターを下ろしてしまい、頭部にシートシャッターがぶつかった。	41	10109	6	300 ~ 499
2017	2	6~7	利用者の衣類を居室へ取りに行く時にフロアソファに躓き転倒する。	56	130201	2	10~ 29
2017	2	15~16	店内厨房にあるグリル（肉焼成専用機器）前にて、ハンバーガー用牛肉をグリルから保管用トレイへ移す際、グリル上部の鉄板（218℃）に左手甲部分が触れ、1度の火傷をした。翌月職場復帰の見込みである。	20	140201	11	30~ 49

2017	2	15~16	<p>鑄造工場で、出入口において、運搬車両（エレカ）に台車を連結させ、移動していた時に出口側のクイックシャッター前で一旦停止し、左右確認後再発進した際、加工してきたシャッターが頭に接触し、負傷した。</p>	49	11502	6	100 ~ 299
2017	2	10~11	<p>当日予約のイベントのセッティング中、テーブルを動かす際に3人が作業中、テーブル面と脚部分が独立している一枚板の板の方を両手で持ち上げ待機しているところに、脚部分を動かす人が、勢い余って被災者の右足首部分に、テーブルの脚を倒してしまい、その重さと大きさで負傷した。</p>	46	140201	6	1~9
2017	2	8~9	<p>新規農場の立ち上げ準備中、農場に出向いたところ、豚舎資材置場の横を通りかかった際に突風が吹き、パイプが落ちてきて首を直撃した。パイプ・・・自動給餌の餌ライン（餌の筒）、直径3.8cm。</p>	33	70101	4	1~9
2017	2	11~12	<p>工場内で作業中、機械に鶏肉が挟まっているのに気が付き、それを取ろうとして、機械を止めずに手を入れたところ、はめていた手袋が機械のチェーンに絡み、そのままチェーンの凸部分とローラーの間に右手第二指、第三指、第四指を挟まれたものである。</p>	40	10101	7	300 ~ 499
2017	3	22~23	<p>当事業所において、天井扇を清掃するため、テーブル（高さ75cm）の上に立ち、雑巾を使って清掃をし始めた際、誤ってバランスを崩し、床上へ転落し負傷した。</p>	36	140201	1	1~9
2017	3	15~16	<p>ホテル客室を清掃中、ソファの角に右足を強打し、右足薬指が変形していたため救急搬送した。</p>	23	140101	3	30~ 49
2017	3	13~14	<p>店内のキッチンにて食器の仕分け作業をしていた際にガラスが割れてしまい、破片で左前腕を切傷した。</p>	17	140201	8	30~ 49
2017	3	13~14	<p>2階に状態不良の利用者がいた。居室内で吸引機を使用するため床頭台のコンセントより50cmほどのコードをとっていた際、その利用者が転院するため居室へ訪問し、おむつ交換と着替えを行おうとベッドに近づいたとき、吸引機のコードに足が引っ掛かり転</p>	53	130201	2	50~ 99

			倒した。その際に右の膝を床に打ちつけ、右足の腫張と変色が生じた。				
2017	3	11~12	施設敷地内のビニールハウス前で木材を軽トラックに運搬中、足元の雪が沈み体のバランスを崩して左膝を捻って転倒し、歩行が困難となった。	41	80109	7	—
2017	3	9~10	事務所内にて、壁掛け時計の電池を取り替えるため丸イスの上で上がって、時計に手を伸ばしたときにバランスを崩し、後ろ向きで背中から落ちた。	50	40301	1	30~ 49
2017	3	15~16	クリーニング工場内において、綿プレス機で白衣の横部分のプレス作業を行っていた際、本来は白衣を安全ピン等で固定してからプレス機のボタンを押すべきところ、急いでいたため手で固定して肘でボタンを押し、下がってきた熱板に右手を挟まれ火傷を負った。	52	11703	11	30~ 49
2017	3	9~10	常温庫に入ろうとしたとき、設置されているシートシャッターが上に上がっていたので、通過しようとしたところ、シートシャッターが下りてきて、シートシャッターの下部が頭頂部にぶつかった。	62	10109	6	500 ~ 999
2017	3	16~17	被災者は品目切替作業のため、基済サイロから3Fタンクに基済を輸送するバケットコンベアの掃除を行っていた。掃除箇所はバケットコンベア下部の2箇所点検口で行うため、片側が終わり反対側の点検口に移動しようとした際、スクリーンフィーダー微粒排出口付近に後頭部を強打し、頭部及び首を負傷した。	67	170101	3	30~ 49
2017	3	16~17	被災者は品目切替作業のため、基済サイロから3Fタンクに基済を輸送するバケットコンベアの掃除を行っていた。掃除箇所はバケットコンベア下部の3箇所点検口で行うため、片側が終わり反対側の点検口に移動しようとした際にスクリーンフィーダー微粒排出口付近に後頭部を強打し、頭部及び首を負傷した。	67	10899	3	30~ 49

2017	3	17~18	敷地内工場壁面を工業用高圧洗浄機を使用し清掃していた際、工業用高圧洗浄機のスイッチを不意に切られたため、水圧が掛からなくなり、体勢を崩し股関節を負傷した。	57	10102	19	10~ 29
2017	3	11~12	会社工場内で高圧洗浄機の使用方法を教えていたとき、休憩しようと洗浄機のノズル部分を下に置いたら、下の石にぶつかってスイッチが入ってしまい、水が右目に当たった。ノズルを置く前にスイッチを切るべきであったのに先にノズルを置いてしまったこと、顔の面を先に外してしまっていたことが原因である。	16	30209	4	50~ 99
2017	3	11~12	惣菜作業室の冷蔵庫室から出て、閉じかけた扉を再度開けようと取っ手に手をかけずに扉と柱のすきまに手を入れたため、冷蔵庫のロック部分の金具に左手小指の指先が挟まり負傷した。	44	80209	7	100 ~ 299
2017	3	13~14	タイヤ入れ替え作業を行うため、タイヤチェンジャーへホイールを固定したが、固定が甘くホイールが動いてしまい、左手人差し指を挟み込んで骨折した。	27	80204	7	1~9
2017	3	9~10	レストラン厨房内において、調理台（大きさ幅約2m、奥行き約1m、高さ約74cm）で食材の盛付作業をしていた。横歩きで隣の調理台に移動しようとした際に調理台の足（床からのすき間15cm位）に自分の右足を引っ掛けて、コンクリート床に転倒した。	65	140309	2	50~ 99
2017	3	12~13	会社内の納品作業場で製品（シャツ）のアイロンプレス作業中に、誤ってプレス機に手をはさみ火傷した。	55	10301	11	50~ 99
2017	3	8~9	水の入ったタンクを加温器本体にセットしようとした際、腰に痛みがはしり痛めた。	32	170101	19	100 ~ 299
2017	3	8~9	水の入ったタンクを加温器本体にセットしようとした際、腰に痛みがはしり痛めた。	32	130101	19	50~ 99
2017	3	16~17	台車の上に載せられた断熱材が送られてきて、次の工程に移る際、エアコンの吹き出し口に頭部が当たり、首を捻り負傷した。	29	10901	3	10~ 29

2017	3	7~8	製造工場1階ロボット溶接作業場において、金属小物部品の溶接工程を終え、作業台から小箱に移すため振り向きざまに、左手甲部分を作業スイッチボックス角にぶつけ怪我をした。	60	11502	3	100 ~ 299
2017	3	7~8	製造工場1階ロボット溶接作業場において、金属小物部品の溶接工程を終え、作業台から小箱に移すため振り向きざまに、左手甲部分を作業スイッチボックス角にぶつけ怪我をした。	60	170101	3	1~9
2017	3	14~15	当社敷地内において、プラスチック製品成型用金型の移動作業中、ハンドリフトの上にゴム製の台（60cm×15cm、重量10kg）2個乗せ、その上に金型を乗せてトラックの前まで移動した。金型をフォークリフトで吊り上げて運んで行ったあと、ゴム製の台を片付けるため、ハンドリフトから持ち上げてそのまま後ろへ下がろうとした際、ハンドリフトに左足がつかず、後へ倒れ強打し、転倒しながらハンドリフトのハンドルで唇の上部も切り負傷した。	53	10805	2	10~ 29
2017	3	15~16	保育室内中央に設置してある柵（間仕切り）をまたごうとしたところ、柵に足が引っ掛かり転倒した。その際に肩を強打し、肩が上がらなくなった。	59	130201	2	10~ 29
2017	3	15~16	惣菜作業場にてフライヤーの掃除中に手首を変に捻り、手首から肘にかけて痛みが発生した。	50	80209	19	50~ 99
2017	3	13~14	店内キッチンにてグリルを清掃中、スケッパーで汚れを落としていたところ、熱い油がはね、左手示指、中指を火傷した。	60	140201	11	30~ 49
2017	3	13~14	該当スタッフが自動テープディスペンサー（梱包用テープを自動で供給する機械）を使用中、排出口に詰まったテープを素手で除去しようとしたところ、誤って排出口に右手中指が巻き込まれ、右手中指先端部皮膚欠損の傷を負った。テープの詰まりや機械のトラブルの際は、現場派遣先社員を呼び、派遣先社員が対応するルールとなっていたが、事故当時は社員がフォークリフト運転中のため不在となっており、早く直さなければならないという焦り	56	170101	7	100 ~ 299

			から電源がオンになったまま対応してしまった。				
2017	3	7~8	店舗レジにて、お客様からコーヒーの注文を頂きコーヒーをセットしレジに戻ったときに、予備釣りBOXが開いていることに気づかず転んでしまい、BOXに左腕の肘の周辺をぶつけ受傷した。	49	80209	2	10~ 29
2017	3	15~16	被災者は、当社で機密書類溶解処理作業補助業務に従事していた。減容機の停止に伴い（休憩のため）、出口に残っている解かれた紙が乾いて詰まってしまうのを防ぐため、バールで取り除こうとしたところ、バールと出口の金具の間に右手中指を挟み負傷した。	32	170209	7	1~9
2017	3	13~14	飲食店への什器備品搬入業務において、食器消毒保管庫（H1850mm×W1300mm×D530mm、206kg）の搬入作業中、搬入経路上で食器消毒保管庫内の付属品を取り出して台車上の位置を確認していたところ、肩が食器消毒保管庫にあたり、バランスを崩した食器消毒保管庫を支えたが支えきれず転倒し、食器消毒保管庫の下敷きになり、右足首骨折および右足甲裂傷を負った。	47	170209	2	50~ 99
2017	3	11~12	得意先の工場に鉄スクラップを回収に行き、回収が終わり、集積箱（200×100×70cm）の横蓋（100×100cm）重さ約30kgを締めるために持ち上げたとき、右肩に強い痛みがはしり、力が入らなくなった。	68	80409	19	1~9
2017	3	15~16	搬入作業先駐車場にて、コピー機の搬入作業中、上下2つに分かれていた機械（重さ100kg）を連結するため、同僚社員と二人で持ち上げた際、重さのためもう一方の相手が後にのけぞってしまったため、被災者もそのはずみでバランスを崩して右前方に引っ張られ、右の腰・わき腹付近を強く捻り負傷した。	40	170101	19	50~ 99
2017	3	13~14	職場の調理室で食材を取ろうと冷蔵庫の取手に手を掛けた際、冷蔵庫の取手がすべりやすい状態だったため、手首まですべり込んでしまい、手首をひねった。	37	140201	19	30~ 49
			本社3階のコミュニティールームにおいて研修を実施し、研修終了				

2017	3	18~19	後に机を片付ける際、机の天板を折りたたもうとしたが、なかなか折りたたまず、勢い余って机が右足に転倒して負傷した。	23	170209	4	—
2017	3	11~12	金属製のベンチの上でポスター貼りの作業中、ベンチから降りる際に足を滑らせて転倒し、右手をつき、右手親指を負傷した（骨に異常なし）。	65	170209	2	300 ～ 499
2017	3	9~10	開店作業の為に冷蔵庫から麺出しをする際、ステンレス棚のL型が破損しており、誤って左手が触れ、小指と薬指の間を切った。	52	140201	8	1～9
2017	3	8~9	朝のそば注文のピークが終わったあと、右手に痛みがあり、右手を見ると大きな水疱ができていた。	52	140201	11	1～9
2017	3	17~18	キッチンにて清掃中、ラックの上段から天板が落下し、右足親指付け根と爪の間に当たり、不全骨折を負った。	21	10104	4	30～ 49
2017	3	17~18	キッチンにて清掃中、ラックの上段から天板が落下し、右足親指付け根と爪の間に当たり、不全骨折を負った。	21	10109	4	100 ～ 299
2017	3	14~15	4階ボウリングフロアの女子トイレ個室を清掃中、しゃがんで清掃を行い、立ち上がった時に個室のドアの内鍵に頭をぶつけ、切ってしまった。	48	140309	3	100 ～ 299
2017	3	23~24	ヘルプ先である店バックにて、カレーウォーマー清掃のためお湯抜きをしながら別の作業を行っていたところ、誤ってそこに左足を当ててしまい、左足踵部分に熱湯が掛かり火傷を負った。	45	140201	11	10～ 29
2017	3	14~15	1F4号機の清掃中、シフターの止め具のナットをきつく締めすぎてレバーが固定出来ない状態となり、反動で跳ね返った際に外れたバンドが口元に当たり、唇の上辺りが切れてしまった。	38	11709	4	50～ 99
2017	3	9~10	電気ポットの前日の残り湯を捨てる際に、流しの脇にポット置いてフタをはずしたところ、ポットが倒れ足を火傷した。	52	130201	11	30～ 49
			コンサート等の電源供給をしている際、現場である床下に電気取り出し口があるため、被災者は床の蓋（コンクリート製、約60cm				

2017	3	22~23	四方、約20kg) を開けようとしていた。蓋の2か所の穴にフックを掛け持ち上げたところ、左側のフックが外れ、左足の上に蓋が落ちた。	35	170209	4	10~ 29
2017	3	14~15	浄化センターポンプ室で、浄化設備の水路清掃作業中、水路開閉ハンドル下の水路蓋をもちあげ、移動するために体を回転した(ねじった)とき、体の近くにあった水路開閉ハンドルに股間部を接触させ負傷した。	28	150109	3	10~ 29
2017	3	10~11	電源装置の入出力盤作業中に於いて、盤をハンドリフトに乗せて移動中、方向転換時に盤のバランスが崩れ転倒しかかった為、転倒方向下部に入り込み、それを支持しようとしたが、盤重量に耐えきれず転倒してきた盤に下半身が接触し、股間部裂傷と右足大腿骨骨折を負った。更に転倒した盤が右足甲部に落ち、甲部を骨折した。	33	11409	5	100 ~ 299
2017	3	9~10	品物を別の車輛にあけかえの際に油圧ホースの劣化によって切れてしまい、大胞部分が下がってきて腰にあたってしまった。	46	40301	6	1~9
2017	3	15~16	椅子に座っていた8歳の患者が椅子をずらそうとして、前のめりに倒れそうになった。患者を支え、元の状態に戻すと同時に、患者が乗ったまま椅子の浮いていた脚が右足の上ののった。	37	130102	7	1~9
2017	3	16~17	箱に入った切粉を別の大きな箱に移す際、勢いで大きな箱の口元の鉄板に指と指の間が当たって切ってしまった。手袋をしていなかったことと、手元の確認が不十分であったことが原因である。	76	11301	3	10~ 29
2017	3	15~16	大型シリンダヘッドのテスト中に、圧力を抜かずに圧力がかかったまま部品を取りはずしたため、部品が右足首に当たり負傷した。	33	11502	4	1~9
2017	3	13~14	入浴介助のため、特浴室にて2名で利用者をチェアー浴の台車に乗せ、レッグレストを2人で上を持ち上げた際、左手第4指がレッグレストのロック解除レバーに挟まり負傷した。	51	130201	7	50~ 99

2017	3	9~10	店舗外のゴミを回収中、直前の回収場所にゴミを置き忘れ確認しようとしたが、今いる場所からは建物が邪魔で見えなかった。歩いて戻って確認するよりも駐車場へ出て見た方が早いと思い、走って自転車置場をくぐり抜けようとしたが、輪止め用の鉄製の横棒の存在に気づかず激突し、左ひざの下辺りを強打した。	69	150101	3	50~ 99
2017	3	17~18	終業前に高さ2.6mにあるフープコーターのステージにのり、清掃などの片付け作業をしたあと、はしごを使い下りる途中で手を滑らせ落下した。目撃者がいないため推測となるが、設備から1.4mの事務机に背中を打ちつけ肋骨が3本折れ、そばの設備に手をぶつけて負傷したと思われる。	59	11409	1	100 ~ 299
2017	3	18~19	プレス作業が終了し金型を外したあと、リフトに乗せるため金型を斜めにしようと金型の下を持って動かしている際に、金型が乗っていたマクラから金型が滑り落ち、ボルスタと金型の間に左手を挟んだ。	45	11203	7	30~ 49
2017	3	12~13	入所者への飲み物をつくっている途中、ポットの湯をプラスチック製の容器に入れて、そのあと容器のフタをし、容器の中に入れてあった粉とお湯をまぜるため容器を手でふっている途中、その容器が割れてしまい、中の湯が飛び散ってしまった。そのとき湯が左手と左手首にかかり火傷した。	20	130201	11	50~ 99
2017	3	7~8	派遣先冷凍倉庫にて、出荷のためのピッキング作業中、高さ170cmの棚から冷凍うどんの入った箱（重さ7~8kg位）を降ろそうとした際、一旦胸で受け止めようとしたが手が滑り、箱の角で胸を強打した。	27	40301	4	50~ 99
2017	3	8~9	レジ接客中、電子レンジで温めた商品を取り出す際、電子レンジ前のカウンターの角に右手首をぶつけてしまい骨折した。	49	80209	3	10~ 29
2017	3	8~9	営業所B棟外側ホームにおいて接車後、跳ね上げローラーを車内につなげる際に、折りたたみ部分が山なりになり、左手で山なり部分を勢いよく平行にしようとした際、左手薬指がはさまり負傷し	44	40301	7	10~ 29

			た。				
2017	3	16~17	店内のカウンターにてソフト加工業務中、棚に置いていたゲーム機本体が足の上に落下し負傷した。	18	80209	4	30~ 49
2017	3	14~15	当事業場内にて職場の引っ越し作業中、床上にあるソファを運搬するために同僚と共に持ち上げたところ、腰に強い痛みを感じた。	25	130201	19	500 ~ 999
2017	3	17~18	5階病棟の廊下から詰所に入った際、他の職員が座っていたイスの脚に右足が引っかかり、前向きに転倒し、右手と右膝を強打した。	58	130101	2	100 ~ 299
2017	3	10~11	両面バルコニー点検のため北面の足場解体中、足場上を通行中に材料卸のため床板を外していた箇所から1段墜落し、更にもう1段墜落した（約3m）。	41	40301	19	10~ 29
2017	3	9~10	イベントホール開店準備時、夜間防犯用フェンスを移動させていたとき、フェンスのバランスが崩れて倒れ、フェンスが右足に当たり、打撲及び右足中指を不全骨折した。	49	80201	5	50~ 99
2017	3	15~16	勤務先倉庫で月末の棚卸しをしている時に、上にある粉体を数えようと棚に登ろうとしたところ、足を踏み外し、足首を捻った状態になり、そのまま落下して負傷した。	40	10808	1	10~ 29
2017	3	14~15	惣菜揚げ物の加工室でチキンカツを上げた後トレーを取ろうとして移動しようとした時、床にあったダンボールに足をとられ、転倒しそうになったのでフライヤーの淵に捕まろうと手を伸ばしたが、誤ってフライヤーの油の中に左手の手首あたりまで入れてしまった。	57	80209	2	100 ~ 299
2017	3	12~13	惣菜作業場で作業をしている時、作業台の下の冷蔵室の扉が開いたままになっているのに気が付かず、右膝を強打した。	48	80209	3	100 ~ 299
			病室で患者の体温・血圧を測り終えて歩き出した際、ナースコー				300

2017	3	10~11	ルのコードに足が引っ掛かり転倒し、右膝を床に強打した。	64	130101	2	~ 499
2017	3	9~10	スチール家具（保管庫）を搬出中、階段で下側を担当し降りている最中、一旦立ち止まった時に、ガムテープを固定していたスライド扉がテープが外れ、右手薬指をスライド扉で挟まれ骨折した。	30	170101	7	10~ 29
2017	3	11~12	病院内個室での床拭き掃除中、椅子を持ち上げる際に体勢を崩し、ベッドの柵で腰を打撲負傷した。	70	150101	3	500 ~ 999
2017	3	11~12	食養科の調理室で、使用済みの食用油を再生処理後に再生した油をフライヤーに入れる為、コロが壊れていた油処理機を移動中、処理機の油が一杯だったので中の油が跳ねて左腕にかかり、肘下から手首を火傷した。	61	130101	11	500 ~ 999
2017	3	17~18	石炭・バイオマス焚き発電設備建設工事で、被災者はΦ900のPC抗の打設を完了し、Φ300のPC抗打設のため盤替作業を行っていた。ロッドに取り付けてある練付けドラム（75kg）を2人で取り外す際に被災者の手がすべり、練付けドラムが被災者の右太ももにのったとき、練付けドラムを払いのけてバランスを崩し、右足首を捻った。被災者は安全帽、皮手袋、安全長靴、安全帯を装着していた。	25	30199	19	1~9
2017	3	10~11	自社倉庫内にて商品管理作業中、テーブルを移動させていた際に誤ってテーブルの足が右足甲部分にのり、右足甲部分を負傷した。	33	80209	3	30~ 49
2017	3	11~12	給食共同調理場で、ガス釜上部のダクトを掃除しようとガス釜のふちに足を乗せ、ダクトカバーを外していたところ、バランスを崩して背中から転落し、左腕を骨折した。	59	10109	1	30~ 49
			客室にて清掃作業中、天井の非常灯の電球を交換しようと4脚のテーブルの上に乗って作業をしていたところ、4脚の脚が1本折れ				500

2017	3	12~13	て、バランスを崩して後方へ転倒し、背中・腰・首を床に打ちつけた。	46	140101	5	~ 999
2017	4	14~ 15	食肉作業場でまな板（プラスチック製約20kg）をセッティングしようと思い持ち上げた際、手が滑り右足甲の上に落とし痛めた。	36	80209	4	100 ~ 299
2017	4	11~ 12	当社事務所内でパソコン設置及び配線作業中、事務机（110cm×70cm×70cm、約60kg）の裏側（後方）に配線をするため、事務机を手前方向に約50cmを1人で移動しようとしたところ腰を痛めた。	30	170201	19	50~ 99
2017	4	10~ 11	厨房内で、冷菜を盛り付けようと食器棚から器をとり出そうとカゴを斜めにし、器をとり出すときに食器棚の上部レールに手があたり右手中指を切った。扉の開閉動作によりレールが摩耗し、鋭くなっていた。	50	130201	8	10~ 29
2017	4	17~ 18	店内厨房にてフライヤーの清掃中に、一つの清掃終了後バットの蓋をしようとした所、少しずれておりうまく閉める事ができず、力を入れて押し込もうとしたところ蓋が滑ってしまい、蓋ごと誤って油の中に右手を入れてしまい、右手甲部に火傷をしてしまった。	68	140209	11	30~ 49
2017	4	10~ 11	オフィス内で朝礼中、ホワイトボードを回転させようとしたところ右足に倒れてきて、右足親指付け根を骨折し、右足甲を7針縫った。	55	90103	5	10~ 29
2017	4	8~9	缶詰工場内で、缶詰製造の為の真空タンクを清掃していた時、左手で蓋をおさえていたが誤って手を放してしまい、蓋を落とした。その際、置いていた右手に落下し、人差し指と親指を挟み骨折した。	59	10102	7	100 ~ 299
		14~	洗濯室の洗面台の蛇口（お湯が出る方）から、お湯が漏れ出していたため蛇口の交換をしようとしたところ、元栓を探したが見つ				50~

2017	4	15	からず元栓を閉めない状態で作業を行った。その作業中にお湯が吹き出し、お湯を止めようとして左手にお湯がかかり、右手で蛇腹をつかんでしまい熱傷を負った。	59	130201	11	99
2017	4	10～11	店のバックヤードで、清掃で使用して汚れたダスターに掃除機を掛けようとコードをコンセントに差し込む際、ジャバラホースに足がからまり、両足が開脚してしまった。その時に左手で体を支えようとして、掃除機に肘をついたところ痛みが発生した。	64	150101	19	100～299
2017	4	17～18	アルカリ脱脂槽（深さ90cm）の中にある配管が詰まったため、トイレ用のラバーカップ（長さ57cm）を使用して詰まりを取り除く作業中、アルカリ脱脂槽のキャリア上部のカバーに立って（縦1m19cm、幅25.5cm）両手でラバーカップを持ち、配管入口を吸い上げ引き抜く際、引く力が強くなり後ろにバランスを崩し、槽の中に右足から落ち、下半身部位がアルカリ脱脂液に浸かり痛めた。	46	11204	1	50～99
2017	4	6～7	飼料バルク車から飼料タンクへ荷卸し作業中、タンクのはしごから下りる際、安全帯を外した後に右手を滑らせ地面へ落下し、頭・背中・腰を強打した。	55	40301	1	50～99
2017	4	16～17	閉店作業中、ヘラ等を洗浄するためシンクに置き、電気ポットのお湯を掛けようとしたところ、誤って右足にお湯をこぼし、右足に熱傷を負った。	25	170209	11	10～29
2017	4	18～19	業務終了時にエアガンで汚れを落としている際、操作を誤りエアガンを眼球に当て、眼球周りの粘膜を損傷した。	48	140301	6	50～99
2017	4	7～8	第一工場にて生産準備のため旧式フィンガーホルダーのパレットをフォークリフトで取り出す際、入口に工事予定の1600TFクッションユニットが置いてあった。そのためフォークリフトの進入口を確保しようとフローターベースが乗っかっている台車を両手で掴み動かそうと力を入れたところ、台車枠内に収まっていなかったフローターベースが滑り落ち、フローターベースと台車の	44	11502	7	100～299

			間に右手中指を挟まれ負傷した。				
2017	4	13～ 14	被災者は、お湯でボウルを洗浄しようとしていた際、水と蒸気のレバーの開閉を確認すると水（閉）、蒸気（開）になっていた。この状態でお湯が出ると勘違いしワンタッチレバーを開けたため、ホースから蒸気だけが排出され、ホースの末端が置かれていた右足首付近に噴き出し、右足首に火傷を負った。	24	10101	11	300 ～ 499
2017	4	16～ 17	当社工場内の仕上げ作業場において、クリーニングの仕上がり品をゼットハンガーという大型のハンガーに掛けて最終の仕上げ作業をしている時、忙しく働いていた為、足元に気がいかず誤ってゼットハンガーの下部の足が引っ掛かり、顔面から転倒し、前歯（1本）折損・歯の根ヒビ（2本）・肩膝打撲を負った。	79	11703	2	30～ 49
2017	4	9～ 10	入社時、社員通用口手前にある防塵マット上で足をひねり転倒し、更に通用口から社屋内に入り、フロアーマットに足を引っ掛け転倒しそうになった際に右足甲を骨折した。	53	10709	2	100 ～ 299
2017	4	11～ 12	給食で提供する揚げパンを揚げていたところ、パンの落下により、油が左手の中指・薬指・小指・甲・左手首、及び左腕にはねて火傷を負った。	55	10109	11	1～9
2017	4	7～8	勤務先特別養護老人ホーム2階のユニットにおいて、利用者に呼ばれたため駆けつけようとしたところ、目の前にあったパソコンの机の足につまずき転倒し、左足を強く捻ってしまい、左第5中足骨を骨折した。	51	130201	2	30～ 49
2017	4	11～ 12	自社工場にて、配管に閉止フランジ（14kg）取付時、取付部フランジと閉止フランジの間に手を入れた。左手親指のつけ根を取付部フランジと閉止フランジの間に手を入れて挟まれた。	62	11209	7	10～ 29
2017	4	14～ 15	病院屋上にて蒸気配管の改修時に、熱水を逃して作業中、熱水をすべて出しきったので継ぎ手部分を取り外して作業をした時、残っていた熱水がかかり両手の甲とお腹をやけどした。	59	30302	11	1～9

2017	4	10～ 11	室内にて照明器具を外す際、ハンガーケースを踏み台にしたところ、ハンガーケースが破損し落下する。	21	40301	1	30～ 49
2017	4	11～ 12	勤務開始前、トイレに入った際に扉に手を挟んだ。ヘルプで慣れない店舗と言う事もあり、トイレ扉が思った以上に速いスピードで勢いよく閉まってきたため、手を挟んでしまった。	56	140201	7	10～ 29
2017	4	4～5	南口のタクシー待機場所内で車両を停車させ待機する。その後、軽い運動をしようと車両から降り、車道との境目に設置されている、等間隔高さ50cmで間にチェーン・ロープ（金属製）が張られている物を跨ごうとした際、左足付け根がチェーン・ロープに引っ掛かり、左肘から地面に倒れた。	63	40201	2	300～ 499
2017	4	15～ 16	店内ペットコーナー休憩から仕事に戻る途中、お客様がいらした為よけすぎて、ペットコーナーの足元の器具に足をひっかけ飛んで落ち、右足ひざを強打した。	62	80201	2	10～ 29
2017	4	9～ 10	店舗内にてストローを補充するため、保管されている上部棚から取り出す際に、右足をコールドテーブルに載せ、左足を洗浄機に乗せた。左足に乗せた時に洗浄機の取っ手に足がかかってしまい、洗浄機があいてバランスを崩し、後方に転倒した。	23	80209	2	10～ 29
2017	4	11～ 12	荷物を配達している際に徒歩にて移動中、足元をよく見ていなかったために段差に躓き転倒し、右手を強打し、右手首剥離骨折を負った。	60	170101	2	500～ 999
2017	4	18～ 19	店内調理場にて、揚げ物をしている最中に、通常コンロが左側にあるため揚げ物を入れるバスケットの取っ手は手前に向けておくべきところを、不注意でコンロ側にむけていた為、コンロの熱で高温になっていたのに気付かず握ってしまい、右手のひらを火傷した。	20	140201	11	50～ 99
2017	4	3～4	ウォークイン冷蔵庫内にて作業中、足を滑らせ転倒し、右手で体を支えた拍子に親指を床に強打し、打撲を負う。	40	140201	2	10～ 29

2017	4	9～ 10	洗浄機の車輪の確認をする為に、機械の下に木をかませようとしてる時に機械を支えてている右手が滑り、左手が機械と木の間に挟まってしまった。	26	30209	4	10～ 29
2017	4	10～ 11	婦人服売場作りの為、備品置場から棚板を取り出す作業をしていた際、取った棚板をいったん壁に立てかけておいたところ、後ろから棚板がバタバタと倒れてきて怪我をした。	46	80201	5	300 ～ 499
2017	4	11～ 12	店内でスロット用メダル搬送用ベルトの異物除去作業後、再始動時に右手人差し指をベルトに巻き込まれ骨折等の怪我をした。	29	140309	7	30～ 49
2017	4	13～ 14	工場棟2階ボイラ補機スペース内のボイラ用薬液注入装置前で共同作業者と配管フランジの交換作業を行っていた。その時に同じ作業場で、別の作業員が配管の耐圧試験をコンプレッサーを使用して昇圧作業を行っていた際、使用していたホースが破裂し、被災者の左耳で大きな音が鳴り受傷した。	41	30201	15	1～9
2017	4	18～ 19	当社畜産作業場内において、シンク上でまな板を洗浄し、両手で運ぼうとした際にまな板が滑り左足親指先端部分に落下し、骨折してしまった。（まな板は大きさ120×60、12.5kg。）	46	80209	4	30～ 49
2017	4	20～ 21	厨房内にて閉店作業中スープの寸胴を清掃する為、排水溝にお湯を流そうとしたところ水量が多くはね返ってきたお湯が左足首にかかり火傷した。	42	140201	11	10～ 29
2017	4	14～ 15	30mlの化粧品のガラス瓶を左手で持ち、右手でキャップを開けようとして、キャップがきつく、キャップがゆるむ前に瓶の首部分が割れてしまい、その部分で左手の親指と人差し指を切った。	55	10109	8	100 ～ 299
2017	4	17～ 18	同社工場の横（敷地内）を歩行中、湯洗（塗料の付着した治具を乾かしやすい状態にする場所、100℃近い温度）の近くで足元が濡れていて滑りバランスを崩した際に、右腕（肘付近）が湯洗に入ってしまう火傷した。	19	11209	11	50～ 99
			売場で両手に抱えて荷物を運んだ際、持っていた荷物				100

2017	4	4～5	(60cm×60cm×60cm) が死角になり、平台の角に左太腿をぶつけた。	57	80209	3	～ 299
2017	4	17～ 18	工場焼却施設で灰出し作業時に水蒸気爆発が発生し、灰出し機の表の扉が開き本人が熱風を浴び、熱傷（両手、顔面、両大腿）を負った。原因は、前日に搬入のあった鉛筆、カーボンを焼却処分したことによるものである。カーボン素材のものが炉内で高温に熱せられて炉床に溜まり、灰出し時に灰出し機の水槽に高温のカーボンが大量に落下し、水が急激に熱せられ水蒸気となり、爆発的に体積が上昇してしまった。	36	150102	14	10～ 29
2017	4	4～5	ビジネスホテルの客室で、エアコンのフィルター掃除をしていた。フィルターを戻した後に、スチール製のふたを閉じたが、しっかりと固定されておらず椅子から降りようとした時に、ふたが外れて頭部に落下し、首を痛めた。その後、手がしびれて動かせなくなった。	27	140101	4	1～9
2017	4	15～ 16	店舗厨房の配膳車プールで、夕食配膳の準備で配膳車にトレイをセットしているとき、前方不注意でつまずき、転倒して骨折した。	68	140209	2	10～ 29
2017	4	14～ 15	事業場玄関で福祉車両の車椅子スロープ車の外から手動式スロープの格納作業をしているときに、1人で折りたたみ式スロープの格納時、車両にスロープを格納しきれず、スロープが上から右スネに落ちてきて、スネを裂傷しながら右足首で衝突停止とともに体が転倒し、右足がスロープの下敷きとなり、右脛裂傷及び右足首付近5～6箇所骨折を負った。	50	130201	3	1～9
2017	4	0～1	作業場で待機後、作業を再開する為に動いた瞬間に躓き、顔をキャリアにセットしていた治具にぶつけ眉毛と目の間を切創した。	52	170101	3	100 ～ 299
2017	4	13～ 14	病院内地下の害虫駆除において、洗濯機の下廻り点検中、頭上の乾燥機設置棚に気付かず頭を上げたときに打撲と切創を負った。	43	150109	3	1～9

2017	4	14～ 15	事業場内整備工場にて、車両のリアマフラーインシュレーター交換作業中、床に置いていた部品を取り立ち上がった時に、使用中の作業用支持ポールが視界に入っておらず右目にぶつけてしまった。	57	80202	3	1～9
2017	4	0～1	客室の部屋締め作業中、ソファの上にテーブルを裏返す様に上げたところ、テーブルが床に戻る様に落下し、左足つま先にテーブルの脚が当たった。	19	140309	4	30～ 49
2017	4	11～ 12	仕分け作業時、ラックに格納されている商品を取り出し、後退して頭を上げた際に頭頂部をラックにぶつけ、ムチ打ちとなった。	23	40301	3	300 ～ 499
2017	4	13～ 14	1階店舗においてバックヤードから店内に入ろうとしスイングドアに手をかけた際、観音開きのドアの隙間に指が挟まったため右手中指を挟んだ。	61	80209	7	100 ～ 299
2017	4	17～ 18	事務所内で子どもにトランポリンを教えている時に、天上からぶら下がっている縄を子どもが振り、それが右目に当たり負傷した。症状として小さな黒い点が目の中で飛んでいる状態が続いた。	46	120109	6	10～ 29
2017	4	10～ 11	自動車学校増設現場にて、バラセメントをタンク車から設置しているタンクに注入している時、セメントがホース内で詰まった。逆流させる為にエアを抜こうとしてホースを点検していたら、セメントが吹き出て顔や体に付着し目に入った。	49	40302	4	10～ 29
2017	4	14～ 15	仕事の中に椅子に足をひっかけて転倒した。	21	10104	2	50～ 99
2017	4	10～ 11	厨房で、カツオブシを入れて出汁をとっていた寸胴鍋を傾けて中のカツオブシを網でこしていたとき、誤って出汁が右足にかかり火傷を負った。	31	140201	11	10～ 29
		18～	スタッフルームでプラスチック製のイスに座って報告書を作成し				10～

2017	4	19	ていたところ、突然座っていたイスが壊れて、臀部を床に痛打した。	41	130201	3	29
2017	4	11～ 12	店舗内水産部の作業場にて清掃作業をしているとき、まだ冷めていないフライヤーの縁を拭いて手を滑らせてしまい熱い油の中に手が入り、右手に火傷を負った。	34	80209	11	～ 299
2017	4	16～ 17	メダルを回収している際に、サービス扉を外して立てかけていたところ、通りすがりのお客様の足が扉に当たり、扉が倒れて左膝に当たった。（お客様は当たったことにも気付かず、ケガもない。）外傷はなかったが痛みがあり、立つのも困難となり、後日に半月板断裂と診断された。	43	140309	5	10～ 29
2017	4	9～ 10	積んだ車輛を降ろす作業中、最後の1台を降ろすため左に移動する際に、いつも通りの慣れで下を見ずに足を移動させたら隙間に足を入れてしまい、転倒して左脛裂傷、右手親指骨折を負った。	45	40302	2	10～ 29
2017	4	13～ 14	駐車場機械敷地にて機械を分解した時、機械を支えた木のブロックがずれていたため部品をはずしてバランスが悪くなり、機械が倒れかかった。	76	30309	5	1～9
2017	4	9～ 10	畜産用換気扇取付をするため換気扇を運ぶ途中、風が吹いてファンが回って羽根の先端が右手の甲（中指）に当たり負傷した（作業用手袋着用）。手の甲の腫れと痛みが引いた後も中指が動かず、筋が切れていることが分かった。	56	30309	7	1～9
2017	4	12～ 13	スチームコンベクションオーブンの上にあった鍋つかみを取ろうとしたらスチームコンベクションの扉が開いて、蒸気により腕を火傷した。	59	10109	11	1～9
2017	5	10～ 11	キッチン内で清掃中、グリドルから降りた際に着地に失敗し、右膝の前十字靭帯の断裂および半月板損傷を負った。	47	140201	3	10～ 29
2017	5	2～3	休憩室に入った直後、立ちくらみによりバランスを崩し、休憩室にあるパイプ椅子に右足人差し指と中指を強打した。	26	170101	3	50～ 99

2017	5	2～3	休憩の為、休憩室へ入ったところでふらついた状態で歩き、休憩室の椅子に気付かず右足中指をぶつけて骨折した。	26	10109	3	100 ～ 299
2017	5	9～ 10	清掃中に清掃用具保管庫のシンクへ汚水を捨てようとバケツを持ち上げた際、腰椎を捻挫した。	45	150101	19	300 ～ 499
2017	5	8～9	当社工場内において生昆布のボイル作業中、ボイル作業が終わり、タンクから使用した熱湯を捨てている時に誤ってタンクに近付き、長靴に熱湯が入り左足甲を負傷した。	52	10102	11	10～ 29
2017	5	19～ 20	トッピング室内のゴミ箱に足を引っ掛けて転倒した際に、右肩をぶつけて腱が切れた。	58	10109	2	300 ～ 499
2017	5	17～ 18	羊肉の加工処理を終え、包丁を洗うため左手に包丁を持ち右手スポンジで洗っている時、誤って手を滑らせ右親指に裂傷を負った。親指を動かすと少し出血し、右長母指伸筋断裂と判明した。	57	10101	8	10～ 29
2017	5	23～ 24	洗い場にてジョッキを洗っている時に、伏せてあったジョッキが落ちてきて、シンクに当たり割れ、割れたジョッキの破片が飛んで小指を切った。	27	140201	8	100 ～ 299
2017	5	12～ 13	厨房にて、スープジャーの中に入っていたお湯の量を減らそうとジャーを持ち上げた際に、自分の体の方へ傾けた状態で引くように持ち上げた為、中のお湯が右足にかかりコックシューズの中に入り込み、右足裏に熱傷を負う。	21	140201	11	10～ 29
2017	5	10～ 11	ホテル客室にてベッドメイク業務中、客室内の清掃のため、廊下から客室へ入るドアを押して開けてドアを固定するため、しゃがんでドアの裏側にあるドアストッパーを取ろうとしたところ、ドアを押さえていなかったためドアが自分の方へ閉まってきて、左足のつま先にドアの下部が直撃した。着用していた室内履きは破れ、足の親指の爪が剥がれてしまった。	61	140101	3	50～ 99

2017	5	16～ 17	園芸作業土場において、剪定した木の枝をチップパーを用いてチップにする作業中、チップパーのモーターベルト部に木の葉が被り、左手でどけようとした際に誤ってベルトに巻き込まれ、小指を脱臼し、左手薬指付け根付近と端を切創し出血した。	37	30309	7	1～9
2017	5	13～ 14	加工機の改善を行うために修理予定の遊休加工機の上部に上った。加工機周りの足場設置をせずに機械上部上ったところ、上部が油分で滑り易かった為に足を滑らせて落下（1.8m）してしまった。	52	11502	1	50～ 99
2017	5	14～ 15	事務所6階会議室にて窓枠清掃後に窓を閉める際、窓のドアひもが外に出ていたため左手で取ろうとしたところ窓が閉まってしまい、右手人差し指が挟まり裂傷した。	56	150101	7	1～9
2017	5	15～ 16	教室内の設営道具置場で、清掃道具を取りに行く時に、設置してある棚に額を強打し切傷した（縫合3針）。	66	150101	3	300 ～ 499
2017	5	14～ 15	飛行中に、ビジネスクラスの客室のリクライニング機能が故障し、他の乗務員2名と共に手動操作を試みた。2名が前方よりシートを引き、当該社員は後方から背もたれを全体重をかけながら左手で押し、右手はシートの電動ボタンを押しながら、何度もゆすりながら押してみた。電動シートを手動で操作するには、多大な力が必要であり、作業後に左手の親指の動きが悪くなり、痛みが発生した。乗務翌日には、肘、肩甲骨、首、肩にも痛みが発生した。	39	170209	19	100 ～ 299
2017	5	9～ 10	旅客搭乗準備中、帰内後方右ドア付近の幼児用救命胴衣が収納されている天井収納棚を閉めようとしたが、手が届かなかった。飛び上がって天井収納棚を閉めようとしたところ、左母指が天井収納棚に突き当たり、痛みを発生した。	30	40103	3	—
			被災者は、接客業務中、客に呼ばれ景品を交換するためショー				

2017	5	19～ 20	ケースの扉を開けようとした時に、扉の持ち手部分を持ったが扉が全く動かず、端の方を持ち上げて動かしたところ、ガラス扉が右足に落下した。	20	170209	4	50～ 99
2017	5	13～ 14	ホテル内レストラン厨房で客用コーヒーを大量用意中、コーヒーメーカーのドリッパーが空であると誤認し、あふれていた熱いコーヒーがドリッパーを手前に引いたことにより、左手甲・指部分にかかり火傷を負った。	65	140101	11	100 ～ 299
2017	5	7～8	窓口において、被災者は不在通知書を持参のお客様対応のため、跳ね上げ式カウンターの左横に置いていたバーコードリーダーを右手で取ろうとした。その時、跳ね上げ式カウンターは開いており、入口自動ドアを開けた社員がお客様のために跳ね上げ式カウンターを閉めようとした。その際、バーコードリーダーを取ろうとした被災者の右手薬指先にカウンターがぶつかり負傷した。	59	110101	6	100 ～ 299
2017	5	10～ 11	ベーコン製造ラインで使用している高速スライサーにおいてベーコンの原木をグリッパーにセットする際に、誤ってグリッパーの爪付近で原木を持ってセット作業を行ってしまい、原木と指と一緒に爪の部分で挟んだ。	23	10109	7	100 ～ 299
2017	5	10～ 11	クリニック受付カウンターにおいてお客様対応業務中、イスに座ろうとしたが、キャスター付のイスが後ろにずれていて、腰を下ろした位置に椅子が無く、転倒し、コンクリートの床に左手を強くつき、手首を骨折した。そのとき壁に頭が当たり、頭痛・吐き気・ふらつきがあり、一時的に自力での歩行が困難となった。	56	130109	2	1～9
2017	5	16～ 17	施設内の流し台の吊戸棚が落下し受傷する。	31	130201	4	10～ 29
2017	5	3～4	規制撤去時、トラック荷台にLED表示板をのせる際、3名で行っていたが重量の見込みを誤り腰を痛める。	54	170201	19	50～ 99
2017	5	15～	当事業所食品館の精肉バックヤードにおいて、コバエ取りを天井に取り付けようと牛乳用コンテナケースを重ねた上に乗って作業	45	80209	1	50～

		16	をしていたところ、コンテナが崩れて落下し転倒した。					99
2017	5	13～ 14	ホテル客室清掃中に包布を入れ込む作業中、前かがみで作業していたところ腰痛が発生した。数日間は通常通り作業をしていたが、徐々に腰痛が激しくなった。	37	150101	19	～	300 499
2017	5	8～9	ご利用者宅団地敷地内のゴミ集積場に、ご利用者宅のゴミを出そうと片手にゴミを持ち、もう片方の手で集積場のゴミに掛けられているネットを持ち上げてくぐる際、足がネットに引っ掛かり転倒した。痛みと出血はあったが業務を終え、帰宅後に痛みが増し、膝が曲がらなくなった。	69	130201	2		10～ 29
2017	5	14～ 15	そばを作っている時向かい側のつゆが少なくなり、つゆの寸胴がゆで釜に浮いていて、そこにつゆを足した時に寸胴が沈み、その反動でゆで釜の熱湯が溢れ、左足のふくらはぎに熱湯がかかり火傷をした。	50	140201	11		10～ 29
2017	5	11～ 12	鑄造作業の現場で、製品を取り出そうと金バサミを差し出したところ、金型の下型が上型に張り付いた状態から落下し、金型のボルトが皮手袋に引っ掛かり、右手を強く引かれ右肩と腰を痛めた。	42	11502	4		500 ～ 999
2017	5	9～ 10	ごみコンテナ置場で燃やすごみ収集作業中、コンテナを戻す際、運んでいたコンテナの金属バート置いてあったコンテナの金属バーに右小指を挟んだ。	51	150103	7		50～ 99
2017	5	19～ 20	調理機器の油の交換及び清掃作業中に機器内に溜められたお湯が加熱され誤って蓋をしてしまった。沸騰している状況で機器の蓋を開けてしまった者のそばで、別の清掃作業中の本人に噴き出した熱湯が体にかかり火傷をした。	16	140201	11		10～ 29
2017	5	19～ 20	調理機器の油の交換及び清掃作業中に、機器内に溜められたお湯が加熱され、誤って蓋をしてしまった。沸騰している状況で機器の蓋を開けてしまい、噴き出した熱湯が両足にかかり火傷をし	17	140201	11		10～ 29

			た。				
2017	5	16～ 17	事業所内、飲食会場にて片付け中、冷蔵庫にビンをしまう際に、開けた冷蔵庫内部の角に右手首をぶつけた。	36	80409	3	10～ 29
2017	5	10～ 11	2号機ボイラー屋外（1FL）において、ボイラー化学洗浄用仮設配管の敷設を4名で実施していた。配管吊治具（以下「治具」）を使用して1本目の配管敷設を終えた後、当該配管横に治具を移動させる際、傾けた状態で治具を横引するため、作業員3名で支えていた。治具の車輪が反被災者側に動いた際、治具のバランスが崩れ転倒し、被災者の肩甲骨付近を強打した。	64	30302	5	30～ 49
2017	5	16～ 17	測定機の石テーブルの上で定期検査作業中、足場台（台形）の安全ロックが完全にセットされておらず、足場台の右側が内側に倒れ、バランスを崩し石テーブル上に落下し、右手右尻を強打した。	41	11302	1	1～9
2017	5	10～ 11	当社デイホール内窓辺前の長机の上に乗し、紙でできた大きな看板のようなものを壁に貼ろうと、長机の上に立ち、手をいっぱい伸ばしながら作業していた際、折りたたみ式の長机の脚が折れてしまい、背面から床に転落してしまった。	34	130201	1	30～ 49
2017	5	14～ 15	本社1号館メッキ職場にて、大型金管楽器のメッキ作業の最終工程の湯洗い工程にて、ワークを湯洗いしていた。保護具を着用（長靴は滑りにくい指定の物）し、槽の前に立ち両足を平行にして腰を曲げて腰を下ろし膝を槽に当て上半身を曲げてワークを湯洗槽に入れて洗浄していた。その際に濡れたグレーチングで足を滑らせ、上体が前に出ている為バランスを崩し、上半身が湯に浸った。	46	11709	11	500 ～ 999
2017	5	12～ 13	麺コーナーで店長が冷蔵庫内の食材を取り出そうと扉を開けた時に、扉の反対で後向きで立っていた被災者の右脛に接触し、転倒した際に右脛、右膝に打撲、擦り傷を負った。	45	80109	6	1～9
							100

2017	5	14～ 15	製造された段ボールシートをパレットに載せ、ローラーで運搬中に左足を滑らせ、運搬用ローラーの隙間に左足が挟まった。	22	10602	7	～ 299
2017	5	14～ 15	製段された段ボールをローラー上で運搬中に左足を滑らせ、運搬用ローラーの隙間に左足が挟まり怪我をした。	22	170101	7	50～ 99
2017	5	11～ 12	作業場でフライヤーのかき揚げリングの清掃中、油がはねて左手を火傷した。	60	80201	11	50～ 99
2017	5	9～ 10	下処理室から調理場に入る時、調理場入り口横の業務用扇風機一脚にぶつかり左足もも横を強打し、前に手をついて倒れた。その後も仕事を続けたが、強打した部分がソフトボール大に腫れて痛みが増し、歩行困難な状態となった。	53	10109	2	30～ 49
2017	5	14～ 15	事務所倉庫内で、鋼製のラック（棚）を2名で組み立てていた。1名が電話の対応で離れた為、1人で長さ約4m、重量20～30kg位の金属製の框を、ラックの最上段（地上3～4m位）に設置し、外れ止めの金具を取り付け地上に降り、別作業に移ろうとしたところ、頭上より落下し、右前腕に接触した。本来2人作業ですべきところを1人でしたこと、外れ止め金具の確認が不十分であったことが原因と考えられる。	52	150109	4	1～9
2017	5	14～ 15	レジの作業中、お客様の清算済カゴをサッカー台に運ぶ途中、予備のカゴ台（縦32cm×横50cm×奥行34cm）に躓き右膝を強打した。	25	80209	3	50～ 99
2017	5	14～ 15	当施設浴室において、利用者の入浴介助の合間を利用し、当日に使用した浴槽を清掃するにあたり、立位の状態から腰を屈め、右手で浴槽内の汚れを拭き取ろうとして、濡れた浴槽の縁に左掌を置いた時、当該掌が滑り浴槽内へ転落し、左肩を強打した。	52	130201	1	30～ 49
2017	5	10～ 11	円筒形のポンプ（約30kg）の底に部品を取り付ける作業中、立ててあったポンプを向こう側に90度倒した際に作業台の右端で倒しこんだ為、作業台から転げ落ちてきた。両腕で抱えたが重さに耐	40	170101	4	300 ～

			え切れず、しゃがんだ状態になり、太もも前部にポンプが当たり打撲した。					499
2017	5	12～ 13	厨房にて昼食盛り付け時、ウォーマーの上にあるホテルパンを差し換えようとして、下から出ている蒸気（ウォーマーの中には熱湯が入っている）が右手指に当たってしまった。	44	140209	11		10～ 29
2017	5	10～ 11	病室にて、頭側に設置していた携帯用酸素ボンベを取り外し片付けるため病室から出ようとした時、ベッドのコードに足が引っ掛かり転倒した。その際に左膝を床に強く打ちつけ受傷した。	36	130101	2		300 ～ 499
2017	5	15～ 16	業務中に床にボールペンを落としてしまい、拾い上げようとした際に手すりですりを強打した。	34	130101	3		1000 ～ 9999
2017	5	13～ 14	第1工場塗装ブースにおいて、塗装部品（シャーパネル）搬入時に所定の場所へ移動させ、シャーパネルの下に塗装台（馬：800mm×800mm×1500mm、20kg）を入れ込み、塗装台を滑らせながら位置を調整していた時に腰を痛めた。	23	11509	19		30～ 49
2017	5	16～ 17	工場内でステンレス板を重ねて置いている引き出し式の材料棚からステンレス板を引き出す際に、通常は両手で取っ手を持って引き出すところ、事故時は取っ手を持たず、左側の角を持って引き出したため、左サイドにあるストッパーに左親指を挟まれ負傷した。	44	11502	7		30～ 49
2017	5	11～ 12	個人宅で汲取り作業中に、バキュームのホースが詰まってしまい、詰まりを解除するための作業を行っていたところ、回転板の隙間に足を巻き込んでしまった。	70	150109	7		1～9
2017	5	9～ 10	作業場でフライヤーの拭き掃除をしていた際、手が滑って油の中に突っ込んでしまい、両手を火傷した。	50	80209	11		100 ～ 299
		19～	調理場でディスプレイを見ながらの作業中、足元の引き出しが開					10～

2017	5	20	いていることに気付かず躓き、鉄板の上に右手を置いてしまい、右手のひら全体を火傷し水ぶくれになった。	20	140201	11	29
2017	5	11～ 12	当園保育室内において、昼食準備のため食器を置いた状態の園児用のテーブル（直径約80cm、重さ約8kg）を食器を落とさないように両手で持ち上げようとしたところ、無理な体勢でテーブルを持ち上げた為、腰に激痛が走り、急性腰痛症になった。	43	130201	19	10～ 29
2017	5	11～ 12	訪問サービス中に掃除機を使用していて、方向を変えるために身体を動かした時にコードに足が引っ掛かり転倒し、掃除機に右大腿部を打ち負傷した。	62	130201	2	10～ 29
2017	5	12～ 13	工場内の冷凍庫で、製品を台車に載せ、後ろ向きで出る時に冷凍庫扉を全開せず半開きの状態にしていた為、扉の内側にある非常脱出装置の鉄の棒と台車の間で左手親指を挟まれ骨折した。	43	10102	7	10～ 29
2017	5	23～ 24	夜間、構内の通常設備点検を実施していた際、スチームトラップ周りで多量の湯気が上がり、トラップ2次側のドレンポットから凝縮水が溢れ出ている事を確認した。ポット周辺には、溢れる凝縮水が大きな溜まりを作っていたため、近くで状況を確認しようと近づいたところ、誤って右足を高温の凝縮水溜りに入れ、右足首くるぶし下に熱傷を負った。	41	10801	11	50～ 99
2017	5	9～ 10	投炭No.1BCヘッド安全柵取付けのためCCR詰所を出て、投炭磁選機の故障が出たため、DCSオペレーター作業員Aは当日該当設備の担当である罹災者に無線で連絡をした。しかし応答が無いので作業員Bを投炭磁選機に向かわせたところ、作業員Bは罹災者が投炭磁選機とベルト駆動チェーンカバーの間に挟まれているのを発見した。罹災者は、安全柵を取付け中に投炭磁選機移動前の警報ブザーに気付かなかつたか、まだ磁選機との距離に余裕があると思いついで罹災したと推測される。	42	11001	7	100 ～ 299
2017	5	15～	押出室から出る際に、椅子に足が引っ掛かり転倒し、左足膝下を	47	11305	2	500 ～

		16	強打した。					999
2017	5	7~8	ブロイラーの鶏舎内で捕鳥作業中、天井からロープで吊り下げたある50cmのファンが腰の高さにあり、カバーも無く危険なので電源を抜いて作業した。その後、電源を入れて前方に回り込む為にファンの横を通ろうとしたところ、ズボンから出ていたTシャツを巻き込まれ左殿部が羽根に当たり負傷した。	38	40309	7		30~ 49
2017	5	11~ 12	職員食堂内にて、他職員が職員食を職員食堂内の冷蔵庫近くでこぼした為、他職員と共に清掃している最中に、もう1人の他職員が冷蔵庫の扉を開けていることに気付かず、立ち上がった際に冷蔵庫の扉にて背中を強打した。	41	130101	3		100 ~ 299
2017	5	13~ 14	工場内にて、被災者がH鋼（15cm×15cm、長さ約4m）を2本溶接機でジョイントする作業中、鋼材を作業台の上で回転させるためにクレーンで吊り上げようと吊り具を装着しようと鋼材を引き寄せた時にH鋼が作業台から落下し、地面に一度落ちてバウンドし、右足甲に跳ね返り右第2、第3中足骨を骨折した。	49	11209	4		1~9
2017	6	22~ 23	当店厨房内にてフライヤーの油の交換作業中、フライヤーに近づいた際、フライヤー台の脚部分に自身の足が当たり、その衝撃で油が跳ね両足にかかり、甲部分を火傷したものである。	19	140201	11		30~ 49
2017	6	7~8	高さのある180?の容器から、ごみを収集するため、台に上がり容器内に手を伸ばした際、台から足を踏み外してしまい、容器の縁に体がぶらさがる状態となり、肋骨付近を圧迫した。	26	150102	3		100 ~ 299
2017	6	15~ 16	店舗内の高い位置にある元栓を開けようとイスに乗ったところ、その際にバランスを崩してレンジフードに手をついて、中指を切ってしまった。	33	140201	8		30~ 49
2017	6	11~	休転作業で使用のリース品返却及び工場内片付け作業中に、工事で発生した古ベルトが工場内に放置されているため、2名にて古ベルトをシャーリングで切断しようとしていた。シャーリングに古	22	30309	5		50~

		12	ベルトを押し込んでいる際、鉄板送り用のローラー付テーブル（幅1150×奥行200×高さ850、重量約70kg）が、ベルトと接触し倒れ、作業員2名の右足甲が挟まれた。					99
2017	6	11～ 12	コンテナ修繕庫内で、本人は修繕コンテナの左下ヒンジ曲がりの修繕をするために、治具をヒンジに挿入し、修繕を開始した。治具を挿入し、開戸合わせ目の部分を何度か押した瞬間、治具が割れて抜け、その反動でバランスを崩して、右膝をフォーク車止め に強打し受傷した。	20	50101	3	～ 299	100
2017	6	16～ 17	圃場でもみがら詰め作業をしていた際、使用していたバネコン（重量約25kg、もみを電動で搬送するホース）を他の場所に移動しようとしたところ、誤って左手に落としてしまった。左手首・指2本骨折、じん帯損傷と診断された。	35	60101	6	1～9	
2017	6	9～ 10	梱包作業エリアにおいて、保管棚からダンボールを取る際、棚板1段目に上り、中断の棚板を掴んで高い位置のダンボールを取ろうとしたところ、掴んでいた棚板が持ち上がり、バランスを崩したため、足元の棚板から降りた時、右膝を捻り骨折した。	33	11301	19	～ 999	500
2017	6	15～ 16	研修先の施設内で、折りたたみテーブルを折りたたんだ状態で移動させる際、テーブルが倒れて、左足先を強打した。	38	130101	6	～ 299	100
2017	6	17～ 18	食堂で入所利用者の食事介助をしていたところ、近くにいた利用者の介助もしようと立ち上がろうとした際、本人が座っていた椅子の脚に足が引っかかり、体勢を立て直すことが出来ず、膝から転倒してしまった。	65	130201	2	50～ 99	
2017	6	12～ 13	保育中に、サークル（子供が入らない為の壁、高さ70cm）を跨ごうとした際にバランスを崩して転倒し、左膝靭帯を負傷した。	28	130201	2	10～ 29	
2017	6	13～ 14	取材の際、山頂でドローンでの撮影を開始した。着地させる為の水平で広い場所が無い為、空中で素手による回収を試みたが、気流が不安定でドローンがブレたため、プロペラが指に接触し、	37	100101	8	10～ 29	

			両手中指の数箇所を切傷した。				
2017	6	16～ 17	当社施設内で入浴介助中、タオルを保管している棚から滑り止めマットを取ろうとしたところ、マットに引きずられ、棚板（木製：42cm×115cm×2cm、2.5kg）と一緒に左足先に落下して負傷したものである。	32	130201	4	100 ～ 299
2017	6	12～ 13	荷受場で、高さ150cmの廃棄物回収コンテナに登り、廃棄什器をコンテナ内に入れる作業を行った際、什器（縦50cm×横120cm×高さ20cm、重さ10kg）を縛っていたテープが切れ、自分に当たりそうになり、よけて落下し右足踵を骨折した。	31	80201	1	300 ～ 499
2017	6	17～ 18	スロット自動補給機動作不良によるメンテナンスを実施中、右親指を補給機の中に挟み込み、負傷したものである。	29	140309	7	10～ 29
2017	6	12～ 13	客室清掃中に、しゃがみ込んで冷蔵庫内の確認をした際、お尻を後方のローテーブルにぶつけ、はずみで目の前の家具に左額を強打し、打撲と診断された。	59	150101	3	50～ 99
2017	6	18～ 19	工場内でプリント基板の外層加工作業中、カーテンコーター（装置）の半年毎の部品交換を行っていたところ、交換部品のローラー（約5kg）を前かがみに持ち上げた際、腰がギクリとした。当初は大した痛みではなかったが、2、3日後には立っているのも辛いくらいに痛くなった。	43	11409	19	100 ～ 299
2017	6	10～ 11	ギャレー内において、急いでドリンク提供対応をしており、扉を閉める際にギャレー台のバーの間に右手親指を挟んだ状態で、ギャレー台に装着されている扉を勢いよく閉めたため、親指に1cm程度の裂傷を負った。その後も出血が止まらず、強い痛みが続いた。	23	40103	7	1000 ～ 9999
2017	6	4～5	工場内、産廃Dの前で、ガラを1.5立方メートルの鉄箱に入れようとした時、左手中指をガラと鉄箱の枠の間に挟んでしまった。	39	40301	7	10～ 29
		10～	客室清掃後のチェック作業中に、洗面台のチェックをしようとし				30～

2017	6	11	た時に、テレビ台のコーナーに右足小指をぶつけ、痛みが引かず腫れてきた。	38	140101	3	49
2017	6	17~ 18	一般浴室にて、入浴介助後の片付け中、入浴物品の置いてある折り畳み式のテーブルを片付けるため持ち上げた際、誤って自分の足元に落としてしまった。	59	130201	4	30~ 49
2017	6	9~ 10	出汁釜の火を点けようとしたところ、ガスが漏れていた為、勢いよく火がボンと点いたので、右手甲・中指・人差し指を火傷した。	22	140201	11	30~ 49
2017	6	21~ 22	段差のある作業場で、場所を変えようと下段にあった配線ラックの上におりた際、ラックが傾いてずり落ち、鉄板の角に足の脛をぶつけた。その後、打撲痕の内部から足脛が膿んだ。(疾病)	63	11301	3	1000 ~ 9999
2017	6	13~ 14	当社塗装工場にて、入社後より毎日集中的に塗装作業ばかりを繰り返して行っていた為、右手指・左肘等に痛みが出たものである。	42	11701	19	1~9
2017	6	16~ 17	倉庫内仕分けライン内にてピッキング作業中、最上段の製品を手前に引き寄せる為、ラックに足をかけ製品を手にしたところ、身体のバランスを崩し、転倒して尻もちをついた際、左手から着地した。転倒時、左手首にかなりの痛みを感じたが、湿布を貼り、作業を継続した。帰宅後も痛みが引かなかったため、翌日、病院へ行き診察を受けたところ、骨折と診断された。	67	50101	1	100 ~ 299
2017	6	7~8	清掃業務の掃除機をかける準備中、掃除機のコードが足に引っ掛かり、両手を床に着いて転倒した。その際、左足の靴が脱げ、左足第一指が内側に反った状態で床に打ち、左膝、左手首、右肩も打ちながら転倒した。	60	130201	2	50~ 99
2017	6	16~ 17	ベルトコンベア清掃の為、作業台の上で作業をしていたところ、バランスを崩して作業台から落下し、左腕を負傷した。	57	10109	1	50~ 99
2017	6	9~	工場3階、糞生地乾燥機の生地出口付近にて、乾燥機脇の通路を通行中、足元をよく確認しておらず、天井からの結露水落下対策用	39	10104	1	300 ~

		10	のビニールシートの上に乗ってしまい、落下した。落下した際に、左腕を負傷した。						499
2017	6	6～7	焼き戻し作業中、製品の冷却に使用する水を水槽に溜める作業をする際、水を出すバルブ切替中に足を踏み外して、左膝を打ってしまった。通路が狭く、水槽の縁の上に乗って作業していた。	40	11509	1			50～ 99
2017	6	12～ 13	製造作業中にコロコンを跨ごうとしたが失敗し、コロコンのローラーの間に左足を挟み、ローラーの圧迫により挫傷した。	30	170101	3			100 ～ 299
2017	6	11～ 12	降ろし作業中に耳加工行きのコロコンが詰まったため、素材をパレットに積みに行こうとした。積み下ろしまでの通路はあったが、ショートカットをしようと、コロコンを跨ごうとした際に、左足がコロコンのローラーの間に入り、圧迫により挫傷した。	30	11109	3			100 ～ 299
2017	6	11～ 12	倉庫にて、キャラバンから電動カートを降ろし倉庫へしまう作業を行っていた。スロープを敷いて倉庫へカートを入れようとしたが、倉庫入り口の開口部が狭く（約90cm）、左足を倉庫入り口の柱とカートの間に挟んでしまい負傷した。	73	80409	7			1～9
2017	6	14～ 15	被災者は、工場作業場にて、油圧シリンダーに取り付けられているバルブを取り外すため、バルブ取付のネジ継手部を緩め、シリンダー内の残圧を抜きながら作業をしていたが、完全に抜け切っていなかったため、残圧によりバルブが跳ね、被災者の右前腕部に当たり負傷した。	51	11301	6			50～ 99
2017	6	8～9	工場内で、ラックに積んだ原卵を通常どおり移動中、本人の不注意により、鶏卵パック詰め機械に左肘が接触した為、ラックに引っぱられて左手首が捻じれ、左手を骨折した。	70	80109	3			10～ 29
2017	6	5～6	工場内で、NC旋盤による加工中に、エアコンダクトの向きを変えようとして、設備の上に上がった。ダクトの向きを変えて設備から下りようとした際に足を滑らせ転落し、左手で支えようと設備の一部を掴んだが、手が滑り、左手人差し指及び中指を切傷し	52	11502	1			100 ～ 299

			た。また、そのまま転倒した為、右肩・右臀部を挫傷した。				
2017	6	19～ 20	当社派遣先である本社工場内、組立部第1組立課シートカバー製造の現場で、部品を載せて運ぶ台車の取っ手（脱着式ハンドル）を台車の下方から取って上方に取り付けようとした際に、左側は差し込んだが右側もきちんとはまったかを確認せず手を離れたところ、右側ははまっておらず、ハンドルが落下して右足に直撃し打撲した。	23	170101	4	100 ～ 299
2017	6	16～ 17	店舗に設置してある換気扇のフードを清掃していた際、ステンレスフードの端で右手中指第一関節外側をこすった時に切創した。	44	140201	8	1～9
2017	6	14～ 15	当社工場内で、原料フレコン（ポリフィルムの原料が入っている重量1t）の底に取り付けられている紐を引っ張りながら袋の底をゆるめ、原料フレコンを揺すりながら原料をタンク内に落とし入れる作業中、梯子をはめ込むために少し出ているタンク縁に胸をぶつけてしまった。胸に痛みはあったがそのまま作業を続けた。その後も出社はしていたが、胸に鈍痛があり力が入らないので、軽作業をしていた。痛みが続き力作業ができないので、診察を受けたところ、肋骨が折れていた。	67	10805	3	10～ 29
2017	6	14～ 15	当社工場内、業務用充填機作業所において、メープルシロップ充填後の熱湯洗浄作業を終えた時、ストレーナー内の熱湯を出すため取り外したところ、熱湯受けのバケツを使用して取り外すところ、うっかりして使用せず取り外してしまったため、ストレーナー内に残っていた熱湯が左足の作業靴にかかり、小指と薬指に火傷を負ってしまった。	46	10109	11	30～ 49
2017	6	14～ 15	解凍場でお湯張り作業をする際、作業手順通り（水を通してから蒸気を出す）行ったはずだが、最初に蒸気だけが出てきたため、ホースが暴れ、ホース横にいた2名に生蒸気がかかってしまい火傷してしまった。この日2回目のお湯張り作業だったので、1回目のお湯張り作業終了時に、しっかり蒸気バルブが閉まっていなかつ	19	10102	11	30～ 49

			た可能性が有り、微量だが給水管に蒸気が溜まっていたので、水より先に蒸気が出てしまった事が考えられる。				
2017	6	19～ 20	支店内で、レイアウト変更時に椅子を持ち上げたところ、金属の脚が抜け落ち、左足の甲に落下した。	25	90201	4	50～ 99
2017	6	10～ 11	派遣先にて、鋳物製品の研磨作業に従事中、自動研磨機から取り出した製品（直径20cm弱、約4kg）を、機械横に設置した仮置き台（高さ130cm）に3段ほど積んで置いていた時、被災者の腕が接触して製品がバランスを崩し落下した。落下した製品が、被災者の右小趾に当たり受傷したものである。	32	11002	4	50～ 99
2017	6	10～ 11	仕事場で鋳物製品の研磨作業に従事中、自動研磨機から取り出した製品（約4kg位）を機械横に設置した仮置台（高さ130cm）に3段ほど積んで置いていた時、被災者の腕が接触してバランスを崩し、落下した。その製品が右小趾に当たり、受傷した。	32	170101	4	100 ～ 299
2017	6	6～7	業務中、テーブルを移動させた時にテーブルの脚に足が掛かり、転倒して大腿骨を強打してしまった。	67	10109	2	30～ 49
2017	6	12～ 13	店長室でレジ銭を両替し、立ち上がる際に金庫に手を置いて扉を閉めてしまい、親指を挟んで骨折と傷を負った。	52	80209	7	50～ 99
2017	6	11～ 12	溝を掃除しようとグレーチングを持ち上げて手前に引いた際、右手中指がグレーチングと床の間に挟まり受傷した。	33	170101	7	100 ～ 299
2017	6	14～ 15	B3F機械室内にて、空調機（電気室系統）の点検で、同伴者とともに電源およびブレーカーOFFを確認の上、Vベルトを左手で送りながら継ぎ目の確認作業を実施した際、空調機モーターが惰性運転で完全停止しておらず、ベルトを送っていた指がプーリー（ベルト送り）に挟まれ、左手人差し指の先を切断した。	53	150101	7	10～ 29
2017	6	16～ 17	店舗厨房にて、ゴミ捨て作業中に、ごみ受けの端がめくれていたため、ごみ受けの端で左手人差し指を切ってしまった。	29	140201	8	50～ 99

2017	6	13~ 14	9Fキッチンでお茶の準備をしていた。ポットの水を足そうと軽量カップを探すもカップがなかった為、直接キッチンの蛇口から水を入れようと思い、ポット本体を両手で持ち上げた。その時、キッチンカウンター前をご入居者が不安定な状態で歩行されていた為、お名前を呼び気を取られた瞬間に、手を滑らせてポットを床に落としてしまった。その際、右足首から甲にかけ熱湯がかかり火傷した。	57	130201	11	30~ 49
2017	6	13~ 14	施設の脱衣室で入浴準備中、リフト浴用椅子を所定の位置に動かそうと通常より上部を持ったところ倒れて来た。慌てて支えようとしたが、背もたれから後方へ倒れた際、右手を挟み、中指関節周辺が痛みを伴い、赤くなっていた。出血はなく手も動かせたので、すぐ入浴介助にあたった。その後、痛みはあったものの、仕事も遅れており、手も動かせたので、遅出出勤の仕事の続けた。終了時に腫れが酷くなった。	60	170101	7	100 ~ 299
2017	6	15~ 16	工場内において、パレット製造過程における釘打ち作業中に、誤って鉄砲釘打機のアアホースに足をとられ、その際に釘打機から釘が発射し、右足を受傷した。	24	10401	8	30~ 49
2017	6	9~ 10	清掃員が病院東病棟の床をモップで清掃中、汚れが落ちないため力を入れて床を拭いていたところ、背中にズキッとした痛みが出た。痛みが引かず、MRI検査を受けた結果、腰椎圧迫骨折と診断された。	72	150101	19	100 ~ 299
2017	6	15~ 16	研修中に跳び箱の実習があり、横向きの跳び箱（3段）を飛び越える際に、跳び箱に着いた手が滑って左奥側へ転倒した。その時に左肘の関節を捻挫し、左腕全体の筋を痛めた。	27	130201	19	10~ 29
2017	6	7~8	部屋床面に掃除機を掛けようと、掃除機のプラグをコンセントに差し込もうとしたところ、掃除機のコードが足に引っ掛かりそうになった。コードを避け、左足側面（外側）から着地し踏ん張った際、足首を捻った形となった。	70	150101	3	300 ~ 499

2017	6	12～ 13	食器の洗浄中、洗浄機から乾燥機に移動中、近くのステンレスのシンクの角に肘を思いきりぶつけ、骨折した。	51	10109	3	1～9
2017	6	7～8	特別養護老人ホーム内の洗たく室にて、業務用衣類乾燥機へ衣類を入れた後、取り出し口を閉めた際（少し強く閉めてしまった）、乾燥機下部にあるフィルター清掃用扉（鉄製）が落下し、左足親指に受傷した。	55	130201	7	30～ 49
2017	6	19～ 20	1F仕分け作業場において、集約発送作業中に、仕分け吊り紙をシューターに取りに行くため、歩く距離を短縮しようと、停止中の仕分けコンベアーの上を歩いた際に、伝票読み取り機に額右側をぶつけた。	19	40301	3	100 ～ 299
2017	6	5～6	当該事務所において、軟飯を調理している際に、スチームコンベクションオーブンの扉を左手で開けたところ、200℃以上もあるスチームが右腕に当たり火傷を負った。	28	80209	11	1～9
2017	6	22～ 23	業務員（大型配車担当）のセンターホーム場において、運行出発間際の車両へ雑貨の載った台車を駆け足で牽引していた際、左足を台車に巻き込まれ転倒した。転倒の際に上手く受け身が取れず、右脇腹を強打したものである。	60	40301	2	50～ 99
2017	6	11～ 12	事業所の場内で、2人組でクラッシャーのスイングジョーの下部を解体中、機械の一部をガスで切断していたところ、切断した部分（円柱状、重さ1t強、長さ2m位）が落下した。円柱状であったため、地面を転がり、左足に当たった。その時、反対側にその前に切断していた機械の一部を置いていたため、挟まれて負傷した。	40	11301	6	1～9
2017	6	13～ 14	現場1階の溝を掃除中、外していた為木のグレーチング（溝蓋：大ききさ45cm×46cm×5cm、重さ約10kg）の側面を両手で持ち、元に戻そうと上から両手を離したところ、左手を離すのが遅れたため、中指・薬指を挟み負傷した。	67	150101	7	500 ～ 999
			熱源室にて、冷却水ポンプのストレーナーを清掃中に、ストレーナーの蓋（蓋の上部が蝶番方式で蓋を持ち上げてスクリーン脱着				

2017	6	14～ 15	する)を閉める際に手を滑らせ、蓋が勢いよく閉まってしまった。その際、右手指先をストレーナーと蓋との間に挟まれて、指を負傷した。	21	150101	7	10～ 29
2017	6	14～ 15	木造納屋の解体工事中に、屋根から降ろした太陽熱温水器の中の水を抜こうとして、ドレインを開けたところ、熱湯が出て、右足の甲にかかり火傷をした。	24	30209	11	1～9
2017	6	14～ 15	店舗バックヤードにある冷凍庫内で、棚(高さ180cm、幅90cm、奥行60cm)の一番上に置いてある冷凍炒飯の箱(重さ約1kg)を取る際に、脚立代わりに酒の一升瓶用ケースを使用したところ、バランスを崩して前のめりになり転倒した。その時、上から2段目の棚板に胸部を強打した。当日は痛みを我慢出来たが、翌日に痛みが増し、肋骨の軟骨を損傷していることが分かった。普段から脚立を使用しているが、今回は一升瓶ケースを代用してしまった。上のものを取る際には脚立使用を徹底し、安全面に十分注意するよう従業員へ周知する。	33	80201	1	50～ 99
2017	6	16～ 17	安全帯をつけ、サイロの中のセメントの残量を確認するためタラップに登っている時、安全帯のフックを引っ掛けようとしたところ、雨が強くて手が滑り、バランスを崩して転落し負傷した。	34	30201	1	100 ～ 299
2017	6	20～ 21	店舗にて勤務中、閉店業務として店内用のポットの残ったお湯を捨てようと蓋を開け、流し台へ傾けてお湯を捨てていたところ、熱湯が右手にかかり、右手熱傷との診断を受けた。(約3週間から4週間の加療を要する見込み)	49	80209	11	1～9
2017	6	10～ 11	事業所5Fホールにて、利用者様用の白湯を作っている時、お湯の入っている透明の容器が倒れて両下腿にかかった。	34	130201	11	100 ～ 299
2017	6	17～ 18	上げ法要を終え、和室の控室を掃除機掛けしていた際、掃除機のコードが足に絡まり転倒し被災した。	58	170209	2	30～ 49

2017	6	22~ 23	構内側喫煙室のエアコンフィルターを取り付ける際、テーブルに乗ったところ、テーブルが倒れ床に落ち、左足首を捻挫した。	21	140201	1	1~9
2017	6	17~ 18	院内の処置室で、高さ2.5mの天井にあるエアコンの風向き調整のため、高さ81cmの流し兼収納棚の上に乗ったが足場が悪く、上を向いての作業であったためバランスを崩し、床に飛び降りた。その時に左足踵に激痛がはしり歩けなくなった。骨折であった。	63	130102	3	1~9
2017	7	10~11	粉系ICIP室でマグネットフィルター点検時、マグネットフィルターの蓋を外す際、ラインより勢いよく水が噴出し、次いで熱水が噴出した。熱水から逃げるために振り向いた際に両足脛脛に熱水がかかり火傷を負った。	24	10101	11	50~ 99
2017	7	18~19	老人ホームの利用者の居室から退室する際、ベッドに敷いてあるエアーマットの配線（輪になっていた）に左足が入ってしまい躓いて右足の膝を床に強打した。しばらくしてから段々腫れと痛みが出てきた。	61	130201	19	50~ 99
2017	7	15~16	学校給食センター調理場内の消毒保管庫上部の清掃作業中、蒸気配管部分に誤って右前腕内側を接触させてしまった。	49	10109	11	10~ 29
2017	7	14~15	弊社、第2倉庫内で、フォークリフトで2段（1m60cm）の重量棚の上へ登り、保管していた未使用の段ボール函を運び出す作業を行っていた時、後ろ向きで荷を引っ張ってリフトに戻ろうとした時に、足を踏み外し、棚上から転落、地面のコンクリートに後頭部を強打した。	42	80109	1	30~ 49
2017	7	10~11	牛乳冷蔵庫内の牛乳大型ラインで製品積み付け作業をしているとき、上部の冷凍機から氷の塊が落下し、従業員の頭部に当たる。製品にも落下し破損した。前日の前室オーバースライダー交換修理時、外気が入り温度上昇が原因と見解。MRIとレントゲンを受診、頭部打撲と頸椎捻挫の診断結果。	55	40301	4	100 ~ 299
2017	7	10~11	ベットメイク中、テーブルの脚に引っ掛かり、転倒し、足を動か	61	150101	2	100 ~

			せられなくなった。					299
2017	7	23~24	事業所の駅前店洗い場通路にて洗浄し終わったビールジョッキを冷蔵庫に片付ける際、ビールジョッキを両手に10個持った状態で転倒してしまい、割れた破片で右手首などを負傷したものである。	21	140201	2		30~ 49
2017	7	22~23	倉庫内でバットを取りに派遣先の方と一緒に歩いて移動中、その方が出口のシャッターを持ち上げて開けたところ、そのはずみでシャッターが戻り被災者の頭に当たり気を失い救急車で搬送された。脳神経外科では脳への異常は見られなかったが、翌日になっても首と左手に痺れが治らなかったため他の病院で中心性脊髄損傷と言われる。被災者は、勤務中、帽子をかぶっていたがこの様な災害が発生してしまった。	57	170101	6		100 ~ 299
2017	7	22~23	倉庫内でバットを取りに派遣先の方と一緒に歩いて移動中、その方が出口のシャッターを持ち上げて開けたところ、そのはずみでシャッターが戻り被災者の頭に当たり気を失い救急車で搬送された。脳神経外科では脳への異常は見られなかったが、翌日になっても首と左手に痺れが治らなかったため他の病院で中心性脊髄損傷と言われる。被災者は、勤務中、帽子をかぶっていたがこの様な災害が発生してしまった。	57	50101	6		100 ~ 299
2017	7	12~13	1階診察室入口のドア上部をイスに乗り清掃中、イスから落ち転倒したその際に、ドア部分に手をぶつけ床に強く手をついた。	59	130101	1		100 ~ 299
2017	7	8~9	本館2階通路において天囲換気窓を閉めるため、ハンドル操作を行っていたところ、窓の閉まりが悪く、ハンドルを強く回したところ突然ワイヤーが切れ、勢い余り操作パネル蓋の縁に左手の甲を強打し、その際に左手中指の腱を断裂したものである。	69	140101	3		100 ~ 299
			事務所内にて、両手に荷物を持った状態で自分の席へ行こうと他					

2017	7	8~9	職員の机の後ろを通った際に、少し急いでいたこともあり机のところにあった他職員のキャスター付き椅子の脚に右足がつかずいてしまい、床に転倒して負傷した。	53	170209	2	1~9
2017	7	21~22	店舗内客席テーブルにおいてお好み焼きを焼いている際に、テーブルが動いた拍子に体勢を崩し、とっさに右手を鉄板の上についてしまい受傷したものである。	20	140201	11	30~ 49
2017	7	17~18	第三包装室で製品を金属探知機へ流している作業中に、金属探知機のベルトと台座の隙間に右手をベルトに巻き込まれ挟まれてしまった。	24	10104	7	50~ 99
2017	7	15~16	右側のフライヤーの前で手元が滑って、油の中に入ってしまった。	36	140209	11	1~9
2017	7	10~11	屋外の洗剤送液用配管の自動洗浄が終了し、ストレーナーの手洗浄のためクランプを緩めストレーナーを取り出そうとしたところ、手動バルブ操作による配管内の残熱水の排液作業をしなかったため、熱水が噴出し、避けた際に背中から臀部に浴び火傷を負った。	20	10106	12	300 ~ 499
2017	7	7~8	業務開始前に作業場の扇風機を作動させようと、構内の壁にあるコンセントに延長コードのプラグを差し込み、次に本体の差込口に扇風機のプラグを差し込んだところ、延長コード本体付近のコードから火花が発生し、延長コードを持っていた右手指を火傷した。	65	40301	11	100 ~ 299
2017	7	16~17	当該事業所において夕食の調理時に、スチームコンベクションを使用。100℃以上の高温設定をしていたが、右手で扉を開けて左手で上においてあるミトンを取ろうとした瞬間に、左腕の肘から手首にかけて蒸気をあびてしまい、火傷をしてしまった。	50	80209	11	1~9
2017	7	22~23	派遣先事業所内の冷凍庫内にて野菜などを冷やす蓄冷材のパックを台車に載せて移動中に、地面が凍結していたため誤って左足を滑らせ、左の肩から胸にかけて転倒した際に左側の鎖骨を骨折し	27	170101	2	1000 ~

			てしまった。				9999
2017	7	21~22	工場カートンラインで計量機の洗浄中に計量機部品の入ったラックを流し台まで引っぱろうとした時に、腰のあたりに痛みを感じ歩行するのがつらい状態になった。	59	10104	19	300 ~ 499
2017	7	11~12	布処理工場にて布処理工程を監視中に、乾燥機から出てくる処理布冷却用鉄ロールを冷やすための冷却水の通っているホースが突然外れ、高温（70℃～80℃）の湯が噴出し、左顔面及び左眼に浴び負傷。直後にアイシング等応急処置をし、当日は終日作業をしたが、翌日左瞼が腫れたため、念のため、受診を班長が指示した。	44	170101	11	50~ 99
2017	7	18~19	季節商品売場で展示撤去作業に従事。5段の踏み台に乗り、壁面に展示されていたイブサを他の場所へ移動させる際、片足を在庫棚に乗せてしまい、そのまま棚板が落下、本人も体勢を崩してしまい、右腕を壁面に付いている金属製の角バー什器にぶつけてしまった。	25	80209	3	30~ 49
2017	7	14~15	工業団地配水管布設工事（その1）において水道工事中、給水ホースを持っていた時に、水圧が強くなりホースを持ったまま1m近く飛ばされてしまい、止めてあったダンプの角で強打した。	74	30109	6	1~9
2017	7	11~12	電磁鋼板コイル梱包用の包装紙をテーブルに広げてカッターでカットしていた際、右手側の鉄の2段棚の柱に右手をぶつけ、棚の中の包装紙の筒の穴に誤って右手小指が入り受傷。大事でないと思い様子を見たが、翌日指が腫れていた。	42	170101	3	500 ~ 999
2017	7	12~13	当該事業場内にて、ダルトンのミキサーに入る澱粉トランジ先のホース（ミキサー上部）が外れていたため補修作業を行った後、降りるのを手伝おうとした補助者の手を置き場とし足を置こうとした際、バランスを崩し、転倒したため負傷したものである。	30	10609	1	30~ 49
			事業所の倉庫内において、エンジンチェンソーの清掃で使用した				

2017	7	11~12	エアダスターを片付けるためホースを巻き取っているとき、ホースに添えていた手を離してしまったことにより、ホース先端のノズルが左目に当たってしまった。その後すぐに左顔面が腫れ上がり、左目より出血した。	69	160101	6	10~ 29
2017	7	10~11	被災者は本社倉庫にて商品の荷受け作業をしていた所、ぶら下げ形のトロリーがレーンにしっかりとかかっておらず落下させてしまい、顔面にぶつけてしまった。右目下あたりを打ち、症状がひどくなくなったためにそのまま作業を続けていたが、後日腫れがひどくなった。	39	80401	4	30~ 49
2017	7	15~16	ダンプのバンパーに両足を乗せて荷台のセメントを引っ張り下ろそうとしたときに、左足から地面に降りたが、地面のアスファルトまでの距離が思ったよりもあり、つま先立ちになってしまい、左足に体重がかかり、足を痛めてしまった。	43	130201	11	50~ 99
2017	7	17~18	工場内で作業中、成型ローラー機で作業をしていて誤って作業用手袋ごと引っ張られ、両手の人差し指、中指、薬指の先5~10mm程度の皮膚裂傷。	50	170209	7	500 ~ 999
2017	7	8~9	派遣先事業場にて、入荷業務として商品の棚入れ業務を行っているときに空になった鉄製の台車（180cm×50cm×180cm）を入れ替える際に強く引っ張り誤って台車の最下部分が右足くるぶし外側付近に当たり、打撲した。	44	40103	6	1000 ~ 9999
2017	7	23~24	配達のため、上り坂途中にバイクを停車させようとまたがったまま車体を左側に傾けたところ、積載している郵便物の重量により転倒しそうになり、左足で踏ん張った際に左足を負傷した。	22	140201	8	30~ 49
2017	7	15~16	当日、新聞の営業で営業先に行く時、道路から玄関先までの間歩いている時、段差に足が躓き転倒し、左肋骨骨折・左手第5中手骨脱臼骨折した。	61	80209	2	50~ 99
			当事業所店舗に於いて、調理場裏の業務用製氷機のストッカーのスライド扉を開き、取出口から氷を取り出そうとしたが、夜のう				

2017	7	8~9	ちにストッカーに氷が貯まり、氷が詰まった状態で氷が取り出し難くなっていたため、右手にしゃもじを持ち腕に力を入れしゃもじで下の方から詰まった状態を解していた時、誤って取り出し口上部の縁に腕を強打し負傷した。	26	140201	3	50~ 99
2017	7	13~14	コピー機の手差し部分のふたにつまづき転倒した。	64	90103	2	500 ~ 999
2017	7	11~12	古紙のダンボールを大型のシュレッダーで裁断する作業を行っていた。パレットに積まれているダンボールを手作業でシュレッダーに投入する際PPバンドを切り崩れてきたダンボールを避けた時にシュレッダーのテーブルに左大腿があたり打撲した。翌日になっても痛みが引かなかった。左大腿筋挫傷と診断される。	43	170101	3	500 ~ 999
2017	7	10~11	業務中、店頭で開店準備をしている際、移動していた什器の不具合で引き出し部分が右足親指に落下し、負傷した。	28	80209	4	100 ~ 299
2017	7	10~11	オペラ劇場にて照明のシュートという作業の準備をしているときに、パネルがひっかかり倒れその前にあったスピーカーも倒れて被災者が下じきになり足を骨折。	56	100109	5	10~ 29
2017	7	8~9	あなごを取りに冷蔵庫へ行き、冷蔵庫から出ようとした際、足を滑らせ尻もちをついて転倒。尾てい骨を骨折、左足首の靭帯を損傷した。	55	80209	2	50~ 99
2017	7	11~12	店内カウンターエリア内で、アイスコーヒーの抽出作業中、コーヒー豆を入れるホッパーの設置が完全でなく、お湯の溜まったホッパーが落下しそうになり、咄嗟に左手で5秒ほど支えた際に受傷した。	17	140201	11	50~ 99
2017	7	11~12	小学校の厨房内でスチームコンベクションの操作方法を勉強している際に室内が高温だったこともあり意識が飛び倒れ込んでし	22	140201	11	10~ 29

			まった。その際立って聞いていたので左足を捻ってしまった。				
2017	7	8~9	ご利用者宅内にて、15kg前後重さの浴槽を二人がかりにて搬入時、腰に痛みが走る。そのまま、バイタルチェック・更衣介助・入用介助等を行うが、訪問終了時には腰が曲げられなくなる程痛みが増す。そのまま次の訪問先へ向かうが痛みのため動けなくなる。	43	130201	19	10~ 29
2017	7	16~17	スーパーマーケットの衣料品売場作業中（マネキン着衣着せ替え）にマネキンの台座が抜け落ち、避けたが左足親指に台座（約4キロ）を落とし負傷した。	50	80209	4	100 ~ 299
2017	7	11~12	屋外で野積みしてある工業塩エリアにて老朽化した側壁の交換作業が予定されているため、ホースを使用し側壁にへばりついている塩の塊（2m×2m）が崩れ落ち右足に当たり被災した。	44	170101	4	30~ 49
2017	7	11~12	屋外で野積みしてある工業塩エリアにて老朽化した側壁の交換作業が予定されているためホースを使用し側壁にへばりついている塩の塊を溶かす作業をしていた。その際水で溶かした塩の塊（2m×2m）が崩れ落ち右足に当たり被災した。	44	170209	4	30~ 49
2017	7	11~12	地下1階インテリアレジにて、商品のデスク（約10kg前後）を梱包していたとき、デスクを横にしようとして、落としてしまう。その際、左足に落下し、親指を骨折する。あまり痛みがなかったため、最後まで勤務したが、だんだん親指が黒くなり痛みがでてきた。	38	80201	4	100 ~ 299
2017	7	8~9	惣菜作業場にて食材をコンベクションオーブンで蒸していたところ、いきおいよくホテルパン（鉄の皿）をひきだしたため、中の水分がはね、腕にかかった。そこの部分が火傷した。	33	80209	11	100 ~ 299
2017	7	15~16	サンダーを使用して研磨業務をしており作業を終えた半導体を作業者の後ろにある台車へ移動の際、作業台の下から伸びているサンダーのコードに足をひっかけ転倒した。半導体を両手で持っており、転倒時に地面と半導体に左手中指が挟まれる形となり左手	25	80209	2	10~ 29

			中指の付け根から第二関節あたりまで4針を縫う怪我。				
2017	7	12~13	当社店内の惣菜作業場で、スチームコンベクションを100℃に温めてシューマイを蒸そうとしていた時、スチームコンベクション（業務用加熱調理機器）のドアを開けた際に顔を近づけすぎたため、蒸気を浴びて顔を負傷したものの。	36	80209	11	100 ~ 299
2017	7	9~10	被災者は屋上パラペット部の鉄筋組立作業において、材料を受け取るため、勾配屋根スラブ上を移動中、頭上の安全带取付設備（単管）に頭部をぶつけ、負傷した。	42	30201	3	10~ 29
2017	7	18~19	既設水槽の外筒壁廻り解体作業中。外筒同士を接続するボルトをはずしたため、外筒側壁を溶断中に側壁が被災者側に倒れ挟まれた。	37	30302	5	10~ 29
2017	7	10~11	構内において、アルミホイル減容（アルミホイルを破碎する）作業中、ベルトコンベアーで、ホッパー内にアルミホイルが投入される際（通常は自動投入）、ベルトコンベアー先端部でアルミホイルが引っ掛かり、自動投入されなかったため、アルミホイルの引っ掛かりを直ちに減容機上に梯子で登ったところ、アルミホイル減容機上に油が垂れていたため、油により足が滑りバランスを崩して転落し、右足を負傷した。	45	11109	1	10~ 29
2017	7	10~11	構内にて、アルミホイル減容作業中、ベルトコンベアーでホッパー内にアルミホイルが投下される際、通常は自動投下であるが、ベルトコンベアー先端にアルミホイルが引っ掛かったため、直ちに減容機上に昇ったところ、アルミホイル減容機上の油で足が滑り転落し右足を受傷してしまった。	45	170101	1	300 ~ 499
2017	7	10~11	当社倉庫内において山の斜面等用のモルタル吹き付け機のメンテナンスを行う作業中に誤って機械上部のフタが閉まり右手薬指を負傷した。	45	30209	7	10~ 29
			当社工場内で、1個20kg近くあるサーバーを2個同時にパレットか				10~

2017	7	9~10	ら作業台へ移す際に、フックに指を挟んだまま台へ下したところ。右手薬指だけに重量がかかり骨折した。	65	150102	7	29
2017	7	9~10	取引先の工場内で、1個20kg近くあるサーバーを2個同時にパレットから作業台へ移す際に、フックに指を挟んだまま台へ下したところ、右手薬指だけに重量がかかり骨折した。	65	170101	7	10~ 29
2017	7	10~11	客室の清掃中、入口ドアの受け金属部分に指先が引っかかり深く切れた。	40	140101	8	1~9
2017	7	14~15	当院内2FOP室にて眼科手術終了後片づけをしている際に手術台下にコントローラーのコードが入り込んでしまったため、コードを取り出そうと思い手術台を持ち上げようとした際に想像以上に重く腰部からギクッと音がし、その直後痛みと伴に動けなくなってしまった。（手術台イスの状態で、かどを少しだけ持ち上げようとした。）	52	130101	19	100 ~ 299
2017	7	16~17	厨房内で大皿を食洗機に持って行く途中調理台横のパイプ椅子が倒れていてつまずいた。右膝をつき右手をつき後ろにひっくり返った。	63	120109	2	30~ 49
2017	7	11~12	キッチンで朝のモーニングが終わり、新しく湯煎の鍋のお湯をかえる際ふりむいた時に体と体が当たって鍋の熱湯が腕にこぼれた。	48	140201	11	30~ 49
2017	7	11~12	店舗内に入ったところ、既に勤務していた2人が意識不明で倒れており、同僚と一緒に介抱・電話対応等をしていたところ自身も気分が悪くなり、一酸化炭素中毒の症状が出た。	30	140201	12	10~ 29
2017	7	11~12	店舗内で開店準備作業をしている際に一酸化炭素中毒により、意識を失って倒れた。厨房のガスバーナーが不完全燃焼を起こしたと思われる。	40	140201	12	10~ 29
2017	7	11~12	店舗内に入ったところ、既に勤務をしていた2人が意識不明で倒れていることに気づき、介抱・電話対応等をしていたところ、自身	45	140201	12	10~ 29

			も気分が悪くなり一酸化炭素中毒の症状が出た。				
2017	7	11~12	店舗内で開店準備をしている際に一酸化炭素中毒により、意識を失って倒れた。厨房のガスバーナーが不完全燃焼を起こしたと思われる。	57	140201	12	10~ 29
2017	7	8~9	当社の作業現場にて、作業の準備中荷物をトラックの荷台から降ろしている時、釘打機を地面に落とした。落とした釘打機を持ち上げようとした際に、誤ってトリガーを掴んだため、釘が左足の甲（くるぶしあたり）に打ち出され負傷した。	20	30202	8	1~9
2017	7	0~1	ホットタイムにスポットクーラーに当たろうと消灯してあった改善場に入り照明を点灯させ休憩し休憩後にスポットクーラーを止め消灯して改善場から出ようとした時に溶接用定盤の角に左足ひざ下を当て受傷した。その時は、ばんそうこうで処置をし仕事にもどった。後日出社時に足を引きずっていたので確認した所上記の事がわかり、現在通院治療中。	61	170101	3	10~ 29
2017	7	0~1	休憩時間にたばこを吸うために改善場に入り休憩した。休憩が終わり電灯を消して出ようとした時、常設して有る溶接定盤に左足をぶつけ切創した。その時、監督者に報告せず、ばんそうこうで処置をして帰宅。後日出社時に足を引きずっていたので確認した所、上記の事がわかった。自己の処置が悪く悪化して化膿した。	61	11502	3	50~ 99
2017	7	13~14	電気検査工程のオペレータ作業中、検査パネルが自重落下するのを防ごうと、咄嗟に右手で受け止めた際、腰に負担がかかった。MRIにてヘルニアと診断された。	46	11409	19	1000 ~ 9999
2017	7	15~16	作業室内において、利用者の方の創作活動の支援中に、突然利用者が前方より小走りに近づき、押されたために、後ろにあった机で背中を強打し、倒れたところにあった机の脚の部分でも、強打した。	67	10805	1	10~ 29
2017	7	23~24	閉店作業中にスロットメダル貯タンクを持ち上げた際に指を裂傷。	20	140309	7	50~ 99

2017	7	16~17	会社の資材置場で整理整頓をしている時に、足元を踏み外して、シャッターの箱の角で肋骨付近を打った。	25	10409	3	10~ 29
2017	7	15~16	エコウィルの装置撤去中にバランスを崩して尻餅をついた。その際、エコウィル装置が右足指付近に落下。	20	170209	4	—
2017	7	16~17	被災職員は、10号系統復路を運行中、バス停に於いて車いすでご利用のお客様が降車後、乗務用スロープ板を格納する際に、格納蓋が浮いており固定用ボタンを、親指で強く2、3度押したところ、痛みを感じた。	54	40202	19	100 ~ 299
2017	7	11~12	当該被災者はコンテナで輸送されてきた小麦（バラ貨物）を、当社サイロビンへ倉入れ後の空コンテナ内の清掃を行っていた。清掃を終えコンテナから降りようといったん、コンテナの縁に腰をおろし、そこから臀部を滑らせるようにバッカン上（鉄製小麦投入口）へ降りようとしたところ、目測を誤りバッカンとコンテナの間に挟まれるような形となり、バッカンで左膝を強打した。	51	50202	3	10~ 29
2017	7	23~24	出張宿泊先ホテル自室で就寝中に、寝返りをした時に、ベッドから床に転落し、ホテルの備え付け椅子の脚に転落した勢いで右眼を強打し、右眼眼球を保護・構成する軟骨を損傷した。＜補足内容＞朝起きた時には痛み及び腫れが無かったが帰阪途中から痛み・腫れがひどくなった。	49	11402	1	500 ~ 999
2017	7	15~16	4階女子休憩室内の浴室脱衣場で、天井の蛍光灯が切れていたもので、交換しようと、その近くの脱衣棚に上ろうとしたが、足を滑らせてしまい棚から転落し、その際床に左手をつき、その後、手首が痛みとともに腫れてきた。当日は、左手首に湿布を施し様子をみたが、腫れと痛みが取れなかった。骨折していた。	55	150102	1	30~ 49
2017	7	13~14	石油製品を積込する時ローティングアームを片手で引き寄せたため、腕に負担が掛かり右腕を負傷した。	55	40302	19	10~ 29
			2Fトイレ内で用を足した後、トイレ用スリッパを脱ぎ、体を屈め				300

2017	7	10~11	てスリッパを揃えた後、立ち上がる際にバランスを崩し転倒した。その際に手洗いの陶器製のシンクに右目をぶつけ負傷した。	54	10109	3	~ 499
2017	7	19~20	手に持った器に冷めきらない時に器に熱湯を入れたら器の底面が溶けて熱湯が両足にかかった。ナイロン足袋を履いていたものがきつくて脱げず貼りついてしまった。器が冷蔵庫から出して冷たかったものに熱湯が入り弱くなったため。	55	140101	11	30~ 49
2017	7	15~16	第3製造計量ラインにて、製品を、計量、充填中に空袋が機械の間に数枚落ちたため、作業員Aが一旦停止した。災害者が空袋を、取ろうとした時に作業員Aが周囲を確認せず、寸動状態で起動ボタンを押したため、機械が手前に下がりながら回転した。そのため、被災者が機械の下の部分と下がってきたフタに挟まれて、負傷した。	41	10109	7	100 ~ 299
2017	7	11~12	構内で荷物をカーゴテナーに積んで移動中に狭い場所で死角から来た荷物を積んだ（他業者）カーゴテナーと接触しカーゴテナーが半回転して右足アキレス腱が挟まった。接触した他業者の方はわからない。	49	40301	6	30~ 49
2017	7	11~12	店厨房内において、専用グリルによりパティを焼く作業に従事していた。パティを焼いた後、専用器具を用いてグリル表面を掃除していたところ、手が滑り、右手握りこぶしの状態でグリル表面につき、右手中指（手の甲側）を火傷した。	19	140201	11	30~ 49
2017	7	11~12	4階機械室にて（入浴場）入浴介護作業中シャワーチェアの取っ手が右側胸部に当たり疼痛出現した。	51	130201	3	100 ~ 299
2017	7	11~12	当社工場内において、コンクリートブロックの製品を製造作業中、製品が仕上がったので型枠を左右に開いて外そうとした際、外した金具が足の上に倒れてきて、右足の中指つけねが挟まり負傷した。被災者も金具が倒れることを知っていて、足に当たらないよう避けていたつもりができておらず、ちょうど安全靴の足先	34	10901	6	10~ 29

			の硬くないところに金具があたり負傷した。				
2017	7	8~9	厨房内のうどん場から天ぷら場に移動する途中、天ぷら場のシンク前の床が濡れていたため、左足を滑らせた。バランスをとろうとしたが右足も滑り、慌ててシンクにつかまろうとした際、左手をシンクにぶつけて骨折した。	31	140201	3	30~ 49
2017	7	16~17	保育園内で子どもと遊んでいるとき、おもちゃを取りに行こうとサークル（縦横90cm、高さ60cmの子どもを囲うための柵）をまたごうとして、足をひっかけ転倒した。その際、左手をつき、手首を痛めた。	66	130201	2	10~ 29
2017	7	13~14	会社敷地内の休憩場所で椅子に腰掛けて休憩中、自宅から会社にかかってきた電話を受け取ろうと急ぎ立ち上り、右へ出ようとした時、椅子の脚に自分の足をひっかけて右側へ転倒した。	67	130201	2	10~ 29
2017	7	11~12	冷凍倉庫内でピッキング作業を行っているときに、可動式電動ラックを他の作業員が作動させたため、ラックとラックの間に挟まれ臀部を痛めた。	36	170101	7	30~ 49
2017	7	10~11	保育園内2歳児クラスで、午前のおやつの時間が終わりテーブルを拭いていた。そのとき、園児が引いた椅子に右足小指が強く当たり負傷した。	52	130201	6	30~ 49
2017	7	18~19	鋳造用砂除去設備の点検デッキ上で、設備移設工事後の試運転で、Bダクトの開閉切り替え動作の確認をしているとき、自動運転中に安全カバーを外し、設備内に腕が入る状態にしてしまい、設備内に左腕を入れ、吸入口に手をかざし、風の流れを確認中、上昇してきた扉とフードのフレーム間で左腕を挟まれた。	61	11209	7	1000 ~ 9999
2017	7	18~19	鋳造用砂除去設備の点検デッキ上で、設備移設工事後の試運転で、Bダクトの開閉切替動作の確認をしているとき、自動運転中に安全カバーを外し、設備内に腕が入る状態にしてしまい、設備内に左腕を入れ、吸入口に手をかざし、風の流れを確認中、上昇してきた扉とフードのフレーム間で左腕を挟まれた。	61	170101	7	100 ~ 299

2017	7	10~11	配送業務で店内倉庫の冷凍庫に冷凍品を収納作業中、4面冷凍庫の上段の扉が閉まりかけており、冷凍品を持って振り向いて収納しようとした時に、気づかずに勢い良く右腕をぶつけてしまった。	40	140201	3	30~ 49
2017	7	10~11	空調メンテナンス作業時、機械の上から降りようとしたところ（1mくらいの高さ）、作業服（またはズボン）が何かに引っ掛かり、上半身前のめりとなり、右足が体についてこなかった。結果、転倒し、右足2ヶ所を骨折した。	54	170209	1	1~9
2017	7	17~18	駐車場にて店舗ツール掲出作業中、のぼりを設置するコンクリートポールスタンド（サイズH420×W250×D250mm）重量30kgを移動中に腰を痛めた。	32	140201	19	10~ 29
2017	7	13~14	部品庫にある高さ2mのスチール棚の中段約1m上によじ登り、天井から出ているエア配管のサイズを測った。棚から降りる際に左手薬指の指輪が棚の柱の間に引っ掛かって指に体重がかかり、指輪が凶器となり、左手薬指が第二関節より切断された。	38	11409	8	100 ~ 299
2017	7	17~18	お客様の自宅の清掃業を終え、会社に戻り、清掃道具を車から降ろしているときに、床洗浄機を左膝の上で受け止めた。翌日床洗浄機を受け止めていた箇所がうっ血していた。	78	150101	19	10~ 29
2017	7	10~11	クリーニング工場内でシャツをプレスするためにプレス機を扱っているときに、プレス機上部を上下させるスイッチに近くにあったハサミを用い、下がらないようにしていたが、誤ってハサミがはずれ、プレス機に左腕を挟まれ火傷した。	93	11703	11	10~ 29
2017	7	13~14	定番下段のペーパーを補充していた際、什器の下に潜り込んで補充を行っていた。体を起した時に頭をぶつけてしまいそれから視界に死角ができ、左目の半分が暗い状態が続いていた。病院の診断では頭を強打した衝撃で目に影響があったと診断された。	38	80209	3	100 ~ 299
2017	7	10~	事務所内にて、本人使用の事務機の引き出しから2段目を引いて、開けた後閉めてからその前を横切ったが、その際最下段の引き出	64	10109	2	300 ~

		11	しにつまずき転倒した。その際、右手の甲側から床に着いたため右手首を負傷した。					499
2017	7	10～ 11	客室清掃中、クローゼット上部の棚にある予備の布団を取ろうとしたが、手が届かなかったため、丸いゴミ箱を台にして取ろうとした際にバランスを崩し後方に転倒し尻を強打、腰部を痛めたものである。	76	150101	1		500 ～ 999
2017	7	19～ 20	工場内で、帰宅する前の工場の後片付作業中に、以前クレームで交換した運転席用と助手席用エアバッグ各1個合計2個を産業廃棄物として業者に後日引き渡すため、展開処理を行うこととなった。処理の準備をした複数の社員は過去の展開作業の記憶に頼り、整備マニュアルの展開手順を確認せず、またその知識、威力及び安全に対する認識が欠如したまま準備を進め、よりによってタイヤの上に別の社員を座らせ、運転席のエアバッグ展開作業を怪我なく完了した。2回目に助手席分の処理準備を1回目と同様に行い、1回目とは別の社員が座り展開を実施したところ、風圧で飛び上がり落下する際に受け身が取れず、左手及び頭等を床に打ち付け鼻血が出たので救急車を呼び病院へ搬送され入院となった。	34	80202	3		10～ 29
2017	7	18～ 19	入居者の居室を訪問し、洗濯物を降ろそうとしたところ、ころうっかりして介護ベッドのキャスターの金属部分に左足をぶつけた。打撲と思い湿布にて様子を見ていたが痛みが治まらず病院を受診したところ左足の中指が骨折していた。	45	130201	3		30～ 49
2017	7	11～ 12	現場にてサイロの中に残ったセメントを1トン袋に出す作業中誤ってバランスを崩し、高さ約2.5mから落下し骨折した（ヒビが入った）	70	30106	1		10～ 29
2017	7	22～ 23	工場内の独立した洗浄室で工具の洗浄作業を1日4時間程度行っていた。前月に水分を飛ばす作業で使用するエアブローガンを強力なパルスエアガンに変更後、エアブロー時に室内に響く音がかなり大きかった為、同日中旬より耳栓を着用して作業してい	27	11301	99		30～ 49

			た。耳栓はアラーム音や人の話が聞きとれる程度の仕様で、その後左耳に耳鳴りなどの症状が現れた。				
2017	7	10～ 11	現場内において、作業員2人で水槽（H?1.8m）からポンプ吸引ホースを引き上げる作業を行っていた。被災者は水槽の中段（H?0.9m、w?5cm）に足をかけホースを引っ張り、もう一人はそのホースを地面から引っ張る手伝いをしてた。ホースを引く二人の息が合わず被災者はバランスを崩してしまい転落し左足と左手を負傷した。	66	30110	1	1～9
2017	7	16～ 17	事業部ロール部門において、包布を流している際に包布の端の部分が中に入っていた為に直そうと手をのばし、包布に手を入れてしまい、ロールバットの下に手が入ってしまった。それにより、左手に火傷を負い、現在治療の為に入院している。入院後火傷による左手指の切断の処理が行われた。	19	11703	11	30～ 49
2017	7	13～ 14	電解研磨工程でカゴに製品を入れ、酸洗った後に洗い場にクレーンで移動し乾燥作業をするために製品が入ったカゴにお湯をかけてから洗い場から移動させるが、移動する際にアングルにクレーンで吊るためのバーをセットしなければならない。カゴに上ってセット中にバーの位置確認をしにカゴから降りる時にアングルに添えていた手がズレて裂傷した。	55	11204	8	50～ 99
2017	7	15～ 16	冷凍等バルクアイス手取充填場で、充填後の2?カップアイスに蓋をし、コンベアに乗せる作業時に、作業台下のバケット台車に足を引っ掛けて転倒し、右足首を骨折した。	68	10101	2	100 ～ 299
2017	7	13～ 14	約40cmの高さがあるリハビリ用プラットフォーム上にて、利用者にリハビリを施術中、別のプログラムに移るために、利用者に姿勢を変えてもらい、自身も姿勢を変えようと、正座の姿勢から右手をプラットフォームの端につこうとしたが、端を通り過ぎて空間に手をつく形となってしまい、バランスを崩し、床に落下した。その際、右手第1指が捻られた状態で床につき、さらにその	63	130201	1	30～ 49

			第1指に自身の上体がのしかかる形となった。				
2017	7	9～ 10	休憩室に向かうため、旧出荷パース側プッシュ式電動ドアから出て行こうとしたが、ドアが開いていたためそのまま通り抜けようとしたところ、扉が閉まってきてしまい、左腕を挟まれ肉離れを起こした。	69	50101	7	100 ～ 299
2017	7	9～ 10	原料倉庫内の集塵機上部にて、濾布点検を行うために扉を開放する作業で、扉開放固定具にて重い扉を開き止める際、側方の手摺が扉に干渉し、固定具が使用できなかった。左手で扉を支えていたが重さを支えきれず、手を放し退避したが、閉じてきた扉で右手の甲を挟まれ骨折した。	51	10909	7	50～ 99
2017	7	13～ 14	工場の組立棟において、発注のミキシングロールのギヤカップリングの抜取作業を行っていた際、油圧ジャッキを使用し抜いている最中に、油圧ジャッキが外れ飛来し、作業者の左手中指の先と両足にぶつかり、中指の先端の骨折と左右の足に打撲を負った。	33	11301	4	10～ 29
2017	7	10～ 11	客先の台所より冷蔵庫を搬出した際、玄関の上がり框で足を滑らせてしまい、冷蔵庫の下敷きになり、冷蔵庫を支えていた左手首を骨折した。	58	40301	7	30～ 49
2017	7	23～ 24	店舗事務所内において、流し台の横下を清掃しているとき、金属フィルター蓋設置の際に、右手小指及び薬指を金属蓋に挟んで切った。	33	80201	7	1～9
2017	7	17～ 18	基地跡地運動広場内にて、看板の塗装作業中、プライマー（溶剤）が左目に入り、負傷した。	49	170201	12	30～ 49
2017	7	14～ 15	給食室内において、業務用濾し器（大型のボール、ザル、キャスター付きの置き場が付属したもの）に前屈みになりシートを掛けようとしたとき、キャスターに接触した。その際にキャスターが動いたため、体勢を崩し転倒し、左手首に重心がかかり骨折した。	69	170209	2	1～9

2017	7	13～ 14	応援先の客室において、掃除機をかけているとき、棚の下に置いてあるゴミ箱を移動させるために屈み、元の体勢に戻ろうとしたとき、棚の角に額をぶつけ受傷した。	46	150101	3	300 ～ 499
2017	7	10～ 11	センター2階作業場で袋掛け機のフィルム交換作業時、フィルムロール（約15kg）が落下し、フィルムロールとフットペダル間に右手人差し指が挟まり骨折した。	45	50101	4	300 ～ 499
2017	7	17～ 18	被災者は、共同作業員2名とNo.2ゴミクレーンガータ上（8F）で、安全ネット用のワイヤー張り準備作業を実施していた。夕方、別作業による溶接の火の粉がバケット上（6F）のゴミに引火した。これを消火するため、共同作業員2名は6Fに向かった。その際、被災者は親綱へ安全帯をかけて使用していたが、その後の行動は不明である。しばらくして被災者の墜落を確認し、救急車にて病院へ搬送したが、その後、被災者の死亡を警察の連絡より確認した。	63	30302	1	1～9
2017	7	8～9	地下1階レストランにて、コーヒーマシンを使用しコーヒを抽出しようとしたときに、まだマシンが抽出中だったことに気づかずにフィルターカバーを外してしまい、左手人差し指から薬指にかけてマシン内の熱湯がかかってしまった。	19	140101	11	100 ～ 299
2017	7	14～ 15	店内キッチンにて、フライヤーの廃油を出した際に、誤ってバルブを閉めずに水を流してしまい、熱い油が爆発して飛んで、左額・左首・左腕を火傷した。	18	140201	12	30～ 49
2017	7	17～ 18	0歳児の保育室で、子どもを抱いたまま55cm位の高さの仕切の柵をまたごうとしたところ、またぐ際に足が柵に引っ掛かり転倒した。その際に柵に胸をぶつけてしまい、右側肋骨にひびが入ってしまった。	42	130201	2	30～ 49
2017	7	16～ 17	調理場内にてフライヤーの掃除中、油を抜くときに下からのぞきながら、パイプに詰まっていた揚げカスを菜箸で突いていたところ、揚げカスが抜け勢い余って、油の中に右手を突っ込んで受傷	63	80209	11	50～ 99

			した。				
2017	7	13～ 14	休憩時間に給水のため移動中、スーパー施設内の建物外にある配管（高さ50cm程）を乗り越える際、着地を踏み外し、左足関節外側靭帯断裂を負った。	25	90103	19	500 ～ 999
2017	7	19～ 20	病院で勤務中、病室でベッドの位置を調整しているときに、ベッド頭部に掛けてあった酸素ボンベを外し、壁際の床に立てて置いた。位置調整を終了し、ボンベを取るため振り向いたとき、ボンベが左足親指に倒れてきた。	55	130101	4	500 ～ 999
2017	7	19～ 20	事務室にて他の職員と向かい合わせに座り、打合せを行っていた。打合せが終了したため、椅子を90度回転させ席に戻ろうとしたところ、被災者が自席のスチール製机の角に右膝を強打し、半月板を損傷した。	38	120109	3	30～ 49
2017	7	17～ 18	フロアを掃除機で掃除時、長椅子の脚に左足が引っかかり、右に倒れた。	79	130201	2	10～ 29
2017	7	14～ 15	業務内容の洗い物、配膳等により、左手親指の関節の炎症と弾発指を発症した。飲食店で働くのが初めてであり、2年程して両手の平に痛みが出はじめ、左手親指の関節が腫れて触れられない程の痛みがあり、病院で弾発指と診断されたものである。仕事以外では手を必要以上に使う事がなく、迅速に大量の洗い物を洗い、また、重い配膳の為と考えられる。	50	140201	19	1～9
2017	7	9～ 10	バームクーヘンを裁断後、次の作業として刃を移動しようと押さえていたところ、刃が手に当たり負傷した。	47	170101	8	100 ～ 299
2017	7	13～ 14	1階温総菜作業場で、天ぷらを揚げる作業中、揚げカスが溜まってきたのでカスを取るため、油の中に沈んでいるヒーター管を上げた。揚げカスをすくっている最中に、固定しているストッパーからヒーター管が外れて倒れ、そのまま油の中に落下した。落下した反動で油がはねて、全身に油をかぶった。	32	80201	11	300 ～ 499

2017	7	12~ 13	園児のお昼寝の準備のため、積み重ねてあるコット（折り畳み式簡易ベッド）を下ろそうとして腰を捻ってしまい、動けなくなり病院に行った。	22	130201	19	10~ 29
2017	7	10~ 11	当社派遣就業先の1階入浴室にて入浴介助中に、中介助の準備で、次に入浴する方のために浴室用チェアを洗い、移動しようとした際、後方部に付いている金具部分に右足第4指を強打し負傷した。	35	130201	3	50~ 99
2017	7	13~ 14	施設のリネン倉庫内で、排泄物等を片付けるため中腰状態のとき、ステンレス製（棚高さ140cm位）の排泄カートとして使用していた棚のキャスターが外れ、仮止めをしようとしたときに棚が傾いて倒れ、右上腕を打ち、その衝撃で腰・背中に違和感を覚えた。	57	130201	5	—
2017	7	8~9	利用者ファイルをキャビネットから取り出そうと引き出したところ、キャビネットごと倒れた。その際、側にあったベビーチェアと倒れたキャビネットの間に手を挟まれ、右手薬指を骨折した。	62	130201	5	100 ~ 299
2017	7	16~ 17	工場3階洗浄室エリアにて、計量分割機の部品を洗浄している際に、部品の一つである上コンベアドライブローラーが受け取り台より落下し、自分の右足に直撃した。	60	10109	4	50~ 99
2017	7	18~ 19	厨房にてお子様カレーを調理時、加熱したカレーを盛り付ける際に、手が濡れていたため手が滑り、右手にカレーがかかり、右手人差し指・中指・薬指と右掌に火傷を負った。	18	140201	11	10~ 29
2017	7	14~ 15	倉庫内にある三段棚の一段目に足を掛けて資材整理（籠筋を棚の二段目に片付ける作業）をしている最中、バランスを崩して落下した。バランスを崩した際に棚の二段目に載せてあった鋼材を掴んだが、鋼材と共に床に落下し、床に置いてあった塩ビ管と鋼材とに右足を挟まれ骨折した。	60	30199	1	30~ 49
2017	7	11~	事業所の厨房内にて、回転釜でお湯を沸かして野菜を茹でていた。次に野菜を追加で茹でようと、回転釜を傾けて後方の野菜を	33	80209	11	30~

		12	取ろうとしたとき、回転釜の中のお湯の重みで予想以上に傾き、中のお湯が両足の足首から下にかかり火傷した。					49
2017	7	16～ 17	圧力輸送機上部ゲートを点検しているときに、作業班長は輸送機内部に入り、ゲート開状態で点検を行った。被災者は反対側ハンドホール外側より作業照明を保持し照らしていた。作業班長は点検を終え、一旦輸送機外に出て、ゲート閉状態確認のため、被災者が見えない場所にあるエアシリンダーを操作し、上部ゲートを閉じた。そのとき、被災者はゲートが直ぐには閉まらないと思い、右手でシート部に触れていたところ、ゲートが閉まり、右手人差し指が挟まれ受傷した。	59	30302	7		10～ 29
2017	7	19～ 20	店舗内にて、販売品陳列什器の角に左足の指先を強くぶつけてしまい、痛みと腫れがひどく、病院で受診した結果、骨折していた。	53	130301	3		100 ～ 299
2017	7	15～ 16	当社工場たこ焼きラインにおいて、生産終了後の清掃作業を行っていた。たこ焼き用のフライパン（縦30cm、横70cm、鉄板15kg）を洗浄のため、当社研修生と2人で持ち上げたときに、研修生はしっかり支持していたが、被災者が手を滑らせ、鉄板を自らの左足甲の上に落とし負傷した。	61	10109	4		50～ 99
2017	7	8～9	本社工場内にて、レーザー加工機横の作業台で、切断した製品を片付ける作業中、作業台に昇ろうとして足を踏み外し、作業台の角で左胸を強打した。	36	11009	3		30～ 49
2017	7	8～9	遊戯室で子供の受入れを行っていたとき、出入口に利用者が来館した。お弁当を受取るため、受入れ用のカゴを両手に持ち、慌てて入口に向かった。その際、動線上にあった椅子が机に収納されていないことに気付かず、右足先を引っ掛けて前に転倒した。丁度、水筒を入れるプラスチックのかごの上に転倒したため、かごの縁や床に腕・胸・足を強打した。	67	130201	2		50～ 99
			調理場にて、フライヤーの掃除を行っていた際、油を抜くために					

2017	7	10～ 11	フライヤーの下部にあるコックを目視せず、手探りで捻ろうとしたため、フライヤーのコック付近の鋭利な金具に気付かず、指先が当たり、深く裂傷した。	62	140201	8	30～ 49
2017	7	14～ 15	原料プラントの空ラック置き場へ空のラックを置きに行ったときに、元々並んでいた空ラックのうち1台が列からはみ出して並んでいた。このため、自分が持って来たラックを排水溝に向かって、傾斜があり床が不安定な場所に置いて、はみ出したラックを直そうとしたところ、自分が持って来たラックが倒れ、左足首に当たり負傷した。	40	10109	5	100 ～ 299
2017	7	13～ 14	当社中2階で掃除機をかけているとき、並べて置いてあった浄水サーバー（約30kg）に誤ってぶつかり、その拍子にサーバーが倒れ掛かってきた。支えきれずに右側に転倒したところ、そこに掃除機があり、掃除機とサーバーに挟まれる格好になり、右脇腹と腰を打った。	55	11703	7	10～ 29
2017	7	10～ 11	施設のロビーで、デイサービスウォーキング活動班担当職員として出発待機中に、外出用携帯電話を携えた他職員と利用者がロビーに集合した。利用者に携帯電話を渡し、携帯担当職員に配布中、突然、利用者が携帯電話を投げつけた。その際、職員の顔面の鼻上部に当たり、鼻血が出て、止血後から痛みと頭痛がでた。	51	130201	4	30～ 49
2017	7	3～4	キッチンで作業中に、フライヤーの底網についた食材を取ろうとして、誤って右手人差し指を油の中に入れてしまい火傷をした。	28	140201	11	30～ 49
2017	7	18～ 19	自動車ガラスの部品組付ラインで、パレット内の完成品ガラスの検収をしているときに、次のパレットを流そうとしたが、パレットが斜めになっており動かなかった。被災者自身で解決しようと監督者を呼ばずにシューター内に入り、パレットを引っ張ったところ、急にパレットが流れてきて、咄嗟に手で押さえようとしたため左足が出てしまい、パレットとシューターに左足を挟まれた。左足踵辺りが腫れ上ってきたので病院を受診した結果、左足	24	170101	7	30～ 49

			関節外果骨折と診断された。				
2017	7	18～ 19	自動車ガラスの部品組付ラインにて、パレット内の完成品ガラスの検収をしているときに、次のパレットのガラスを検収するため、シューターレバーを解除し、パレットを流そうとしたが、パレットが斜めになっており動かなかった。監督者を呼ばずに被災者自身でなんとかしようと考え、シューター内に入り、パレットを引っ張ったところ、急にパレットが流れてきた。手で押さえようとしたとき、咄嗟に左足が出てしまい、パレットとシューターに左足が挟まれた。その後、左足踵辺りが腫れ上がってきたので病院を受診した結果、左足関節外果骨折と診断された。	24	10902	7	300 ～ 499
2017	7	9～ 10	調理場内の配膳室で、コンテナ保管庫のコンテナを拭く作業中に、コンテナ保管庫入口の安全レバーを解除する際、レバーが動かず、カー杯レバーを引っぱったところ、レバー奥側に置いていた左手に、レバーと連動して動く箇所が接触し、左手中指が切れた（傷口長さ3～4cm）。	47	10109	8	50～ 99
2017	7	14～ 15	客室で清掃作業中にバランスを崩し、ベッドに左手をついたとき、その衝撃で左肩を脱臼した。	66	140101	3	10～ 29
2017	7	10～ 11	ストール舎のオス豚房を掃除中、餌を食べていたオス豚が人の気配に気づき近寄ってきたため、逃げようとした時に右手が扇風機に当たり、怪我をした。当日はそのまま作業をしたが、翌日より痛みと腫れがひどくなってきたので病院へ行った。	20	70101	3	10～ 29
2017	7	15～ 16	ガソリン給油中、給油作業の移動の際、ホースを跨ぐときに足が引っかかり転倒し、その際に左膝を地面（コンクリート）に強打し負傷した。	68	80204	2	1～9
2017	7	11～ 12	1つのレジにお客様が多数並ばれていたため、別のレジを開けようとレジカウンター内の作業台からレジへ向かう途中、目眩がして転倒した。倒れた際に、レジ下に設置しているシュレッダーに左顔面を強打し、左眉上にコブ、目の下にアザ、左肩と左膝を打撲	46	80209	2	10～ 29

			した。なお、被災者は、もともと貧血症であった。				
2017	7	13～ 14	通常、淡水魚水槽の清掃の際には扉を上へ上げているが、掃除の最中に落ちて来て、右肘で受けた状態となった。発生時は湿布で治ると思い様子を見ていたが、指先まで痺れてきた。	42	80209	4	50～ 99
2017	7	23～ 24	センター内のコンテナ洗浄室において、高さ1.2mのコンテナ送り込みラインを停止させた状態で、ライン枠内において清掃作業を実施後、安易な判断により床に飛び降りたとき、バランスを崩して着地してしまい、両足のつま先に負荷がかかって負傷した。	45	40301	3	100 ～ 299
2017	7	14～ 15	Aブロック定期利用置場で、顧客対応中に自転車止め用パイプ（高さ40cm）に足を躓いたはずみで転倒し、その際に右膝を強打した。自転車止め用のパイプは、本来は跨いではいけないものと指導していたが、被災者はショートカットしようとして飛び越えようとし、その結果、引っ掛かって躓いてしまった。	74	170209	2	1～9
2017	7	10～ 11	執務室内にて、電話対応しながら自席へ移動しようとした際、隣席椅子の脚に躓き転倒し負傷した。	44	11601	2	100 ～ 299
2017	7	16～ 17	工場内の熱処理作業場（ADI処理施設）にて、減水装置（減150）の稼働状況確認を行っていた。自動運転にて稼働中、高温ソルト（150℃程）の排出工程となったところで、排出口に左手を入れて掻き出そうとしたとき、自動で扉が閉まったため手を挟み、圧迫と高温ソルトで受傷した。	53	11209	11	50～ 99
2017	7	15～ 16	ケアハウス廊下の掲示板の飾りつけをしている際、椅子に乗って取付けていたとき、椅子から転落し、手から落ちて手首を骨折した。	24	130201	1	100 ～ 299
2017	7	7～8	本社第一工場の麺帯室において、原料の粉を取りに行く際に誤って滑り、機械の角で右大腿部を挫傷した。	41	170101	3	100 ～ 299

2017	7	7~8	本社第一工場の麺帯室において、原料の粉を取りに行く際に誤って滑り、機械の角で右大腿部を挫傷した。	41	10109	3	100 ~ 299
2017	7	15~ 16	プールのライフガードとして、ウォータースライダーの着水プールで工作中、2人乗りのボートが滑り下りてくる途中で転覆し、乗客2人は滑り下りてきたが、ボートがスライダーの途中に止まった状態になった。ボートを回収するためにスライダーに登り、回収したところ、次のボートが滑り下りて来て避けきれず、被災者の足に衝突し、右肩辺りからスライダーに転倒して負傷した。	29	140101	6	50~ 99
2017	7	23~ 24	グリドルクリーナーで餃子グリルを清掃中、クリーナーを拭き取る際にその油が右手の甲・中指・薬指にかかり、火傷を負った。	29	140201	11	10~ 29
2017	7	12~ 13	車の積み降ろし作業中、トラックの道板から誤って落ち、右足甲の小指の付け根を骨折した。	48	40301	1	10~ 29
2017	7	10~ 11	2人1組でオムツを1Fから3Fへストレッチャーにのせて運搬中、エレベーターから降りようとした際にストレッチャーの車輪部分で左足の指を挟んだ。その日はそのまま勤務を続けたが、翌日受診し、左第5足趾末節骨骨折の診断を受けた。	40	130201	6	50~ 99
2017	7	13~ 14	3階食堂にて、利用者が参加する詩吟教室の準備をするため、一人で机や椅子を持ち上げて運んでいたところ、準備後、腕に違和感があった。詩吟教室が終わり、机や椅子を片付けていたところ、首の痛みと、右手が拳がらず痛みがあったため、早退し病院で受診した。	28	130201	19	50~ 99
2017	7	11~ 12	入院患者に対して昼食の準備をするため、3階配膳室にて薬缶で湯を沸かし、ポットに湯を注ぎ入れようとして薬缶を持ち上げたところ、把手が外れ、中の熱湯が両足にかかった。	43	130101	11	30~ 49
2017	7	19~ 20	事業所において、洗浄機を洗った後、床を洗い流すために洗浄機の蓋が置いてある台を動かした際に、蓋の差込口に右手指が当たって切創した。差込口は薄くて鋭利であるため、当たるとすぐ	57	10109	8	10~ 29

			に切れるようになっていた。				
2017	7	8～9	管理物件（ビル）の9階女子トイレにて清掃作業中、トイレの外開きの扉を開けて清掃作業をしていたところ、何かのはずみで扉が閉まり、誤って右手親指を挟んで負傷した。	79	150101	7	10～ 29
2017	7	20～ 21	利用者の居室にて、窓のカーテンを閉めるために利用者不在のベッドに上っていた際、右足がベッドの柵に引っ掛かり、ベッド柵に挟まったまま転倒して、右足関節を捻挫した。	32	130201	2	30～ 49
2017	7	14～ 15	うどんだし用のお湯を補充しようとしたとき、スープジャーに入っていたレードル（お玉）に寸胴（お湯が入っている）が当たり、バランスを崩し、お湯が足にかかり火傷を負った。	25	140201	11	10～ 29
2017	7	11～ 12	入浴準備のため、浴槽（可動式）を動かしていた際、立て掛けていた浴槽が急に倒れ、浴槽の角で左胸を打った。	49	130201	6	50～ 99
2017	7	16～ 17	工場内の休憩室を清掃していた。翌日より連休となるため、電気ポット内に残ったお湯を洗面台に排水した際、ポットの上蓋が外れ、自分の足の甲にお湯がかかり被災した。	57	10102	11	50～ 99
2017	7	11～ 12	倉庫よりトラックタイヤの搬入作業中、タイヤのバランスを崩したため、自身の足にタイヤが当たり、足を折った。	49	11701	5	10～ 29
2017	7	8～9	店内水産作業場において、マグロの解凍をしているときに、作業台に水除けのために巻いているビニールカバーに引っ掛かり、足を滑らせ転倒し、床で膝を打ってしまった。	47	80209	2	50～ 99
2017	7	14～ 15	作業中、シンクに給湯器のお湯を出したとき、熱湯（約100℃）が右手にかかり火傷した。	63	150101	11	300 ～ 499
2017	7	11～ 12	保育園の調理室で昼の給食の準備をしているときに、他人が持っていた沸騰した味噌汁が手にかかり火傷した。	33	130201	11	30～ 49
2017	7	10～ 11	保育園内において、陶芸の焼き窯を4人で移動する際、焼き窯と床との間に左手中指を挟まれ負傷したものである。	23	130201	7	10～ 29

2017	7	10～ 11	工場内のズボンプレス機で、ズボンをセットしプレスボタンを押したとき、誤ってズボンと一緒に右手を添えたままプレスしてしまい、蒸気が噴出し、火傷を負った。	39	11703	7	100 ～ 299
2017	7	10～ 11	精肉作業場にて、豚肉の成形を行っていたとき、取り除く予定の部位から包丁が滑り、左側に添えていた左手親指を負傷した。	65	80209	8	50～ 99
2017	7	6～7	事業所内の流し台（シンク）下の水道管が破裂し、それを止めようと流し台の下にもぐり、水道管を手で押さえたときに水圧が強くなり、手を伸ばしたときに、ステンレス台の角で肋骨を強く打った。そのときは痛みが分からず、2時間位後に痛みを覚えたが、ただの打撲と思い我慢していた。しかし、痛みが引かないため1週間後に病院に行き、肋骨2ヶ所骨折と診断された。	58	80109	3	1～9
2017	7	16～ 17	トイレの縁に立ち、トイレの上にある棚に置いてあるトイレトーパーを整理・補充していたときに、左足を滑らせ、左側に転倒し、左足首を負傷した。	44	140201	1	10～ 29
2017	7	11～ 12	作業所内（倉庫）で野菜をトレーに広げる作業の合間に、水分補給のためパイプ椅子に座ったとき、バランスを崩して転倒した。その際に横向きに倒れ、床（コンクリート）で右股関節部をぶつけた。パイプ椅子だったため、座る位置の重心がずれ、傾きやすくなってしまった。	56	60101	2	10～ 29
2017	7	9～ 10	解体工事現場にて、トイレの便器の取り外し作業中、誤って便器を落としてしまい、割れた破片が右足に当たり負傷した。	56	30209	4	1～9
2017	9	10～ 11	被災者は、当社住宅型有料老人ホームにおいて、2階居室での掃除洗濯サービスを行っていて、1階事務所の電話が鳴っているのが聞こえ対応と思い急いで階段を下りて行き、事務所に着き施設長席の電話を受けるのに腕を伸ばしたところ、木製椅子の背もたれ部分の角に胸部を打ちつけて負傷した。	56	130201	3	10～ 29
		16～	支店敷地内にて発生。事務所から倉庫へ書類入りダンボールを運				30～

2017	9	17	<p>んでる途中、電話コードにつまづき転倒し、左大腿骨転子部を骨折。</p>	56	80109	1	49
2017	9	13～14	<p>支店3Fの展示会設営会場で高所にディスプレイ中、什器の一番上に電飾を引っ掛ける為、パイプ椅子の上に乗って作業をしていたら、後方にバランスを崩し転落、両腕と頭を床にぶつけ、左腕はぐらぐらしていた。</p>	44	80209	1	50～99
2017	9	1～2	<p>病棟の休憩室で、仮眠をし、トイレへ行こうと電気をつけたら、台所に蠅がいたので、椅子に登って取り、下りようとしたところ、滑って転倒した。その際、右腕、腰、くるぶしを打った。腫れがあり、冷やして様子を見て勤務終了後に受診した。</p>	46	130101	1	1000～9999
2017	9	21～22	<p>店舗裏において、ゴミを捨てる作業をしていた。ゴミ箱に入っているゴミを圧縮しようと、片足をゴミ箱に入れてゴミを踏んでいたところ、バランスを崩し倒れ、右肘を地面にぶつけ負傷したものである。</p>	17	140201	2	30～49
2017	9	18～19	<p>デリの洗い場で、使用済みの串をソリューションタンク内に入れ、右手で串を持ち左手で蓋を下げているときに、蓋が自動の所手動で作業していた為とても重く、1人では作業してはいけない所、1人で下げてしまった為左手に負担がかかり、左肩を脱臼してしまい、自分ではめたが、痛みが出てしまった。</p>	33	80201	19	100～299
2017	9	6～7	<p>工場内にて、1t水槽を起こして洗浄し、元にもどした際に、左足に水槽を落とした。</p>	47	10103	4	100～299
2017	9	10～11	<p>サイロ下部ホッパー内を2名で上部（指揮者）と下部（被災者）に分かれ、清掃作業を行っていた。被災者はサイロ下部ホッパー内で、燻蒸用配管を背に両足をホッパー内壁に置き、バランスを保ちながら付着している飼料のかき出し清掃作業を行っていた。作業指揮者は被災者上部のカバーの上に足場板を掛け同様の清掃作業を行っていた。飼料崩落があり、被災者は何らかの原因でホッ</p>	24	80401	1	10～29

			パー下部へ落下した。指揮者が下に降りて確認した所、被災者はすり鉢状のホッパー下部に下半身が滑落していた、そのためホッパー下部を塞ぐ形となり、飼料が下に流れない状態となっていた為、飼料が積もり埋もれた。				
2017	9	7~8	溶剤を搬送し、同第二プラント内設置の円錐型貯蔵タンク上部口に車輛からホースを用いて注入納品し、終了時にタンク上部に立ち上りホースを外す際に、足を滑らせてバランスを崩し、3.5mほど下の地面（砂土）に転落したものである。	66	40301	1	30~ 49
2017	9	17~ 18	当社厨房内にて作業中、湯沸したやかんを移動する際に、片手でガスコンロから降ろし棚に戻す時にやかんが棚にぶつかり弾みでフタが外れお湯がこぼれて左右足部を火傷した。	41	130201	11	30~ 49
2017	9	11~ 12	熱処理室ジェットオーブンでトーストパンを焼く作業を手伝っているとき、コンベアから焼きあがったパンを作業台におこうとして、布を何枚も重ねたつかみを使って網をつかむときに指が触れてしまった。大したことはないと思い、冷やさずそのまま作業を続けてしまった。その日は通常通り働き、公休日で3日間休み、日曜日に出勤。絆創膏を貼りかえる際に血が出てきたが、出血があるため現場作業はひかえてほしいということで早退した。左第二指に5mm程度の熱傷と診断された。	60	10109	11	300 ~ 499
2017	9	7~8	運転草刈機のエンジンをかけたままで回送してしまい、間違っ て足の親指をいれてしまい切ってしまった。	46	30199	8	1~9
2017	9	10~ 11	砂利採取場敷地内で除草作業中、刈機で小さな石が弾かれ、左目に入った。	47	30199	4	10~ 29
2017	9	15~ 16	材料となるセメントの給材ホッパー（2号ライン）周りで、成形機 トラブルによるホッパー内に残った平モルタル廃棄準備中に、 ホッパー開口部の板を外して、その上を歩いているときに体勢を 崩して右足首を捻って骨折した。	32	10901	19	10~ 29
			勤務先である市役所技術員の休憩室で12cmの小上がりフローリン				

2017	9	19～ 20	グのテーブル上のメモを取って自席に戻ろうとした際、左足後ろの上履きのサンダルが段差に半分位しか残っていなく足を踏み外した形になった。咄嗟に椅子に手を伸ばしたがキャスター付きの椅子の為、回転してしまいその拍子に体勢を崩してしまい、椅子に左胸を強打したものである。病院に行き、肋骨が2本折れているとのことだった。	67	170209	3	1～9
2017	9	8～9	ライン脇で作業用台車の往来を避け位置を変えながら作業見学を行っていた。作業用台車が近づいて来た為、パイプ組棚②を回って元の位置へ戻ろうと移動した際、最下部に置いてある金属パイプ先端が右足作業ズボンに引っ掛かりバランスを崩し左前方へ転倒。左側にあった部品組棚③の支柱（上から3本目の横支柱、長さ約1.5m、高さ約1m）にヘルメットの左側頭部と眼鏡が衝突した。	40	170101	2	100 ～ 299
2017	9	12～ 13	13番ホールティ・グラウンドのレギュラーティ付近のスプリンクラーに右足がはまって、捻挫したものである。	57	140301	2	100 ～ 299
2017	9	23～ 24	ホール内にて、コーヒー用のポットを片付けるため、ポットの中のお湯を捨てようとしたところ蓋が外れ、中のお湯が左手甲にかけ負傷したもの。	30	140309	11	10～ 29
2017	9	12～ 13	食器洗浄後のとんかつ皿を拭き上げる際、皿が滑り落ちそうになり皿を受け止めた時、洗浄ケースのへりに指が引っかかり負傷、祝日診療に付、専門医が休みで断定は出来ないが剥離骨折の疑いの事であった。後日、再診の上、剥離骨折と診断された、手術を要するとの事で、後日、手術となった。	56	140301	3	100 ～ 299
2017	9	19～ 20	病院の洗い場で、洗浄された食器が入っているカゴを乾燥機に入れる作業をしているとき、次々とカゴが流れてくる環境に、カゴを溜められない状態があつて、急いでしまい乾燥機の内枠に左手甲を強打してしまった。痛みを我慢して勤務していたが、5日	56	170101	3	500 ～

			経っても痛みが引かなかったため、受診したところ亀裂骨折の診断が出た。				999
2017	9	12～ 13	店のカウンターにて、業務用コーヒーマーカーでブレンドコーヒーを抽出中であつた事に気付かず、ブレンド粉を入れる器具を外した際右手甲～手首にかけて熱湯がかかり、熱傷を負う。後日、抽出中はパウチをコーヒーマーカーに貼り、抽出中と分かるよう対策した。	21	140201	11	10～ 29
2017	9	21～ 22	店舗内鮮魚作業場において、氷の入ったパットをカット台にのせて冷蔵庫に入れようとして、冷蔵庫の扉に背を向けて作業していたので、振り返った際に開いていた冷蔵庫の扉に左肩が当たり、頸椎捻挫・左肩甲骨骨折を負った。	47	80201	3	100 ～ 299
2017	9	7～8	店前でダンボールの回収中、作業装置に左手をはさまれた。	41	80409	7	10～ 29
2017	9	15～ 16	ひよこ1クラス保育室を掃除中、ロッカーの上に置いてあつた掃除用具を取りに行き、振り向いて歩き出した際に、近くにあつた幼児用の机の脚に、左足を強打し、左足人差し指を骨折した。	33	130201	3	—
2017	9	7～8	厨房で、ゴミ捨て作業中、扉の開閉をしているとき、強風が吹き風の勢いを見誤ってしまい、扉に右手人差し指を挟んで骨折・切断するケガをした。	27	11709	7	10～ 29
2017	9	19～ 20	店舗の金庫を左手で勢いよく締めたところ、右手でドアを支えていたため、右の親指が挟まってしまい負傷。痛みはあつたが当日は遅かつたので、翌日病院を受診、レントゲンをとつたが骨に異常なし、その後、ヒビが入っているかもしれない、また爪の内出血もしており、痛みがひどいため、痛み止めを処方される。	36	170209	7	10～ 29
2017	9	13～ 14	事業所内厨房事業所内厨房にて、熱い油の入つた鍋を移動させる際に手を離してしまい、油がこぼれ右足の甲を負傷した。	46	80209	11	1～9
			上下にスライドする機構のある横真柱架台を楊重して降す際に、				

2017	9	8～9	その機構（スライド部分をジャーレジャッキ）の間に、左手親指を入れて挟んだ。上下のスライド機構の隙間に手を入れない事は、安全基本事項であるが、手元確認不足だった、気の緩みもあったと思われる。	67	30201	7	1～9
2017	9	22～23	トラックの荷台の中で、つっぱり棒を掛け忘れて、掛けに戻ったとき、ダクトに左足の親指を引っ掛けてしまい、全治一週間のケガを負い、7針縫う結果となった。	52	40301	8	50～99
2017	9	11～12	被災者は、ホッパーと粉コン位置を調整するために、ホッパー下部フレキを持ち、左右に揺らしながらホッパー下降させている際に、シリンダーからホッパーが脱落し被災者頭部に激突した。	48	10109	4	1000～9999
2017	9	7～8	会社資材置き場にて割れた硝子を片付けている時に、バランスを崩して転倒し、その時に持っていた硝子が左足太腿に直撃し、裂傷を負った。	37	30209	2	10～29
2017	9	15～16	被災者は一次孔底処理作業のため、泥水置換ポンプを杭孔内に建て込むために、クレーンにて泥水置換ポンプを専用の架台から揚げ荷しようとした際、ポンプを作動させるキャプタイヤのドラムをフリーモードにしたつもりであったが、キャプタイヤが緊張したため、ウインチドラムより引っ張り出そうとした時、ドラムが動かず泥水置換ポンプが動き、専用架台とポンプ保護のFB材の間で指を挟んだものである。	67	30201	7	1～9
2017	9	22～23	エンジンから冷却水用ホースを取り外す作業を行っていた。パイプとホースが固着し、抜けにくくなっていたため、ホースを両手で持ち全体重をかけて引っ張った所、ホースが抜け、姿勢のバランスを崩し、後方に転倒しそうになり、右足を踏ん張った際に痛みが走った。	47	170101	19	100～299
2017	9	22～	エンジンから冷却水用ホースを取り外す作業を行っていた。パイプとホースが固着し、抜けにくくなっていたため、ホースを両手で持ち全体重をかけて引っ張った所、ホースが抜け、姿勢のバラ	47	170209	19	50～

		23	ンスを崩し、後方に転倒しそうになり、右足を踏ん張った際に痛みが走った。精密検査結果、右腓骨筋腱脱臼					99
2017	9	15～ 16	惣菜の作業場にて、洗い物を食器洗浄器から取り出そうとした時に、食洗器の扉に、ラックを引き出さずに作業した為、台が扉にぶつかり、上下の扉が連動して閉まった為、左腕を挟み骨折した。	48	80209	7		100 ～ 299
2017	9	9～ 10	店内フロアにて、ドリンクバーの組み立て作業中、取り付けの際に拇指に力を入れたところ、痛み・腫れが出た。右手拇指の脱臼と診断された。	45	140201	19		30～ 49
2017	9	14～ 15	建物内において、自社が提供した高圧機の修理作業中、圧力ゲージが0になっている事を確認した上で、高圧機の配管を取り外す作業を行っていた。しかし、配管内にゴミが詰まっていたため、実際には配管内には圧力が残っており、配管を外した際、残圧によって激しく噴出した水を浴び、負傷した。	38	11702	4		10～ 29
2017	9	13～ 14	当社工場内キッチンの消毒槽（約90度のお湯を溜めて、器具の殺菌消毒）において、お湯の中に器具（トング）を落としてしまい、とっさに拾おうとした。長ゴム手袋をはめていたため、手袋の中にお湯が入り火傷をした。	20	10101	11		50～ 99
2017	9	16～ 17	開発中の大型プリンタの寸法を測定するため、定盤（測定装置を設置した台）に、靴を脱いで上がり段取りを開始した。定盤上で作業中、滑ってバランスを崩し、左側斜め後方に左肩から転落した。	45	11305	1		1000 ～ 9999
2017	9	14～ 15	工場内仕上げラインにて、結束機の横にある台車に製品を載せ、立ち上がろうとした所、結束機テーブルの角に頭をぶつけた。	41	11703	3		300 ～ 499
			店のビット内の地下式の作業場で、オイル交換後の最終確認をするため足場（台）に上がろうとした時、落下防止用のスライド式					

2017	9	10～ 11	金網を開けるのを忘れていたため、頭頂部を金網に強打し首に強い衝撃を受けた。その場は作業を続け、3日後位から両肩、左臀部、左足の付け根から脹脛が痛みだしたが通常通り勤務していた。	36	80209	3	10～ 29
2017	9	12～ 13	継手漏洩予防対策のこ工事において、被災者は午前中、道路の堀削作業を行っていた、堀削作業中にスコップを振り上げた際、堀削溝横の消火栓の鉄蓋に右手小指を接触した。当日の作業はそのまま継続して行った、作業完了後に現場監督に右手小指を痛めたことを報告した。後日、被災者より痛みがひかず病院にて診察を受けたところ、右手小指の付け根骨折と診断されたものである。	64	30309	3	1～9
2017	9	17～ 18	業務終了後、靴を履き替えている時に人に押され、左足小指を靴箱の角にぶつけたものである。	45	11402	3	100 ～ 299
2017	9	15～ 16	工場内でプロパンボンベの付属品を取る作業中に、突然火のけのない所で引火して負傷した。	49	80109	11	1～9
2017	9	9～ 10	会社詰所の風呂場で清掃している時に浴槽を清掃するために、洗剤を吹きかけた。その後、浴槽内を歩行しようとしたところ足を滑らせて転倒した。その際に右膝を床面に強打して負傷した。	59	50202	2	50～ 99
2017	9	0～1	当社工場内にて、部品の空箱（1箱）をゴミ箱まで捨てに行く際、小走りで向かった。ゴミ箱直前で停止する事ができず右足首をひねり、右側へ転倒した。	33	11502	2	100 ～ 299
2017	9	13～ 14	後半スタートの準備の為、スタートテラスに出た所、雨が降り始め、カートでお客様が待機されているのが見えた為、急いで長靴に履き替えようと下駄箱まで行き、その後気持ちの焦りから地面が濡れているにも関わらずグレーチング沿いの段差に足を引っ掛け転倒する。	62	140301	2	50～ 99
2017	9	14～	散水車ホースにて殺虫・殺菌剤を散布中、ホースジョイント部分近くを持ち力強く引っ張っていたところ、ジョイント部分の留金	56	30199	2	30～

		15	具が外れ、そのまま後方へ転倒してしまい、腰を強打した。					49
2017	9	17～ 18	3階エレベーター前にて、ご入居者をエレベーターホールでお見かけしたので、書留をフロントにてお預かりしていることをご本人へ伝えに行き、その後、書留をお渡しする為にフロントに書留を取りに戻ろうとして振り向いた時、後方にあった郵便ポストの台にぶつかり、転倒した。	54	130201	2		100 ～ 299
2017	9	19～ 20	特別養護老人ホームで介護業務に従事中、入所者のトイレ介助でトイレに移乗しようとして、手すりに肋骨があたり体をひねったため、肋骨に痛みが生じた、その後痛みがあったが業務を続け、翌日の夜間勤務後に、病院で診察を受け、第5肋骨骨折と診断された。	33	130201	3		50～ 99
2017	9	23～ 24	機内台所にてお客様用の食事をオーブンで加熱後、オーブンのドアを開ける際、いつもは厚手のグローブを着用するが、その時は着用せずに開けたため、オーブン内の熱気（蒸気）が右腕に当たり火傷を負う。すぐに患部を冷やす応急処置をし、到着後現地で治療を受ける。	23	40103	11		50～ 99
2017	9	17～ 18	厨房内の電子レンジにて、温めたご飯を電子レンジから取り出そうとした時、ターンテーブルが割れており落下してきた為、受け止めようとした際、左手中指と薬指の間を割れたターンテーブルで切傷した。	17	140201	8		30～ 49
2017	9	12～ 13	マンション内の排水管清掃作業中に、共用部分の床の化粧フタを開けようとして手がすべり、右手中指をはさんだ、右手中指の先を切断した。	39	170201	7		1～9
2017	9	6～7	レンタルボートの運搬具に釣道具を積み込み作動操作を誤り停止バーを足で支えようとし、左足の指を運搬具の車輪に巻き込まれた。	19	140101	7		1～9
2017	9	21～	スロットのメダルをすくいあげる時に、メダルタンクの縁が錆に	24	140309	3		30～

		22	より尖っておりぶつけたところ右小指を負傷した。					49
2017	9	15～ 16	当社工場A棟のCWT組立場において、プレート（t25*550*940:78kg）を約20cmの高さでパイプと爪付き油圧ジャッキで仮置きした、そのプレートを両手で約30mm動かそうとした際に、爪付き油圧ジャッキから外れ、両手を挟まれた。	36	11301	7		100 ～ 299
2017	9	11～ 12	被災者が店舗内で、什器の棚受けを取ろうとしたところ、横に置かれていた別の棚受けも一緒に動いて落下し、左足甲に当たって負傷したもの。	56	80209	4		50～ 99
2017	9	10～ 11	シーツめくりの作業中にバランスを崩し、床に右膝を打ちつけて転倒した。	68	150101	3		10～ 29
2017	9	7～8	売場で花の入った段ボールを運ぼうとした際、特設のサンテナが飛び出していた為足を引っ掛けて転倒し、右ひざを強打した。	62	80209	2		50～ 99
2017	9	7～8	施設の3階310号室にて、朝、洗顔用のタオルを居室のベッド上におられた利用者に手渡したが、利用者が床に投げつけたので、そのタオルを拾い、再度利用者に近づき手渡そうとした際に、ベッドそばに敷いているマット（転落した時のケガ防止のためのもの）がすべり、後ろ側に転倒し、左手をついて、尻もちをついた。	68	130201	2		10～ 29
2017	9	8～9	入居者居室内にて、入居者の体を起こす前にベッド内の体の位置を変えようとして、入居者の頭方向から両脇をかかえて引き上げた、その際、バランスをくずし、柵で腰部を打撲する、鈍痛が続いていたが、朝に強い痛みを感じ、病院を受診する。	59	130201	3		30～ 49
2017	9	21～ 22	事業所のパントリー内で閉店作業中にお客様より呼び出しベルがなり、ふり向き様に後方の真空調理機の台にしているビールケースに足の小指がひっかかって倒れた、すぐに腫れたのでシップを貼って対応したが、翌朝病院に行くと骨折していた。	49	140201	3		10～ 29
			被災者は直径約20cmの円筒状の出汁ポットに入っている煮詰まっ					

2017	9	10～ 11	た出汁をシンクに捨てようとしていた、被災者がポットを傾けていたところ手が滑りポットが落下、その際にこぼれた出汁（温度約80℃）が右手、右足、腹部にかかり負傷した。	63	140201	4	10～ 29
2017	9	10～ 11	味噌作り研修中に大豆を大型圧力釜で蒸し作業中、蒸し所要時間の20分が経過を確認後、圧力釜の蒸気を抜かずに蓋を開放したため、釜内部の熱湯及び大豆が噴き出し、左大腿部付近を火傷した。	60	170209	11	30～ 49
2017	10	12～ 13	事務所内の警報器のスイッチを止めようとし、イスに乗った時、バランスを崩して転倒した。その際、右手をついて負傷した。	49	30199	1	30～ 49
2017	10	18～ 19	厨房内配膳室にて食器を片付けている際、腰の高さ程の柵から食器の入っている籠を引き出し持ち上げたところ、籠が重く、腰に激痛が走った。	53	80209	19	100 ～ 299
2017	10	20～ 21	作業場で油が入った寸胴（縦27cm×横27cm×高さ27cm・15kg）を油こし機へ移そうとした際、しゃがんで持ち上げて降ろした時に腰を痛めた。（1回60分、1ヶ月に4～5回作業）4年前、腰を痛めたことがある。	27	80209	19	500 ～ 999
2017	10	11～ 12	惣菜調理作業中、オーブンより焼きあがった魚を取り出しオーブンの上にあげた際、トレイが手前側に斜めになり、お湯と油の混ざったものが、右腕にかかり火傷した。尚、手には火傷防止用ミトンを履いていたが、手首から肘にかけて服の上から火傷を負った。	72	80209	11	30～ 49
2017	10	10～ 11	地下1階設備機械室内で既設の膨張タンク（600φ×1923H タンク容量500?）を4人で押さえながら傾けたところ、膨張タンク内のゴムが破損していた事に気がつかず想定外の水（500?程度）が入っていた為、4人では支えきれず膨張タンクが横倒しになり少し転がった時に、作業員1人の右足が膨張タンクと床の間に挟まれた。原因として、通常はチェーンブロック等の工具を使用して撤去をするが、今回撤去する膨張タンクがステンレス製であった為、職	44	30309	8	1～9

			長が軽いと判断し人力での作業で進めてしまった。				
2017	10	19～ 20	作業現場に於いて、片付け作業中にランマを立て置き、移動した際にランマが転倒し、足の甲にぶつかった。	27	30199	6	1～9
2017	10	14～ 15	3Fの利用者用ベッドでシーツ交換している際、ナースコールのコードにつまづき転倒。その際、左膝を地面につき骨折した。	67	130201	2	50～ 99
2017	10	9～ 10	椎茸を休養させるビニールハウス内で、暖房用のウッドボイラーに、火種として灯油を染み込ませた木屑を撒き薪を投入した際、前日の火種が残っていたため、木屑に染み込んだ灯油が気化したことに気付かず、ライターで火を点けた結果、気化したガスが燃え広がり右腕及び顔の一部に火傷を負った。	21	60101	11	10～ 29
2017	10	9～ 10	浄化センター内、水処理棟2系第2生物反応室で、蝶バエの発生原因となるスガム除去作業のための空気弁操作中に、床下の配管炉内（高所）作業環境で、墜落防止の為の必要な措置を取らず、適正な保護具、昇降器具を使用せず作業し墜落（足の位置より約1.0mの高さ）した。	61	30302	1	10～ 29
2017	10	1～2	仕込工程で生産終了後の掃除作業に送液ギヤポンプ付きのタンクをお湯洗いしていた。通常通りの回数洗いを入れお湯を抜いたが、タンク内に残渣が出ており、残渣をタオルで拭き取ろうとした結果、タンク内のギヤポンプにタオルを巻き込んでしまった。巻き込まれたタオルが破損し、ギヤポンプ内にタオルの破損片が残り、慌てて破損片を取り除こうとギヤポンプに手を出してしまい、左手中指の第一関節から上部分を挟まれてしまい、損傷した。	49	10104	7	100 ～ 299
2017	10	20～ 21	荷積み終了後、事務所で伝票を受領し、トラックに戻る際、ローラーを跨いだところ、左足をローラーに引っ掛けてしまい、バランスを崩して右脚を捻ってしまった。	25	40301	2	30～ 49
		13～	会社野菜加工場において、ケースを洗い終わった後の水槽（70cm×50cm×41cm）の水を斜めにして排水溝に向けて捨てる				30～

2017	10	14	作業中、手が滑って水槽を左足に落として負傷した。早退し、怪我の状態をみていたところ、足が腫れて痛みがあった。	51	10103	4	49
2017	10	20～ 21	店内キッチンにて、フライヤーの揚げカスを取っていたときに、誤って手を滑らせ170度のフライ油の中に手を突っ込んでしまい、左手に火傷を負った。	38	140201	11	30～ 49
2017	10	23～ 24	IH炒め機の清掃のため煮沸を行い、清掃終了後IH炒め機の中にあるお湯を廃棄しようとしたところ、長靴の中にお湯が入ってしまい火傷をしてしまった。	29	10109	11	500 ～ 999
2017	10	21～ 22	加工場で作業台を移動していて、台に左手薬指を挟んで骨折した。	46	10102	7	100 ～ 299
2017	10	8～9	当社の取引先内で、運搬車両に製品を積み込む作業に従事し、アルミデッキ（積荷誘導台）に乗って製品誘導していたところ、足元確認を怠ったため、アルミデッキから落下し、顔面右側と左肘をコンクリート地面に打ちつけた。	37	40301	1	30～ 49
2017	10	13～ 14	メダルを保管している倉庫で、約100kgのメダルが入った専用のストッカーを移動させようとした際、ストッカーが傾き、左足の甲上に倒れてしまい、負傷した。	30	140309	5	30～ 49
2017	10	15～ 16	構内作業を終え、出庫する際、強風が吹いていた為、作業場のシャッターを下ろし出庫しようとしたところ、左手でシャッターを下ろしたが、右手でシャッターレールを押さえていた事を失念し、そのまま右手、親指と人差し指付近にシャッターが当たり、裂傷を負った事故である。	48	40301	6	50～ 99
2017	10	11～ 12	ガバナ実習室にて分解訓練を行っていた際ガバナ内の残圧によりスリーブが飛び出したことにより、右手をガバナの蓋に挟み負傷した。	49	11602	7	500 ～ 999
			両手にトレイを持ち運んでいる時に、ガスコンロの種火着火用の				

2017	10	10～ 11	ゴムホースに右足が引っ掛かり転倒した。その際に左足を捻り負傷した。9月にガスコンロを新しく購入し設置した為、種火着火用のゴムホースが以前より長くなっていて足が引っ掛かってしまった。	70	130101	2	100 ～ 299
2017	10	16～ 17	10階朝礼会場の耐火被震吹付作業準備の為に朝礼台の移動を両名で実施していた。600枠1段4スパンと600枠1段3スパンに、それぞれ取り付けしてあり、建枠の足元には、移動用のキャスターをかけていた。転倒防止の控えを外し、朝礼台を前に引き出そうとした際に、バランスが崩れ、朝礼台が前に倒れ、被災者は、コンクリート床との間に下半身が挟まれ、被災した。	53	30201	5	10～ 29
2017	10	16～ 17	移転の為、キャビネットをトラックに積み込む際キャビネットとトラックの跳ね上げに右手中指を挟まれた。	34	50101	7	30～ 49
2017	10	9～ 10	現場作業所の地上で、上下拡張式形状保持装置を組立中、形状保持装置の内筒部を外筒部からチェーンブロックで引き出していたが、所定の位置へ引き出す前に止まってしまったため、状況を確認しようと下斜めから覗き込んだところ、内部筒に挿入していたピンが抜け落ちピンが被災者の左手に落下し受傷した。	40	30106	4	10～ 29
2017	10	10～ 11	被災者は派遣先においてワインのピッキング作業に従事していた。昼食後に喫煙室に向かおうと長椅子から立ち上がって歩き始めた際に、長椅子の脚（座席部分から15cm程脚が飛び出ている形状）に左足を引っ掛けて転倒し、負傷した。なお、長椅子は背中側に壁正面にテーブルが置かれた場所に配置されており甲は身動きしづらい状態だった。	51	50101	2	1～9
2017	10	17～ 18	宴会準備中、ステージに継ぎ足してあるダックステーブルに乗ってしまい、バランスを崩しテーブルごと転倒、首・右腕を打撲した。	38	170101	1	100 ～ 299
2017	10	15～	ドラフトのオーダーが入り、ビールタンクにレバーを設置しようとしたところ、右手親指に負荷がかかり、右手親指の靭帯を損	33	140101	19	10～

		16	傷。					29
2017	10	20~ 21	調理場から6m程はなれた、パントリーホール用の水道にて、両手鍋（直径40cmほど）に水を9割入れ、調理場へ戻る際に首と腰を痛めてしまった。	49	170101	19		50~ 99
2017	10	12~ 13	休憩室の隅に寄せられていた机を元に戻す際、重さが30キロもある机だった為持ち上げた際腰に激しい痛みを発症した。机がひっくり返した状態だった為正しい向きに戻す時にさらに痛めた。当日は仕事上中抜けしての受診が困難だった為無理をして働いていたが、だんだんと痛みが増し歩行困難にまでなった。	28	80201	19		100 ~ 299
2017	10	11~ 12	被災者は、店内のレジカウンター内にてレジ下右側に立てかけておいた紙用の裁断機が倒れてきて右足首を強打し負傷する。	48	140201	5		10~ 29
2017	10	16~ 17	店舗内キッチンにて、作業台上がりダクト（換気扇）を清掃していたところ、足元が滑り、誤って稼働中のフライヤー（揚げ場）に左足先が入ってしまい、負傷した。	41	140201	11		30~ 49
2017	10	10~ 11	就業場所において、ポットから沸騰させたお湯を注ごうとしたところ、ポットが破損しており両手にかかってしまった。お湯がかかった直後に冷やしたものの痛みが引かず、両手を熱傷した。	30	120109	11		100 ~ 299
2017	10	10~ 11	就業先にて、ポットから沸騰させたお湯を注ごうとした所、ポットが破損しており両手にかかってしまった。お湯がかかった直後に冷やしたものの痛みが引かず、両手を熱傷した。	30	170201	11		500 ~ 999
2017	10	12~ 13	当社において客室清掃作業中であった。ベッドメイキング中で枕をセッティングする為手を伸ばして奥へ置こうとして右足に体重を掛けて踏ん張った際右足に痛みが走り負傷した。	40	140101	19		50~ 99
2017	10	10~ 11	刺身小鉢に若布の盛り付け作業中、コンロで味噌汁を作った他のスタッフが鍋の中身を保温器に移そうと鍋を持って移動した際、シンクで作業していた被害者の背中に腕がぶつかり鍋の中の味噌汁がこぼれた。その味噌汁が被害者の背中から足にかけてかかっ	67	140201	11		1~9

			てしまった。				
2017	10	9～10	車両積載車のドライバーとして就労している被災労働者が、事業場敷地内にある積載車駐車スペースにて、当該車両の上段に積載した車両に書類を置き忘れたことに気づき、当該箇所へ登ろうとしたところバランスを崩し、足から路上へ落下。左足首上部を骨折した。本来駐車スペースは作業をする場所ではないが作業効率アップのためにと当該者の判断により、当場所にて作業を行うことが日常的となっていて車両積載の当作業は当社は1人で行うものとしている。当時の天候は小雨であった。落下した、車両上段部は地面から1.7m程の高さである。	61	80202	1	30～49
2017	10	1～2	2段ベッドの上段で、仮眠中、寝返りをしたところ、ベッドの落下防止柵が無い側から（ベッド190cm壁70cm）、頭から落下した。	67	80109	1	100～299
2017	10	11～12	開店準備中に配膳台に手をぶつけた。その後、薬味の盛付のため袋に入ったおろしニンニクを器に絞り出していた際に右手首から人差し指に激痛が走り指が動かなくなった。	52	140201	3	50～99
2017	10	20～21	店内キッチンにて、煮込みうどんの調理中、電磁調理器上で加熱され熱くなっていた鍋に触ってしまい、右手中指・環指付近に火傷を負った。	16	140201	11	30～49
2017	10	7～8	仕事を始める準備段階において、女子トイレ内の換気を行うために、自身の背丈では届かない窓のロックをジャンプして解除しようとした際に、ロックの隙間に指が挟まってしまい、自分の体重がそのまま掛かった状態となった為、左手人差し指を骨折した。	52	80109	7	100～299
2017	10	19～20	製造工場内のシンクにて、仕込んだカードルケーキに使用したステンレス製の型枠をスポンジと素手で、シンクにお湯を張り浸け置きした状態の物を洗浄中に、右手でスポンジを持ち、型枠を挟んだ状態で、勢い良く右にスライドさせた際に、型枠が右手人差	35	10104	8	30～49

			し指の関節に丁度当たってしまい、鋭く切開してしまった。				
2017	10	17～ 18	リフォーム工場の現場で使う材料を会社加工場で加工している時に、2人で板金折り曲げ機を使い、板金を折り曲げる際、手元が滑り刃の下に入ってしまった、片方の従業員が確認せず、手動で圧力をかけてしまった時に、板金を押さえていた左手薬指の先端を切ってしまう、負傷した。	40	30203	7	1～9
2017	10	12～ 13	韓国料理店にてランチ業務時間中、お客様に提供するドリンクを作っている過程で、冷蔵庫のガラスドアを閉めようとしたとき、プラスチックでできた縁部分がゆがみ、縁とガラスの間に指が挟まり、左中指（爪から第一関節部分）の肉を削いだような状態に負傷した。	32	140201	7	10～ 29
2017	10	8～9	エスカレータ内側デッキカバーを清掃中、雑巾が手すりに引っ掛かりバランスを崩して、背中から一回転し転倒。その際頸、肩、腰、頭を強打し後頭部より出血した。	65	140302	1	50～ 99
2017	10	21～ 22	フライヤー什器清掃の際、最後に熱湯で煮沸し、その煮沸したお湯をフライヤーから流しタンクへ捨てる際に、誤って内股、腿、足先まで熱湯がかかってしまった。	15	80209	11	10～ 29
2017	10	17～ 18	被災者は派遣先において、仕分け業務に従事していた。現場担当者の指示により、商品棚のボルト締め作業中、足場にしていただパレット（商品棚にのせて足場にしていただ）が、ズレてしまったため、不安定になった足場でバランスを崩し、転落（1.5m）して負傷した。原因は、現場担当者と被災者の危険予知が不十分だったことによる。	28	170101	1	30～ 49
2017	10	11～ 12	工事現場において、タンクをつる作業をしようと高さ1.6mCタンクから隣のタンクに移動したところ、足を滑らせて落下し、右腕と右腰を負傷したものである。	46	30199	1	1～9
		10～	社員食堂の調理場にて、高さ85cmの冷凍庫の一番下に入っていた食材を取ろうと、手を伸ばしたがなかなか届かなかった。無理を				100

2017	10	11	して冷凍庫に体を押しつけながら取りあげたが、肋骨に痛みが生じた。レントゲンを撮った結果、骨折していた。	64	10102	3	～ 299
2017	10	9～ 10	店舗内ガーデンセンターにおいて、開店準備作業を実施。店頭へ移動しようとして商品植物鉢（約15鉢）を乗せた三角錐の形状什器（直径83cm、重さ約15kg）を、2名体制で持ち上げた際に後ろ向きで移動した為、先に運んだ什器との間に挟まれ腰をぶつけ負傷した。その後慌てて手を放した時腰に痛みが走った。	58	80201	3	100 ～ 299
2017	10	20～ 21	店内の従業員通用口付近で、売台の板を一旦床におろそうとした時に手が滑って売台の板を左足の靴のつま先に落とした。腫れていたため、翌日病院で診察してもらったら、ひびが入っていた。	70	80201	4	100 ～ 299
2017	10	18～ 19	3課4係の前工程にて加熱ゼネレータ付近で作業していた時、加熱終了のブザーが鳴った為、右回転で振り向き、操作盤に向かおうとした。その際、滑って転倒し開いていたゼネレータの扉に右肋骨付近を強打した。	48	170101	2	10～ 29
2017	10	12～ 13	カウンター払い出し機の故障原因を調べて修理するため、払い出し機（横幅140mm・奥行556mm・高さ635mm）を外した際に重量（60kg）があったために、右足に落下させてしまい負傷した。	34	140309	4	10～ 29
2017	10	13～ 14	実験室で工具顕微鏡により、サンプルの寸法を測定中、その後方でフード設置のため、工事業者が、工事看板表示及び区画整理をせずに作業しており、高さ2mの位置にて不良箇所調整中にフードを落下させた。被災者は前方を見て作業をしていたため、フードの落下に気付かず、右肩から首にかけて強打した。（フード：900×750×H420ステンレス製約7.2kg）	25	11702	4	100 ～ 299
2017	10	11～ 12	弊社構内のビニールハウスのビニール張り替え後の手直し作業中、ハウス内の高さ180cmくらいにある換気扇（縦1m×横1m）周りのビニールの張り具合を調節しているとき、ファンカバーの針金部を留めてある溶接部分が劣化のため、たまたま一本外れ、	65	11709	4	1～9

			その際はじかれた針金が左拇指爪の下部にあたり負傷した。				
2017	10	3~4	事業場内において、水洗タンクの水の入れ替え作業のために通路を歩行していたところ、タンクの下に立て掛けられていた塗装用のハンガー（製品を吊して電着塗装工程に流すもの）の一つが崩れて通路内にはみ出していたが、これに気付かず、誤ってこのハンガーの矢剣部分を踏んでしまい、安全靴の底を貫通して左足裏に刺創を負った。	35	11209	9	100 ~ 299
2017	10	13~ 14	店舗内調理場において、洗い場作業中に従業員から裏に物を取りに行くよう指示をされ振りかえり際に足元にあった漂白用水槽に躓き転倒。左膝を床に強打して膝蓋骨を骨折した。	61	140201	3	30~ 49
2017	10	12~ 13	冷蔵庫を3人で搬入。フェンス（80cm）を越える際に冷蔵庫を持ち上げた時、冷蔵庫のバランスが崩れ、右手親指に負担がかかる。（冷蔵庫SJ-GT48C-R、幅68.5cm、高さ174.5cm、奥行き69.9cm、重量104kg）	39	50101	19	1~9
2017	10	11~ 12	野菜を揚げていて油が跳ね、左頬周辺に油が飛んで火傷した。	55	140201	11	10~ 29
2017	10	12~ 13	UFOキャッチャーの機内フィールド上に入り景品補充の作業をしていた。作業が終わり、フィールドから降りる時に、足を滑らせアクリル板のガード部分に会陰部を強打し、打撲する。	19	140309	3	10~ 29
2017	10	16~ 17	就業先A棟1階SEM室にて、金属顕微鏡の順番待ちをしており、空いたので隣の椅子から顕微鏡手前の椅子に移ろうとした際に、物を取ろうとして、足かうまくつけず左足首を捻って転倒した。	44	170101	2	100 ~ 299
2017	10	16~ 17	就業先A棟1階SEM室にて、椅子に座って観察の順番待ちをしていた。順番がきたので椅子から立ち上がろうとしたが、左足がうまくつけず、足首を捻って転倒した。椅子の脚に躓いたり、床面が滑りやすい等の起因物は無かった。また、待ち時間が長いことによる足のしびれも無かった。	44	11409	2	1000 ~ 9999

2017	10	15～ 16	レジ業務をするためにレジサークルに入る時、サッカー台に設置されている電話機のコードが足に引っ掛かり転倒。左膝を床に強打し蓋骨骨折した。	68	80201	2	300 ～ 499
2017	10	8～9	店舗カウンター前厨房内にて、トースターリリースシート清掃作業後、取り付けるカバーを取り付けに行こうとしたところ、カバーを持ったまま滑り、トースターカバーの角で右手親指付け根を切って受傷した。	61	140201	2	50～ 99
2017	10	9～ 10	機械装置のすえ付け作業中、一部機械を4t車にて他所に仮置きするため（雨天のため機械の濡れ防止）積込作業中に4t車荷台の機械のバランスが崩れて傾いた。その際、4t車の荷台のアオリと機械の間に挟まれ負傷した。	69	11209	7	1～9
2017	10	11～ 12	大規模修繕工事のサッシ搬入時にサッシを留めているバンドを切って手で降ろす際、サッシが倒れてきたため、驚いて荷台から飛び降りた。その時にすでに荷下ろし済みのサッシで脇腹を強打した。	64	40301	3	30～ 49
2017	10	21～ 22	客席ホール内で、食べ終わったお膳を洗い場に持って行く途中、バランスを崩し、食器を落とした。その際に食器を落とすまいと両膝でお皿を挟んだが、そのお皿が割れており、左膝を負傷した。	20	140201	7	30～ 49
2017	10	1～2	冷凍自動倉庫内でラック上の商品の位置を手直しし、足場を移動しようとした際、足を滑らせ約50cmの高さから落下し、左下腿前面を架台にぶつけ挫創した。	25	80401	1	50～ 99
2017	10	10～ 11	本社材料試験センター内に於いてアルミ板材試験片のひずみ制御での疲労試験の際、トラブル発生により試験が停止した事を顧客へ電話報告しながら試験片の状態を確認しようとした時、治具の間から左手で取り外そうとした時、ひずみの状態が変わり治具が作動し左拇指の根元を挟まれて負傷した災害。	38	11305	7	10～ 29
			ホームに接車しているトラックにローラーを設置しようとしたと				

2017	10	5~6	ころ、手袋が挟まり無理やり引き抜こうとした際、ローラーがバウンドして手が挟まり被災したもの。	29	50101	7	30~ 49
2017	10	11~ 12	工場内で原料の乾燥機（ホッパードライヤー）を手で押して移動中、ホッパードライヤーの足のコマが床のコンクリートの境目に引っかかり転倒した際、右足先親指第一関節を挟み負傷した。	29	10805	7	10~ 29
2017	10	7~8	事業所廊下にて、配達中に、通常には置いていない机が立ててあり、接触し、机が滑り、まわりこんで転び右膝を負傷した。	72	10109	2	1~9
2017	10	15~ 16	工場内で「箱流し」という回収された空箱を洗浄機に送る作業中に、2つあるベルトコンベアラインを移動する際に、足元に出ている水槽開閉レバーに足をひっかけ、レバーの近くにあるバルブで左脇を強打した。	60	10101	2	50~ 99
2017	10	15~ 16	工場内で「箱流し」という回収された空箱を洗浄機に送る作業中に、2つあるベルトコンベアラインを移動する際に、足元に出ている水槽開閉レバーに足をひっかけ、レバーの近くにあるバルブで左脇を強打した。	60	170101	2	100 ~ 299
2017	10	9~ 10	調理場において、本人が食器を片付け終えて準備室から洗い場に戻る際に準備室から室外に出ようとしたところ、出入り口は35cmの段差があり段差の下には高さ2cmの足のマットが設置されていた。出口を出る際、足マットのフチに片足を着いてしまいバランスを崩して転倒した。	76	140101	2	100 ~ 299
2017	10	18~ 19	軟式野球ボールルの球拾をしていた。 ネットを留めている金具に足をとられて転倒した時、左手を地面に着き単純骨折した。	21	140309	2	1~9
2017	10	15~ 16	店舗のベビー売場で補充作業を行うため、オムツを脚立で棚上（高さ180cm）にあげ、脚立から降りようとした時にバランスを崩し、脚立の2段目（高さ40cm）から足を踏み外し転倒しそうになった。 咄嗟に棚上のプラスチックの什器を左手で掴んで支えたところ、掴んだ什器で中指と薬指の付根から第一関節の間を負傷	20	80209	8	10~ 29

			した。					
2017	10	10～ 11	乾燥した洗濯物を仕分けしようと足を一步踏み出した時に、台の下にあるスノコに右足小指が当たり、痛みが生じた。その後、痛みと腫れが強くなってきた。骨折と診断された。	63	130101	3	500 ～ 999	
2017	10	16～ 17	ブロックマシン使用後の清掃中、砂ホッパー内を掃除しようとしホッパーとホッパー格納庫の隙間（幅20cm×長さ2m×高さ2m10cm）に落ちた。	54	10901	1	10～ 29	
2017	10	0～1	店舗の厨房内でガスボンベのガス抜きとガスコンロの掃除と着火テストをしている時に、引火しガスが爆発して顔全体に火傷をおった。	30	140201	11	1～9	
2017	10	11～ 12	婦人服売り場で商品整理をしていた際、3段ガラスのガラス板（縦60cm×横40cm×厚さ5mm、重さ1kg）が外れて落下し、右足に落下した。右足第3指を基節骨骨折した。	38	80201	4	100 ～ 299	
2017	10	16～ 17	プラットホームの建物と建物の境、屋根のつなぎ目から雨水が落ちるため、雨水を受けるための桶があり、排水のためリフトで桶を持ち上げて作業していた時、リフトの持ち上げる角度が高くなるにつれ桶にかかるリフトのつめが浅くなり、誤って桶がすべり落ち、30cm位の高さから傾ける補助をしていた私の左足の上にとんと落ち、左足の親指と人差し指を骨折した。（安全靴装着） （桶80cm×130cm×60cm雨水の量も含め約500kg）	42	10106	4	100 ～ 299	
2017	10	10～ 11	病棟空調機械室内に設置してある空調機上（床より約2.4mの高さ）にて降雨による雨降水の処理作業をしている時に足場が悪く体勢を崩し転落した。	62	130101	1	500 ～ 999	
2017	10	21～ 22	当施設会議室内に於いて、施設で催す秋祭りの準備作業を行い、作業が終了し模造紙を棚の上に戻そうと椅子に乗ったところ、バランスを崩して椅子から落ち、その際、床に臀部を打ち負傷した。	43	130101	1	100 ～ 299	

2017	10	13～ 14	店舗休憩室にて昼休憩の際に、パイプ椅子に座ろうとしたところ、誤ってお尻から床に落ちて尾てい骨を負傷。	31	80209	2	30～ 49
2017	10	15～ 16	職場（HCU）のフロアで。患者様の付けていたO2チューブ（O2ボンベと接続）に横を通りすぎようとした時に右足を引っかけて前方に転倒、その時にフロアで右足膝を殴打。	63	130101	2	1000 ～ 9999
2017	10	13～ 14	からあげの鶏肉をフライヤーに入れたところ、鶏肉がはじけて油が飛び散り腕にかかって火傷を負った。	40	80209	11	1～9
2017	10	9～ 10	倉庫内にて棚にある海苔を入れるカゴを取ろうと、脚立を使用した。片足を脚立にのせ、もう片方を海苔のカゴが置いてある棚に載せ、取ろうとした所棚板が跳ねあがり乗せていた足も跳ねてしまい、そのまま後方に倒れてしまい、背中を強打した。	58	70209	1	1～9
2017	10	9～ 10	作業中に加工場内のふみ台につまずき転倒。その際、右うでを強打した。	70	80209	2	30～ 49
2017	10	21～ 22	工場内の第二成型室で、器具の洗浄作業時ミキサーボールを専用の台車に乗せて運搬している時、ミキサーボールが台車に正しくセットされておらず、ミキサーボールがずれてバランスを崩し、ミキサーボールと器具殺菌用の容器とで指を挟み、負傷した。	37	10104	7	100 ～ 299
2017	10	14～ 15	工場内で脱パン（ステンレス製の皿）作業をしていたとき、頭上に設置してある集魚用シューター（重さ17.5kg）の上に載っている魚を下からハウキの柄で突いて落とそうとした際、集魚用シューターがはずれて落下し右手甲に当たり受傷した。冷蔵庫内での作業。	23	10102	4	100 ～ 299
2017	10	17～ 18	プロペラ取り付作業に従事していた。フランジとフランジの間に被災者の左手が絡まった。	52	11501	7	30～ 49
2017	10	13～ 14	厨房内にて調理中、持病により意識を失った。その際、コンロに手を置いたまま座り込んだ体勢となったため、左手中指3本を火傷。皮膚移植の手術を行った。	53	140209	11	1～9

2017	10	15～ 16	支社長室にて足載せソファに乗って壁に張り紙をしようとした際にバランスを崩して転倒し、受傷。	57	90103	1	30～ 49
2017	10	20～ 21	フライヤーで揚げ物を調理中、揚がった揚げ物をボウルに移した際、手を滑らせ誤ってボウルをフライヤーの中に落としてしまった。その時、油が大きく跳ね、顔を守るために反射的に右手を出し、油が右手の第2.3.4指にかかり火傷したものです。（通常であれば、フライヤー横で揚がった食材を移すべきところ、急いでいたため、フライヤー上空で移す作業をしてしまったものである。）勤務終了後も冷やし続けたが、腫れがひどくなり、痛みも引かなかった。	35	140201	11	10～ 29
2017	10	9～ 10	当社工場内で塩が入ったステンレス缶を手動で移動する際、ステンレス缶と壁の間に左手親指を挟んでしまい、負傷した。	45	10109	8	50～ 99
2017	11	14～ 15	一品ラインで調理中にレンジの食材を取ろうとしたらエバーホット（保温器）のコードがたるんでいた為、左足を引っ掛けてしまい、転んだ際に左足の足首付近を捻ってしまい腫れていて、折れている恐れがあった為、救急車を呼び病院に行った。病院の診断の結果、足首の骨3ヶ所骨折の為、手術することになった。	62	130301	2	100 ～ 299
2017	11	14～ 15	自社の作業内で4tトラックの荷物を降ろしの時に、荷台から降りる際に、右足をあおりに乗せ、左足を工場内の常搬にかけて荷台から下りる時に、左足が常搬から滑り左側の手とお尻を床に落ち強打した。	60	11209	1	1～9
2017	11	9～ 10	居室にて椅子に上がって天井の電気カバーを清掃中、バランスを崩し転倒した際に左手を強打した。	58	130101	1	1～9
2017	11	8～9	入館し2F女子更衣室に入り自分の靴を脱いでロッカーに向かおうとした際に、自分の靴に躓いて転倒した。その際ブチッと音がした。※更衣室入口、靴を脱ぐ所には段差はない。	47	80109	2	50～ 99
2017	11	10～	当店厨房内にてはまぐりの汁を火にかけていたところ、火にかけたまま他の作業に気を取られていたため、鍋掴みに引火し、左手	46	140201	11	30～

		11	指（親指以外）を火傷したものである。					49
2017	11	11～ 12	BN1ブロック・フロアの背焼き作業をしていた。背焼き作業は椅子に腰掛けガスバーナーを使用して行うものであるが、作業中に突然他作業員にホースを引っ張られたことにより、使用しているガスバーナーの向きが変わり、ガス火炎が顔に当たり受傷した。	27	11501	11	1～9	
2017	11	13～ 14	施設内会議室で健康診断準備のため机等を移動中、紙折り機に右足踝上部を引っ掛け擦り傷が出来た。その後、昼頃より足が着けない程の痛みと腫れがあった。	45	130201	3	50～ 99	
2017	11	15～ 16	当社工場内において、製品の入った網パレット（600mm×900mm×400mm）（50kg）を二人で押して移動していたところ、別の網パレットに立て掛けていた板パレット（120cm×120cm）（38kg）が倒れて来た。その際、板パレットに左足が挟まり、小指の付け根を骨折してしまった。	43	11301	7	50～ 99	
2017	11	10～ 11	学校給食共同調理場調理室で、釜で肉を炒めていた時、釜の奥の方の肉を炒めるのに、スパテラを使い身を乗り出した時、釜の側面に右大腿が当たってしまい、火傷した。右大腿第2度熱傷と診断された。	33	100109	11	50～ 99	
2017	11	14～ 15	置場内にて、コンテナ内のフレコン整理中、作業が一段落したため、コンテナ内から下りる際に、2m程の高さから足を踏み外し落下した。その際、コンテナに立て掛けてあった足場材にぶつかり陰部を強打した。	19	30209	1	10～ 29	
2017	11	13～ 14	工場内ラミネート機において製品のシート替作業中、古いシートと新しいシートを1m位重ねてラミネート機のローラーに挿入して行うところ、重なり幅が10～20cm位になってしまい重なり幅が少ないのでラミネート機の熱ローラー（約175℃）に上手くシートが入らないと思いシートに手を添えて熱ローラーに入れようとしたところ左手をローラーに挟まれ左手母指、示指、環指を裂傷と火	24	10109	11	50～ 99	

			傷をした。				
2017	11	16～ 17	倉庫2階U字型コンベヤ奥に商品が停滞しており、商品を送り出す為にコンベヤ縁に左足をかけて跨いだ。その際、内側のケーブルボックス上に右足で着地し、内側に捻り転倒した。	50	150102	1	300 ～ 499
2017	11	11～ 12	当社工場3階角折包装機ラインにて、休憩明けの作業再開時に、包装機に付着したチョコレートをタオルで拭き取る作業中、機械の裏側に付いていたチョコレートを拭こうとした際に、機械の電源を切らずに行った為、タオルと一緒に巻き込まれて右手を挟み負傷した。	73	150101	2	30～ 49
2017	11	19～ 20	事務仕事をしていた際、一度離席し、再度、着席しようとしたが座り方が浅く、椅子に座れず、床面にでん部（尻部）を強打した。その時は痛みはあったもののそのまま業務した。翌日になっても痛みが引かず病院に行ったところ、打撲と診断された。	58	130201	2	10～ 29
2017	11	9～ 10	段差20cm程の階段で社員2名で荷物を2Fから1Fへ運搬作業中、階段を踏み外し、顔面から転倒した。その際、地面に右手をついたため、骨折した。	60	10102	7	100 ～ 299
2017	11	8～9	全身に衣装を装着し水域ショーに出演中、ステージ下での自由演技の中で、「足を少し曲げてから両足で約30cmジャンプをし、足を曲げながら着地をした」際、右足ふくらはぎに攣ったような痛みが発生した。振りを軽減し最後まで出演した。公演後に公演用船舶から、下船する時に右足ふくらはぎを攣り、足が着けられない状況となった。	31	11702	4	1～9
2017	11	15～ 16	ブロック検品ライン作業中にブロック押し出し機にブロックが引っ掛かり止まってしまった。停止させて入らなければいけないエリアに停止させずにブロックを取ったところ、ブロックと押し出し機アーム部分（棒状）に右薬指を挟んだ。	50	10901	7	10～ 29
			校舎3階の算数少人数の教室で、教室後方の掲示板に反比例のグラフ（約縦80cm、横60cm）を、児童用ロッカーに乗って張ったが、				

2017	11	11~ 12	降りる際に、踏み台にしていた児童用机から足を踏み外し、ロッカーから約1m下に転落した。床に右手をついて落下した際に右手首を骨折した。	60	120109	1	10~ 29
2017	11	8~9	耳鼻咽喉科外来の3番診察室内で、吸引パックを交換するために持ち上げた際、腰を一瞬捻ってしまい受傷した。	39	130101	19	1000 ~ 9999
2017	11	15~ 16	勤務先の飲食店で、フライヤーの網をフライヤーの中に落としてしまい、油が右腕全体に跳ね上がり火傷した。	29	140201	11	50~ 99
2017	11	11~ 12	当社営業所デイサービス施設調理室にて利用者の昼食調理中、天ぷら鍋で冷凍のフライを揚げている時、揚げ油が右手人差し指と薬指に跳ねて火傷した。	65	130201	11	30~ 49
2017	11	11~ 12	製造ライン（Dライン）で、ラインへの部品供給中、両手で部品を持って移動していた。ラインの入り口が狭く、ラインに入る際に作業台を避けようとして、箱詰め台の方に寄ってしまった。箱詰め架台に躓いて転倒し、両手がふさがっていたため、そのまま正面の架台柱に顔面を強打した。	59	11502	2	10~ 29
2017	11	9~ 10	支援のため就業中、利用者宅の庭で、デイサービスに行く為、車椅子に乗っている利用者を昇降機にて降下させようとした時、下降動作の妨げとなるレバーを外していたところ、車椅子が動き出し車椅子ごと利用者が転落し、下敷きになって、腰部圧迫骨折をした。（利用者は車椅子の重さを含め80kg以上。）	57	130201	4	30~ 49
2017	11	18~ 19	3FF級冷蔵庫内で既設床置型ユニットクーラーのみ撤去作業中 フォークリフトにて既設ユニットクーラーを約70mm位下げているところ、6mの高さから既設木ダクトとダクト内に充満した氷の塊が落下し、被災者の上に落下した。	62	30302	4	10~ 29
2017	11	12~	勤務中に注文が少し多く入り慌ててしまい、普段より少し多く油を入れたフライパンで目玉焼きを作る際に温めたフライパンの	24	140201	11	1~9

		13	取っ手を握ったところ、予想以上に熱かったことに驚きフライパンの油を手を被ってしまった。				
2017	11	16～ 17	店内で、前陳作業をしている時、お客様の対応をしようとレジへ向かう途中、玉子什器に足を引っ掛け、手をつかずに転倒し受傷した。怪我をした当初は病院へ行くほどではなく、自分で手当てをしていたが、良くならなかった為、後日病院へ行った。	38	80209	2	10～ 29
2017	11	5～6	卵を炒めるために鍋にサラダ油を入れ熱している時に、鍋に火が入り火がついてしまい、その時手と顔を火傷し、火を消して鍋をガス台から下ろす時、鍋の油を誤ってこぼしてしまい足の甲に油をこぼし火傷してしまった。	61	80209	11	10～ 29
2017	11	8～9	上水道の止水栓BOX撤去時に、BOXの底板が手から滑り落ち左足指に落下し骨折した。	70	30110	4	1～9
2017	11	9～ 10	製造現場において、昇降梯子を設けていないボックスカルバート1000×700の型枠の組立作業で、型枠にのぼる時に、普段は気付いているはずの型枠保管用固定金具の突起部に長靴が引っかかり、体勢を崩し型枠から落下した。落下する際に、隣の型枠に背中を強打し肋骨を骨折した。	46	10901	1	50～ 99
2017	11	10～ 11	積み込み終了後、荷台のシートを掛ける際、バケット縁に乗り、シートを引こうとしたため滑りバケットの縁に左脛を打った。	46	150102	3	10～ 29
2017	11	9～ 10	ミキサーの洗浄を終え、柵を閉めようとした、このとき左手を添えていたところが、ちょうど柵が開き過ぎないためのストッパーが付いているところで、左手親指を挟んでしまった。	40	10101	7	10～ 29
2017	11	9～ 10	ショットブラストマシンを点検、修理している際、空運転中に、マシン内のベルトとプーリーの間に左手人差し指が入ってしまい左手人差し指内側を負傷したものである。	28	11301	7	1～9
2017	11	19～	製造工程内において、カテーテル成形品を顕微鏡下でカットしていたところ、右側に置かれていた書物専用机に肘を載せたところ	26	11305	2	500 ～

		20	ろ、机が体と反対側にスライドし、バランスを崩して転倒した。 その際に机に前頭部、床に肘をぶつけた。					999
2017	11	18～ 19	閉店作業で玄関戸の施錠確認中、ロールカーテン下の重り用の棒 に足を引っ掛けて転倒し、右膝と左肩を負傷した。	66	80109	2		50～ 99
2017	11	7～8	一泊二日の予定で商品プレゼンの為、出張中宿泊先ホテルにて朝 起床時、そのベッドが通常より高く、寝ぼけて足を踏み外し転 倒し、脇にあったテーブルの角で腰を殴打し骨折となる。	55	80109	1		1～9
2017	11	12～ 13	食堂内麺器の前で、麺の後片付け中、麺器前のガス配管に躓き、 お湯が沸いている麺器に左手が入り広範囲で熱傷を負った。	56	80209	11		300 ～ 499
2017	11	19～ 20	店の厨房で油の入ったフライパンをコンロにかけて状態で、後ろ 向きになりしゃがんで冷蔵庫から物を取り出していた。振り返っ て、コンロにかけていたフライパンを服で引っ掛けて熱した油を 身体に掛けてしまい火傷をした。氷で冷やしたが、全く治らない ので病院へ行った。	24	140201	11		10～ 29
2017	11	20～ 21	包装設備の洗浄業務にて、ラインの消毒の為に次亜塩素酸Naが 入った噴霧器にて噴霧作業を行っていた。噴霧場所は計量機の ホッパー箇所であり、位置的に高所にある為、高さ約60cmの足場 が設置されている。その足場に噴霧器を置き噴霧していたとこ ろ、噴霧器が足場から落下しそうになり慌てて落下を阻止しよう とした。その際、自身がバランスを崩して右向きで地面に落下し た。	53	10109	1		10～ 29
2017	11	9～ 10	病室にて入浴前の患者様の移乗時、ベッドの高さを上げようと したところ、足元にオーバーテーブルがあるのに気づき、オーバー テーブルを動かそうと持ち上げた。その際、オーバーテーブルが 滑り右足の上に落ちて来た。同日、整形外科にて受診した。翌 日、整形外科を受診し、右母趾末節骨骨折・第2趾末節骨骨折・足 部皮膚欠損創と診断された。	40	130101	4		500 ～ 999

2017	11	23～ 24	請負先事業場において、終業後帰宅するために事業場内倉庫を出口に向かい歩いていた。消灯されて真っ暗だったため、貨物用の秤があることに気が付かず、ぶつかって転倒してしまった。	47	170209	2	30～ 49
2017	11	15～ 16	就業先事業所2階で会議が終わり、折りたたみ用長机を横に移動させた際に、机の脚が内側に折れ右足人差し指に落下し受傷した。出血がひどく、同日医療機関で受診した。	36	90101	4	10～ 29
2017	11	9～ 10	配送先にて、トラックから荷卸し中、A支柱を2本持った時にコマとコマの間に右手薬指が挟まり負傷したものである。	20	80409	7	10～ 29
2017	11	19～ 20	異物（コゲ）の選別作業のため製品を選別台の上で選別していた。選別の終わった製品を製品受け箱に入れようとレバーを操作し選別台を傾けた。製品を左手で製品受け箱に落とし終わり、選別台を元の位置に戻そうとした。その時に左手を選別台の先端に置いたまま、レバーを操作したため選別台に挟まれた。	48	10899	7	30～ 49
2017	11	10～ 11	冬用のタイヤに交換する為、タイヤを整備場へ持って行こうと車両のトランクへ積み込んだところ、腰部に激痛があり負傷したものである。	37	40201	19	100～ 299
2017	11	17～ 18	地下ポンプ室内に保管していた浄化槽点検用の機材（約10kg）を運ぶため片手で持ち上げた際、重みで体勢を崩したため、反対の手ですぐ側にある水槽室入口のドアに手をかけたところ、ドアが開きそのまま水槽（縦・横約2m、深さ約2m、水深約1m）に落ちたものである。水槽に落ちる際、水槽の縁で上半身を打ち負傷したものである。	47	10805	1	10～ 29
2017	11	15～ 16	工場内作業場の出荷場所にあるローラーレール上で、搬入・仕分け・引き込み作業を行い、片付けが終わり、事務所に戻る際、ローラーレールより足を滑らせ転落した。（70cm程）腰・背中・肘を打ち、捻挫をした。ローラーレールとは、2Fの荷物置場からリフトで1Fに降ろし、トラックヤードまで運搬するコンベアのようなものである。	41	40301	1	50～ 99

2017	11	16~ 17	異物の選別作業の為、製品を選別台で選別中、選別が終わって、製品を製品受け箱に入れる為に、レバーを操作し選別台を傾けた。製品を左手で受け箱に落とし終わり、選別台を元の位置に戻す際に左手を選別台の先端に置いたままレバーを操作した為に、指を選別台に挟まれてしまった。選別作業の為、手袋はしていなかったし、選別台に挟まれるという認識が無かった。受傷時に班長に報告したが本人が大丈夫と判断した為、上長への報告もなく適切に治療もせずに10日間も放置し、通常作業をしていた為に症状が悪化したと推測される。	48	170101	7	50~ 99
2017	11	10~ 11	事業所内のホールで、壁の掲示物をクリスマス用に替えるため、ベッドに上がり作業していた。張り替えが終わりベッドから降りようとしたところ、ベッドのサイドレールに掛けてあった布団でサイドレールがあることに気付かず、そこを跨ぐように降りてしまい尾てい骨を強打した。あまりの痛さに病院を受診したところ、尾骨骨折と診断された。	59	130201	3	1~9
2017	11	19~ 20	メカニズムASSY組み立て作業完了後、作業台クランプを解除した際に手が滑りクランプバーに右手首が挟まり、そのまま体勢を崩し、右手を捻った。	27	170101	7	100 ~ 299
2017	11	16~ 17	第二工場、建物の中にて、通常通り、金型サンプラーの溶接部分を、グラインダーで研磨していた。右手にグラインダーを持っていたが左手に持ちかえて、右手でペンを持ち、書きものをしようとしたところ、左手に持ったグラインダーがサンプラーに当たり、はね返った反動のまま刃の部分が右手首に接触した。	66	60101	11	10~ 29
2017	11	17~ 18	工場外にある、廃棄物置き場のコンテナが満杯になっていたの で、そのコンテナの上に登り片付けた後、降りる時に、高さ2m位の所から飛び降り、右足かかとを骨折した。	41	80202	3	1~9
			本人は、3S定盤にてブロックのトンボ（反転）作業に従事してい				1000

2017	11	10～ 11	た。半トンボ時点（片方のクレーンで吊り上げた状態）で荷振れを防ぐためにブロックと地面の間に座板を挟もうとしていた際、地面と座板の間に右手中指を挟んだ。	34	11501	7	～ 9999
2017	11	8～9	第2焼成室にてデポジッター投入作業中、脚立を降りようとした時に操作パネルの角にぶつかって、目の上を切った。	23	10104	3	100 ～ 299
2017	11	18～ 19	営業所内で、作業員A、Bの二人で0.45油圧ブレーカーのブラケットから本体の脱着作業中、ブラケットが変形しており本体が外れない為、油圧ジャッキにブッシュを足して、広げていたところ、1回目は通常通り作動していたが、2回目の作業の時に広げる事は出来たが、縮まず外れないので、作業員Aがハンマーでブッシュを叩いたところ、2～3m離れたところで見ている被災者の右顔面にブッシュが当たり負傷した。	37	80409	4	1～9
2017	11	7～8	出退勤管理板前にある縫製工程スペースにて、同僚と会話していた。会話が終わり、朝礼場所へ向かおうと振り向いた瞬間、被災者がサンプルシート台に躓いた。そしてバランスを崩し、通路へ右肩から倒れ負傷した。	65	11502	2	100 ～ 299
2017	11	11～ 12	店内を巡回する為、店内と百貨店の間の境界線にて、引いてあるロールカーテンがひどく曲がっていた為、手で直そうとした際、金具が下がって来て左手薬指を挟み受傷した。当日は勤務を切り上げて病院へ行った。	36	140201	7	30～ 49
2017	11	1～2	農場で5tタンクへ上がる時、地上より2m位の所でカズラが足に掛かり階段より足を踏み外し落下、手と顔を強打し負傷した。（手首骨折、顔負傷）	66	40301	1	50～ 99
2017	11	12～ 13	工場内で作業をしていた時に、近くで別の作業をしていた社員が誤って鉄の枠を30cm位の高さの台から落としてしまい、右足の甲に接触した。	23	10109	4	30～ 49
			フライヤーレーンを洗浄する際、レーンを2人で持ち上げレーンの				

2017	11	11~ 12	中を洗おうとしたところ、肩にレーンが当たってしまい落ちてきて指を挟まれた。うっ血が酷かった為、整形外科を受診し骨折と診断された。	54	10109	7	50~ 99
2017	12	9~10	土場の片付けをしていて、消火器の解体作業中、2~3m離れて同じ作業をしていた別の作業員の消火器の中身が残っていて、中身が噴射され、赤い本体の部分（高さ45cm×直径15cm、重さ11kg）が飛んで来て骨盤に当たり、負傷した。特定の現場作業ではない。（つなぎ、上着、長靴、軍手着用）	53	30106	4	10~ 29
2017	12	9~10	朝、事務所裏玄関内を歩いていた所、敷いてある玄関マットに左足がつまずき、前のめりになり転倒した。右足を打ち、腫れあがり、痛みがあるため受診したところ、骨折していた。	44	80409	2	1~9
2017	12	14~15	作業室においてランケーブルのモールに足を引っかけてバランスをくずし右足の甲をひねった際に右足小指のつけ根を骨折し、右第5中足骨骨折と診断された。	48	80409	19	1~9
2017	12	20~21	利用者様の排泄介助のため居室を訪室した際、ベッド柵をはずした（上に引き抜いた）時に勢い余って後方に倒れそうになったため、体勢を戻すため前方に身体を動かした際に持っていたベッド柵を左足にぶつけて受傷した。	44	130201	6	50~ 99
2017	12	17~18	工場内で、年末の大掃除をしている時、エアコンヒーターの水拭きをしようとして、ヒーターの羽根を停止させないまま作業を行い、右腕が回っている羽根にぶつかり負傷した。	59	10103	7	30~ 49
2017	12	15~16	工場内前室にて、台車に載せた半製品を包装室内に運び込もうとした。その際、入口のブラインドシャッター前に台車を置き、ブラインドシャッターを上昇させた時に台車がブラインドシャッターに触れ、台車がブラインドシャッターに押される格好となり、その流れで体を押され、尻餅をつき負傷した。	60	10109	6	30~ 49
			文具売場横で、演出用テーブルにひな人形の展示準備をしていた				100

2017	12	19~20	際、テーブルを移動したところテーブル（縦90cm×横90cm×高さ60cm、重さ5kg）の脚が挟まっていなかったため足の上に落ち、左足親指を骨折した。	55	80201	4	~ 299
2017	12	15~16	製造工室の大掃除実施中、部品供給装置から部品を抜き出す際に開口部から内部へ身を乗り出し、開口部に体重をかけて作業した。帰宅後に体重をかけていた肋骨部に痛みがあったため、翌日に医療機関を受診したところ、右肋骨不全骨折と診断された。	52	10899	19	50~ 99
2017	12	8~9	エノキタケ詰込作業場所で、ビンに培地を詰込中、ミキサー内の残量を確認する為、脚立を使用してミキサーのふちに上った。その際、あおり部のロックに無意識のうちに触れ、地面へ降りた直後に、ロックが外れたあおりが落下し頭部に接触した。	20	10109	6	50~ 99
2017	12	9~10	入場整理に使用している鉄製の置き看板を移動させようとした際、左手に画板を持ちながら右手のみで持ち上げたところ、右肩から鈍い音がして右腕が上がらない状態となった。翌日、クリニック（整形外科）にて受診、「右腱板断裂疑い」と診断を受けた。	57	140309	19	30~ 49
2017	12	16~17	訪問介護サービスにて、調理中に冷蔵庫より食品をだし、流しの所へ持っていき、置こうとした時にテーブルのイスに右足の小指をぶつけた。キッチンとテーブルの間が1m程度で、イスがテーブルより少しキッチン側へ出ていた。	52	130201	3	100 ~ 299
2017	12	8~9	当事業場の青果作業場にて、小松菜の袋詰中に、折りたたみボックスの角に右手の薬指を強くぶつけてしまい負傷したものである。	73	80209	3	100 ~ 299
2017	12	1~2	被災者は自動ドアを引き戸と勘違いし手を触れていた所、ドアの向かう側の人自動ドアを作動させてしまった為、ドアの隙間に指を挟まれた。	60	10109	7	1000 ~ 9999
			夕方、デイサービスの送迎でご利用者を自宅に送り届けたのち、施設に戻る経路上のコンビニでトイレを借りようと立ち寄った				100

2017	12	17~18	際、車から降りて店内に向かって歩いている途中で車止めの縁石に躓き、前のめりに転倒した。	42	130201	2	~ 299
2017	12	10~11	所属店舗とは別の店舗で応援勤務中、調理用具を洗うために流しに向かい厨房内を移動していたところ、冷蔵庫下段の引き出しが開いていたためにそこに足を引っ掛け転倒し、右肩を打ち骨折したものである。	66	80209	2	10~ 29
2017	12	12~13	サービスセンター移転に伴う業務応援のため、当社サービスセンターで庫内整理作業をしていた際、既存のスチールラックを建物内移設の為に一部を解体し運搬した。その後、所定の場所にて、組立作業を行っていたとき、ラック2段目の軸組鉄骨に20mm厚の合板を敷き詰めている際に足を滑らせ、敷設途中の合板に足を着くも、固定されておらず、踏み抜き転倒した。転倒の際に鉄骨軸に右胸部を強打し、付近にあった敷設済み合板上に倒れ込み、蹲り動けない状態の為、救急車を呼び病院へ搬送された。	39	80203	1	10~ 29
2017	12	20~21	当社店舗において、売上金をしまうため、金庫（46cm×56cm）に入れ終わるとき、まだ右手拇指が残っていたところ、トビラの重みで閉まってしまい、先端を挟み負傷したものである。	62	80201	7	1~9
2017	12	15~16	職場の休憩スペースで、ソファに横になっていた状態から起き上がる際に、ソファの端に足をかけた為踏み外し、足の甲から着地し、強く捻った。	41	110101	19	1000 ~ 9999
2017	12	15~16	職場の休憩スペースで、ソファに横になっていた状態から起き上がる際に、ソファの端に足を掛けたため踏み外し、足の甲から着地し、強く捻った。	41	170101	19	1000 ~ 9999
2017	12	14~15	事業所において年末の大掃除のため、調理場の水道を掃除していたところ、水道の金具後ろと壁の隙間に右手小指を挟んでしまい負傷したものである。	43	130201	7	10~ 29
			スポーツジムのシャワー室でボディソープの補給の際、ボディ				100

2017	12	14~15	ソープの容器に付着しているソープ液を洗い落とす為に、シャワーを使用した。その際、重いシャワーヘッドがとれて落下し、右足小指にぶつかり、大きく赤く腫れた。	47	150101	4	~ 299
2017	12	11~12	清掃作業中に掃除機のコードに足が引っかかり体のバランスを崩して転倒して左膝を強打し、負傷した。業務終了後、膝の痛みが強くなり、病院で診察を受け入院した。	78	150101	2	~ 999
2017	12	8~9	9F立ち上り、10Fスラブコンクリート打設前段取りで、10Fスラブから9Fスラブに配管を下げる作業中、9Fスラブ足場上で3m配管を取り付けようとしたところ、9F部分に異変を感じ、直そうとして声をかけたが、上階の作業員がそのまま配管を支えきれず、下にいた作業員の手の指に落ちてしまった。	34	30201	4	—
2017	12	7~8	営業所内にて、日報記入後、立ち上がろうとした際、後ろのいすに足をとられ転倒し、更に後ろにあった机に後頭部をぶつけ負傷した。	59	40201	2	100 ~ 299
2017	12	15~16	出張中、供試体（舗装の耐久性評価のためのもの）作製室で、敷均し装置の清掃作業中、装置内にあるスクリューが回転し、右足を損傷した。	64	30309	7	1~9
2017	12	13~14	支店内において、ロッカー（高さ180cm）の上に設置されているエアコンの大掃除をするため、事務用回転椅子に乗り、立ちあがって作業をしていた。掃除終了後、降りようとしたところ立ったままの状態が椅子が回転し、そのまま椅子左側に落下し、左上腕骨頸部を骨折した。	60	170209	1	1~9
2017	12	11~12	展示場に出張業務中、男子トイレで換気扇の掃除をするため便座に乗り作業をしていた時に、バランスを崩し、後ろに転倒して右腕で体を支えようとしたところ、右肘を骨折した。	54	90209	1	10~ 29
2017	12	17~18	店内厨房の洗い場前で、食材を取りに行こうとしたところ、社員が熱いままのスープが入っている鍋を運んでいる場に居合わせ、その社員が足元を崩し鍋の中身がひっくり返り、こぼれたスープ	21	140201	11	30~ 49

			がそのまま被災者の足元にかかり火傷を負った。				
2017	12	14~15	店の厨房内にて、茹で上がった卵の入った片手鍋をシンクに移動させようとした際、両手で持ったが重過ぎたため鍋が傾き、熱湯が左足の甲にかかり熱傷した。	27	140101	11	10~ 29
2017	12	11~12	清掃の為、残圧の抜き取りをマンホールの微開放にて行っていた所、マンホールを仮止めしていたボルトが外れ、タンクの内残圧により、マンホールが外れ、それにより作業員が転倒し怪我をした。レシーバータンク開放清掃のための残圧処理に対し、マンホール開放手順に不備があった。レシーバータンクには、残圧抜き取り用の装置は無く、他の安全に残圧を抜き取る手順を誤ったと思われる。又、マンホール仮止め用ボルトの取り付け方法にも不備があったと思われる。	49	30309	6	1~9
2017	12	17~18	舎内にて、ビニールを張る作業中、立てかけていた換気扇（動いてはいない）をずらそうとして倒れてしまい、その際、右足のくるぶしあたりにあたってしまい、その箇所を後日、病院で診察を受けたところ、右足のくるぶし付近の骨折及び靭帯損傷と診断された。	75	70101	5	1~9
2017	12	11~12	事業所の施設内で8立方メートルサイズのコンテナに鉄くずを積み込む作業をしていた。積み込み作業後にコンテナの上にブルーシートを掛けるためにコンテナに上り、ブルーシートを掛けようとしたところ、コンテナからはみ出していたパイプ椅子の隙間に左足を取られてしまい転倒して左足がパイプ椅子の隙間に引っ掛かり宙吊りになってしまい、その衝撃で左足ふくらはぎを負傷した。	35	150102	2	50~ 99
2017	12	22~23	大型トラックの荷台にてローラー下を清掃する為に持ち上げた際、ローラーが傾き倒れてきた為に支えようと手を出したところ、床面とローラーの間に右手中指を挟んだものである。	46	40301	7	300 ~ 499
			厨房内の洗浄コーナーで、朝食下膳の洗浄をしている時、割れた				

2017	12	9~10	食器に気が付かず、右手人差し指の第1関節から指先にかけて、切傷してしまった。	46	10109	8	10~ 29
2017	12	20~21	事業所内厨房にて、揚げ物をしていた際、足が滑り、手をつこうとしたところ、右手がフライヤーの中に入り、右手の甲と肘から先の内側に火傷を負った。	40	140201	11	1~9
2017	12	6~7	施設居室内で、車イスに座っていた利用者の体が傾いていた為、正常に戻そうとして、右手で支えたところ、車イスのアームレストに手が挟まってしまい、右手小指を骨折した。	56	130201	7	100 ~ 299
2017	12	14~15	事業場内の施設利用者の居室にて利用者が失禁したベットのマットカバーを洗濯し、乾いたのでマットカバーを付ける作業をしていた。マットが硬くてカバーがなかなか入らず、やっと入れることができたが、その後、背中痛みが続いていた。当初は大した事はないと思っていたが、あまりに痛みが続くので受診したところ、背骨の圧迫骨折と診断された。	72	130201	19	30~ 49
2017	12	9~10	看護助手2名で当直室のシーツ交換を行う時、壁に寄せてあったベットを人が入る位に開け、新しいシーツを取ろうとした時、ベットの脚に右足を引っ掛け、右斜め前にうつ伏せに倒れると同時に反射的に左膝が出て床に強く打ちつけ左膝蓋骨を骨折した。	62	130101	2	100 ~ 299
2017	12	14~15	トラクターとトレーラーとの連結作業を行っており、トレーラーを支えている脚が電源を入れても上がらなかったため、反対側に移動し手動（ハンドル）で脚を上げる作業をしていたところ、トラクターの中で待機していた別の運転手が、反対側で手動（ハンドル）で脚を上げる作業中とは気付かずに、トレーラーの脚の電源スイッチを入れてしまい、結果として頭部を負傷した。被災者は、その時の記憶が無く、ハンドルが顔に当たったと予想される。	58	40301	7	30~ 49
			惣菜厨房にて、フライヤーの油をこす作業の時に、ひざから足首				

2017	12	12~13	にかけてスネの部分をやけどした。油を下に落とす際に、受け皿をしっかりと所定の位置までおいていなかった事が原因で、下に落ちずに手前に油がかかったものと思われる。すぐに氷で冷やして病院へ行った。	66	80209	11	10~ 29
2017	12	16~17	機械浴室内で、洗濯のため外されていた間仕切り用のカーテンを再度カーテンレール（高さ2m5cm）に掛けるため、座面が回転する丸イス（高さ42cm）に乗って一人で作業を行っていたところ、バランスを崩し丸イスからコンクリート製の床に転落し、左手首を骨折した。	64	130201	1	100 ~ 299
2017	12	9~10	日配の売場前で、豆腐を台車にのせて動かそうとしたとき、その台車が本人の胸に倒れてきた。台車の一方に豆腐がのっていたため、その重さで倒れた。作業日も胸の痛みはあったが通常通り作業した。しかし日にちが経過しても痛みがあったので病院へ行き、骨にひびが入っていることが分かった。	63	80201	5	10~ 29
2017	12	14~15	作業中に空のパレットを取ろうとしたところ、手を滑らせパレットが落下し、右足の親指の上に当たった。	46	170101	4	100 ~ 299
2017	12	14~15	作業台の上で鉄ベースをエアクッションで巻く作業をしていた際、クッションが逆になっていることに気づき、梱包し直すために鉄ベースを立て掛けたところ、作業台と作業台の隙間に落ちそうになった。落下を防ごうとして手を差し伸ばして支えたとき、足を踏ん張った際に右足脛に激痛を感じた。	52	40301	19	50~ 99
2017	12	19~20	調理場内にて、朝食の仕込みを冷蔵庫へ運んでいる際、トレイが右側の棚にぶつかり、持っていた仕込みを落とさないようにしようと、バランスを崩してデシャップ台の前で左足が滑り、右足首をかばうため（1年前に右足首を粉碎骨折）、右手で体を支えるようにして後方へ転倒した。当初は打撲程度と思っていたが、段々と腕が上がらなくなり、高い所にある物を取ろうとすると痛みが	56	140101	2	100 ~ 299

			出るようになり、重たい物も持てなくなってきたため受診したところ、右肩外傷性腱板断裂と診断された。				
2017	12	17~18	機械装置の保守点検のため分解・組み立てをして、中の様子を見るため指で水をかいていたところ、先輩が誤って電源ボタンを押したため、左中指の第一関節から先を切断した。	22	80209	8	1~9
2017	12	10~11	机の上に乗って窓の掃除中に、足場が狭かったため机の上から足を踏み外し、後ろ向きで床に落ち、踵を骨折した。	47	10701	1	50~99
2017	12	9~10	第2工場Bゾーンにて、型枠1200×900の脱型作業中に、型枠内枠と下台の間を清掃するために内枠をクレーンで支えずにボールだけで移動したところ、内枠が受板を外れたため、内枠が倒れ下敷となり、右手右足の一部を骨折した。	49	10901	7	30~49
2017	12	15~16	ORタイヤの空気充填中、リングがしっかり入っておらず、そのとき風圧で近くにあった大型トラックのタイヤが吹き飛ばされて、大型トラックのタイヤの下敷きになり、仰向きに倒れて頭を打ちつけた。	49	80209	5	10~29
2017	12	1~2	昼勤務の残業時間帯に、貨物機に貨物用パレットを載せていた。載せたパレットを固定するため、センターロックを掛けようとした際、パレットが動き出し、本人の方に近づいて来た。パレットをかわすことができず、足の甲の上にのり負傷した。	36	40103	6	50~99
2017	12	16~17	利用者居室内で、夜勤勤務に入る前に、利用者の入床準備のため新聞パット等の準備中、椅子が3つ置いてあったため邪魔にならないよう移動させていたとき、椅子の脚が右足甲にぶつかり、右第2中足骨骨折を負った。	64	130201	3	10~29
2017	12	21~22	厨房内のキッチンコンロの前で、手を伸ばしたはずみで金属製の仕切り板に右手をぶつけ、右手の薬指と小指の間の付け根を裂傷した。	30	140201	8	30~49
			ポテトバットをIHの上に置くとき、加熱スイッチをOFFにしたつ				

2017	12	18~19	もりだったがONになっており、再加熱されたポテトバットを右手で掴み火傷を負った。後日、患部の水膨れが潰れ、膿んでしまったので受診した。	20	140201	11	10~ 29
2017	12	20~21	急いで歩いて、サービスカウンターに向かおうとした際、足元を確認せず、膝の高さの台に当たって左大腿部を打ち、内出血した。	59	80209	3	50~ 99
2017	12	9~10	工場内にて年末の大掃除作業中、誤って84cmの踏み台から落下し、左手で支えたところ、左手首にひびが入った。	63	10102	1	30~ 49
2017	12	16~17	当社にて、スポンジ交換等をするため、しゃがんで作業していた。立ち上がろうとしたときに、配管の出っ張りに足を引っ掛けて躓き、近くに置いてあった台車へ顔から倒れこんだ。咄嗟に手が出ず、台車の角に歯をぶつけ、そのまま両膝を床面で強打し、負傷した。	20	10109	3	1~9
2017	12	13~14	客室清掃時にベットを移動させるため、両手で持ち上げたところ右手が滑り、勢いよく壁に強打し、右手の小指を打撲した。	65	150101	3	10~ 29
2017	12	14~15	作業場に防災用カーテンを取り付けるため、鉄骨製の材料棚（高さ3m、幅1.5m、奥行3m）の最上段まで上がった。プラスチックカーテンレール（長さ4m、重さ1kg）を他の者に渡して、棚を降りようとしたところ、棚に材料が置かれていたため、左足を置くスペースを確保できず、約2mの高さから転落して左足の甲を骨折した。	43	11209	1	30~ 49
2017	12	7~8	シャワーノズル清掃中、集塵機の梯子から下りる際に手足が滑り、高さ40cmのブロック壁の上に落下した。	45	150102	1	10~ 29
2017	12	7~8	冷蔵庫を運んでいるとき、躓き転倒した際に冷蔵庫が足の甲に倒れた。	69	40301	4	50~ 99
2017	12	9~10	オフィス内で大掃除の際、書類が多く積まれた棚板の上に立ち、踏み台代わりにして窓の上方を拭いていたところ、重さに耐えら	32	170209	1	30~

			れなくなった棚板が突然外れ、1m程の高さから転落し、右足踵部を強打した。					49
2017	12	9~10	当社事業場において、店頭販売準備のため、車輪付きのサンプルケースを押して移動していたところ、出口前の側溝の隙間に車輪が挟まり、サンプルケースが倒れ、左足先に落下し骨折した。	39	140209	5		100 ~ 299
2017	12	13~14	デイサービスセンターの2階で、餅つきが終了し、お湯の入った石臼を台車にのせようとした。石臼を持ち上げたところで、石臼の足台を他の職員が先に台車にのせたため、その上に石臼をのせようと運んだ際、腰部がギクツとなり、痛みを感じて動けなくなった。	63	130201	19		100 ~ 299
2017	12	13~14	旧館2階の倉庫で商品片付け中に、高い商品棚から低い商品棚に移動するとき、低い商品棚の上部にある柵につかまるのに失敗し（90cm位離れた所にある）、転落した。その際、低い柵に立て掛けてあった梯子に自分の胸の左側を激しく打ちつけて、転落した。	70	80109	1		10~ 29
2017	12	9~10	鉄鋼事業部の岸壁において、クレーンによるセパレーター引き上作業前の艙内部とセパレーターの間にはめ込んだ固定用のL型アングル（約20kg）を取り外す際、手元が滑り20cm~30cmの高さから、アングルが右足甲の上に垂直落下して負傷した。	42	50202	4		10~ 29
2017	12	10~11	客宅へ配達に行き、店舗兼住宅の店内に荷物を運び、店内から退出する際に左手小指をドアとサッシの間に挟み、左手小指の第一関節と第二関節の間を裂傷した。当日にレントゲンを撮ったところ、骨折の疑いもあるとのことであった。	57	40301	7		100 ~ 299
2017	12	19~20	店内のキッチンで油の入った鍋をコンロで加熱しているとき、コンロに服が引っ掛かり、鍋が手前に揺れ、油が腕にかかり負傷した。	27	140201	12		1~9
2017	12	17~18	倉庫内にて片付け作業中、屈まなければならない場所にオーブンレンジを置いたあと、頭を上げた際に、設置されていたクランプで頭を強打し負傷した。	47	170101	3		30~ 49

2017	12	14~15	厨房にて、調理器具を洗浄中に、誤って茹で麺器に右手を突っ込み、右手人差し指と中指に火傷を負った。	18	140201	11	10~ 29
2017	12	10~11	事務室において、年末清掃で書籍棚の天板に上がって窓拭きを行ったあと、足場になっていた椅子に下りようとしたところ、バランスを崩して約1m下に転落し、右手首付近を強打した。骨折の恐れがあるため救急車にて病院へ搬送され、診断の結果、右手首を骨折しており、手術を行った。	63	120109	1	1~9
2017	12	19~20	警備室で年末大そうじ中に、室内のカップボードの棚を掃除するため、手が届かなかったのでキャスター付き椅子の上に立って掃除をしていた。その際、椅子が移動してバランスを崩し、椅子から転落して座骨を強打し、左座骨を骨折した。	74	170201	1	50~ 99
2017	12	16~17	キッチンにおいて、コンベクションオーブンにて焼成完了した商品の出庫時に、左手でドアを開け、右手でミトンを取ろうとした際、発生していた蒸気で右手首から肘までを負傷した。	23	140201	11	10~ 29
2017	12	14~15	ダクト工が、天井内で貫通部を開口する際、ベビーサンダーを使用した。その際、被災者は、すぐ横の天井裏で作業確認とダクトレールの再確認などを行っていた。隣で開口中の作業員から、火がついたとの報告を受け、見てみると天井裏に飛散し、堆積していた埃や保温材に飛び火していた。それを見て咄嗟に保温材を撤去し、火の粉を手で扇いで消火した際に、両手に火傷を負った。	40	30302	11	30~ 49
2017	12	16~17	医務室内の作業テーブル前で、書類の整理を終えて右側に移動しようとしたところ、テーブルの脚（対5脚）に躓き、カルテワゴンの手すりに右手が当たり、床に転倒し、右手首を負傷した。	62	130201	2	100 ~ 299
2017	12	16~17	当社施設内のリハビリ機器を設置している場所で、洗濯物を干そうとしていたとき、リハビリ機器の固定具部分に足を引っ掛け転倒した。その際に右手を床につき、右手首部分を骨折した。	68	130201	2	10~ 29
			本社ビル2階経理部の部屋内を大掃除中、書棚上部を清掃するため				100

2017	12	10~11	椅子の上で作業中に、バランスを崩して足を滑らせ、左側面から床に落ちて強打し、左手首を粉碎骨折した。	57	140309	1	~ 299
2017	12	14~15	仕分作業中、ラック上段の縁を左手で掴み、補助ステップに左足を乗せたときに足首を捻り、落下して転倒した。最上段の製品を抜き取ろうとして片手・片足の状態になり、自重の負荷により左足関節の内反が強制されて転倒したため、自立困難な負傷状態（左足関節捻挫）となった。	22	40302	1	~ 299
2017	12	13~14	勤務先店舗内でスープ製造が終わったあと、釜の掃除を行おうと釜の近くに右足を踏み入れた際、通常は蛇口を閉めて清掃作業を行うが、お湯を出したままの状態です右足を踏み入れたため、右足踝から下部分に火傷を負った。	33	140201	11	1~9
2017	12	19~20	当社工場内にて、生産が終わった製造ライン等の清掃のため計量機を移動していた際、計量機のキャスターで右足の小指を踏んでしまい負傷した。	50	10104	7	100 ~ 299
2017	12	10~11	厨房内のフライヤーの前を移動していた際に、バランスを崩して倒れたとき、誤って左腕がフライヤーの中に入ってしまい、火傷した。	38	80209	2	10~ 29
2017	12	14~15	校舎教室の清掃作業中、音楽教室内の物を搬出時に、教台（約横1.5m、縦50cm、約8kg、木製）を2人で持ち上げて動かした際、重量があったためバランスを崩し、片方が手を滑らせ、被災者の左足親指の上に落下し、左足親指裂傷、先端の粉碎骨折となった。	45	150109	4	30~ 49
2017	12	23~24	集塵機の清掃作業で、エアブロー中にバランスを崩して転倒し、右手を床についた際に右手首を骨折した。	61	170101	2	50~ 99
2017	12	7~8	園の門を閉めているときに、閉める勢いで門に付いている鍵が落ちてきて、左手人差指を挟み、切ってしまった。	43	10109	4	1~9

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html